

令和 7 年度
川崎市総合計画に関する市民アンケート調査
報告書

令和 8 年 8 月
川崎市

目 次

市民アンケート調査	1
I. アンケート調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果をみる上での注意事項	4
5. 標本誤差	4
II. 調査回答者の属性	5
1. 性別	5
2. 年齢	5
3. 職業	5
4. 住居形態	6
5. 同居家族	6
6. 居住年数	7
7. 居住区	7
III. 調査結果の詳細	8
1. 災害に強いまちづくりについて	8
2. 安全・安心な日常生活について	10
3. 上下水道について	12
4. 高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境について	14
5. 社会保障制度に基づく市の取組について	16
6. 医療の体制について	18
7. 子育て環境について	20
8. 生涯学習について	22
9. 環境への配慮について	26
10. 環境保護について	28
11. 自然や公園について	32
12. 住環境（住みやすさ）について	34
13. 働きやすさについて	36
14. 産業について	38
15. 新しいビジネスの創出について	40
16. ICT（情報通信技術）の活用について	42
17. 臨海部の経済活動について	43
18. 市内の広域拠点駅（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の周辺の状況について ...	46

19. お住まいの区の地域生活拠点駅の周辺の状況について.....	48
20. 美しい街並みの保存について	50
21. 交通利便性について	52
22. 文化・芸術、スポーツについて	54
23. 市の魅力について	58
24. 地域での活動や公聴について	60
25. 人権や平和に対する意識について	64
IV. まとめ.....	66
参考資料 集計表.....	69
1. 属性	71
2. 設問	73

市民アンケート調査

I. アンケート調査の概要

1. 調査の目的

- ・平成 28 年 3 月に策定した「川崎市総合計画」において、さまざまな分野の市の取組が市民生活の向上にどのようにつながったのかを分かりやすく示すために設定した「市民の実感指標」について、掲げた目標の達成状況を確認するため、アンケート調査を実施した。

2. 調査方法と回収状況

(1) 調査対象

- ・川崎市在住の満 18 歳以上の男女個人 3,000 人

(2) 標本の抽出方法

- ・住民基本台帳から無作為抽出

(3) 調査方法

- ・郵送によるアンケート（調査回答方法は、郵送回答とインターネット回答の併用）

(4) 調査期間

- ・令和 8 年 1 月 8 日（木）～1 月 29 日（木）

(5) 回収状況

- ・発送数：3,000 件
- ・有効回収数：1,192 件（有効回収率：39.7%）

3. 調査項目

- (1) 災害に強いまちづくりについて
- (2) 安全・安心な日常生活について
- (3) 上下水道について
- (4) 高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境について
- (5) 社会保障制度に基づく市の取組について
- (6) 医療の体制について
- (7) 子育て環境について
- (8) 生涯学習について
- (9) 自分の知識や技術の地域での活用について
- (10) 環境への配慮について
- (11) 川崎市内の空気や川の水について
- (12) ごみを減らす取組について
- (13) 自然や公園について
- (14) 住環境（住みやすさ）について
- (15) 働きやすさについて
- (16) 産業について
- (17) 新しいビジネスの創出について
- (18) ICT（情報通信技術）の活用について
- (19) 臨海部の経済活動について
- (20) 市内の広域拠点駅（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の周辺の状況について
- (21) お住まいの区の地域生活拠点駅の周辺の状況について
- (22) 美しい街並みの保存について
- (23) 交通利便性について
- (24) 文化・芸術活動について
- (25) スポーツについて
- (26) 市の魅力について
- (27) 地域での活動への参加について
- (28) 市政に対する意見等を伝える機会や手段の確保について
- (29) 人権や平和に対する意識について

4. 調査結果をみる上での注意事項

- ・本アンケートは、すべて単数回答（1つだけ選ぶ設問）である。
- ・本アンケートは、全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査であるため、全体を対象に行った調査と比べ、調査対象に標本誤差と呼ばれる差が生じることがある（標本誤差についての詳細は「5. 標本誤差」を参照）。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。そのため、四捨五入の影響で、合計が100%にならない場合がある。
- ・本文中の【計画策定時の調査との比較】においては、標本誤差の影響は考慮せずに比較を行っている。

5. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left(\begin{array}{l} N = \text{母集団数（川崎市の18歳以上人口）} \\ n = \text{比率算出の基数（回答者数）} \\ p = \text{回答の比率（\%）} \end{array} \right)$

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(P) 基数(n)	10% または 90%前後	20% または 80%前後	30% または 70%前後	40% または 60%前後	50%前後
1200	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4%	±4.08%
1192	±2.46%	±3.28%	±3.75%	±4.01%	±4.10%
1000	±2.68%	±3.58%	±4.1%	±4.38%	±4.47%
800	±3%	±4%	±4.58%	±4.9%	±5%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

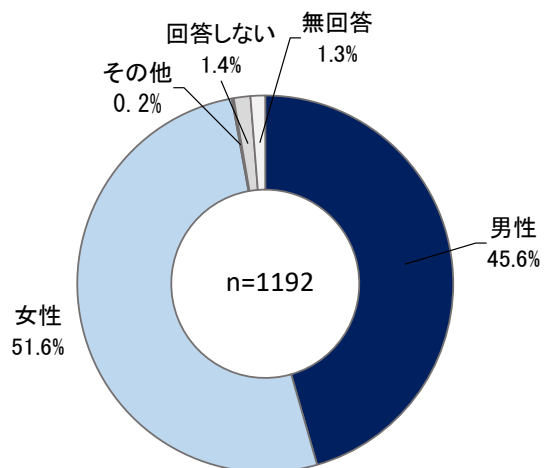
注／この表の見方

標本誤差とは、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。

その計算式を今回の調査に当てはめて算出したものが、上の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,192人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.01%以内（55.99～64.01%）である」とみることができる。

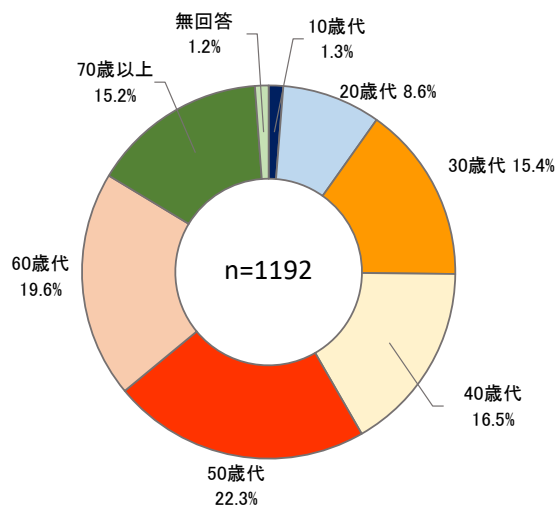
II. 調査回答者の属性

1. 性別



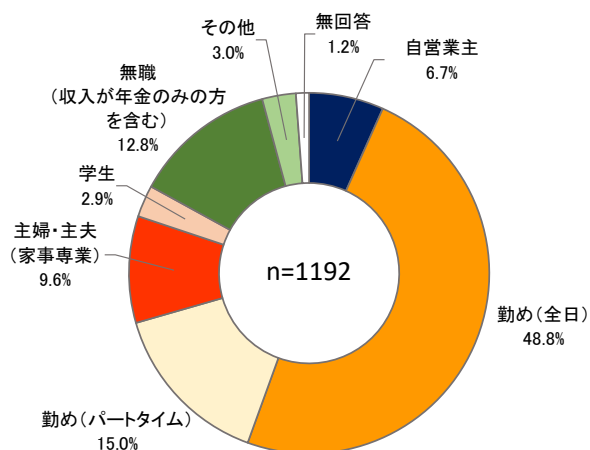
	基数	構成比
男性	543	45.6%
女性	615	51.6%
その他	2	0.2%
回答しない	17	1.4%
無回答	15	1.3%
全体	1,192	100.0%

2. 年齢



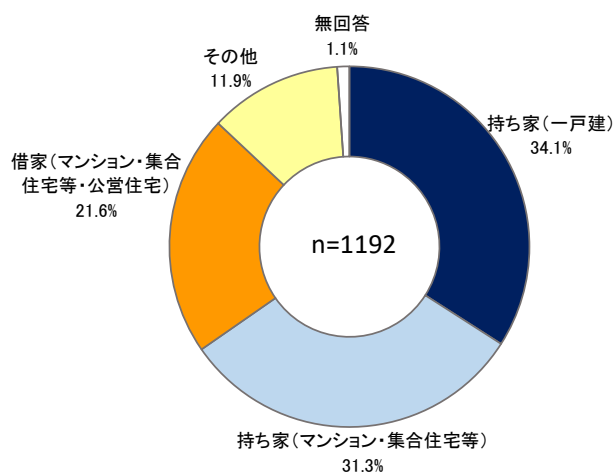
	基数	構成比
10歳代	15	1.3%
20歳代	102	8.6%
30歳代	183	15.4%
40歳代	197	16.5%
50歳代	266	22.3%
60歳代	234	19.6%
70歳以上	181	15.2%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

3. 職業



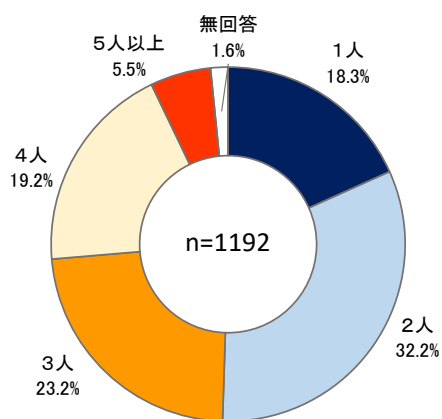
	基数	構成比
自営業主	80	6.7%
勤め(全日)	582	48.8%
勤め(パートタイム)	179	15.0%
主婦・主夫(家事専業)	114	9.6%
学生	34	2.9%
無職(収入が年金のみの方を含む)	153	12.8%
その他	36	3.0%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

4. 住居形態



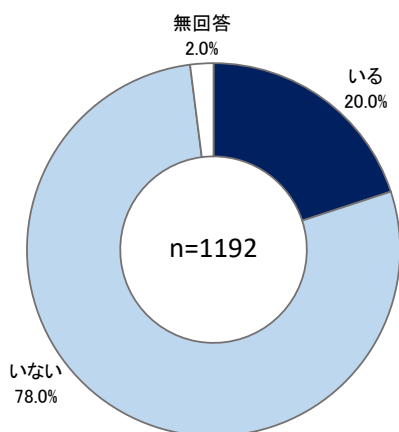
	基数	構成比
持ち家(一戸建)	406	34.1%
持ち家(マンション・集合住宅等)	373	31.3%
借家(マンション・集合住宅等・公営住宅)	258	21.6%
その他	142	11.9%
無回答	13	1.1%
全体	1,192	100.0%

5. 同居家族

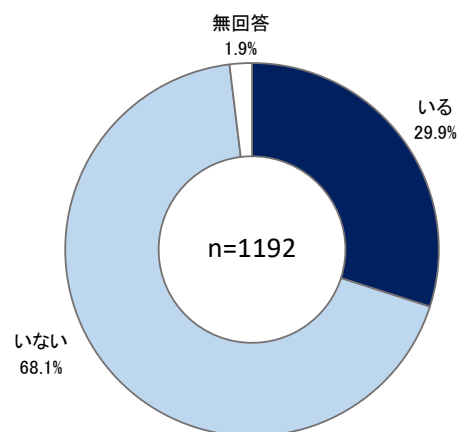


	基数	構成比
1人	218	18.3%
2人	384	32.2%
3人	276	23.2%
4人	229	19.2%
5人以上	66	5.5%
無回答	19	1.6%
全体	1,192	100.0%

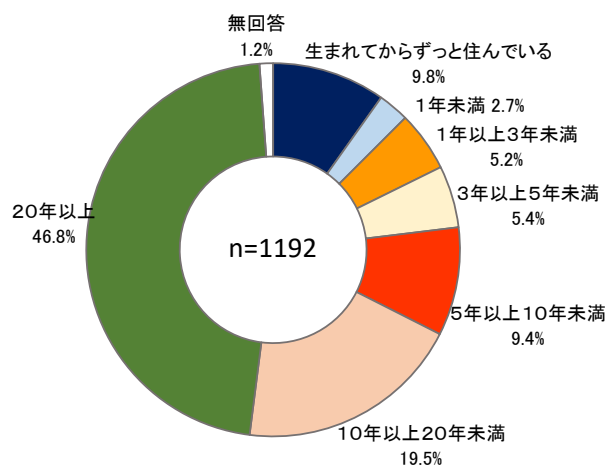
(1) 中学生以下の子どもの同居の有無



(2) 65歳以上の高齢者の同居の有無

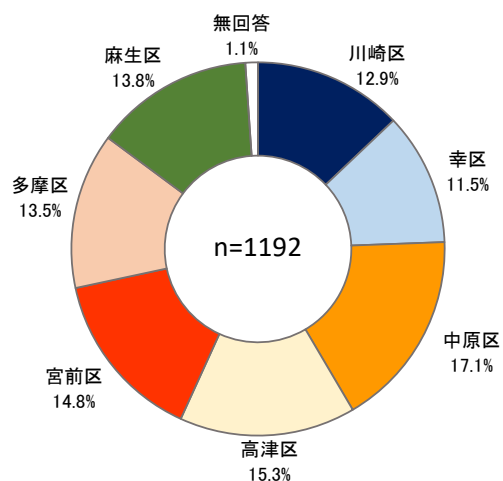


6. 居住年数



	基数	構成比
生まれてからずっと住んでいる	117	9.8%
1年未満	32	2.7%
1年以上3年未満	62	5.2%
3年以上5年未満	64	5.4%
5年以上10年未満	112	9.4%
10年以上20年未満	233	19.5%
20年以上	558	46.8%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

7. 居住区

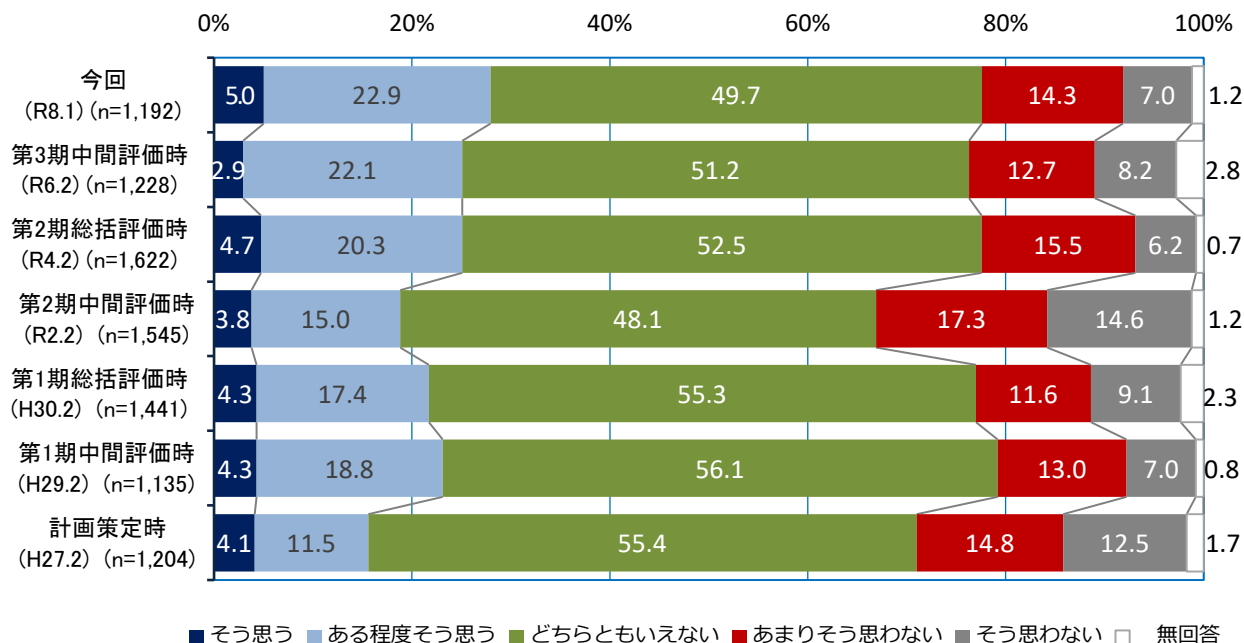


	基数	構成比
川崎区	154	12.9%
幸区	137	11.5%
中原区	204	17.1%
高津区	182	15.3%
宮前区	177	14.8%
多摩区	161	13.5%
麻生区	164	13.8%
無回答	13	1.1%
全体	1,192	100.0%

Ⅲ. 調査結果の詳細

1. 災害に強いまちづくりについて

問1 あなたは、川崎市では、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 27.9%で、計画策定時の調査から 12.3 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 21.3%で、計画策定時の調査から 6.0 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 49.7%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、職業別では学生の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、職業別では自営業主の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、多摩区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、中原区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 迅速なインフラ復旧と、着実な防災対策ができています。
- ・ 積極的な情報発信や訓練により、安心感が高まっている。

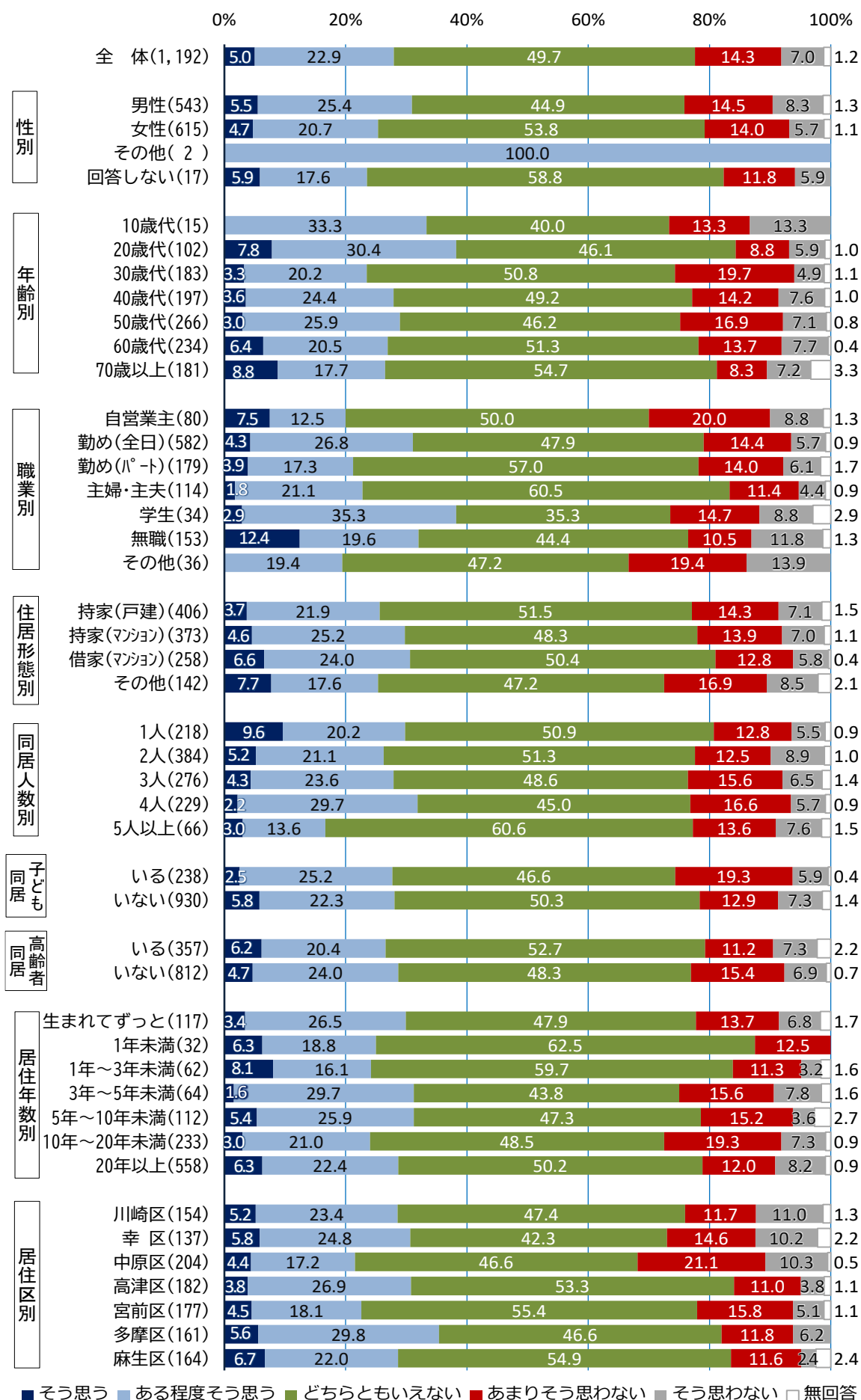
【どちらともいえない】

- ・ 全体の街づくりは進んでいるが、南武線沿線のいくつかの駅周辺は整備が進んでいない。
- ・ 下水道や堤防等のハード整備は評価できるが、ゲリラ豪雨対策などは懸念が残る。
- ・ 備蓄や情報発信は進んだが、地域差があるし、ソフト面の強化が必要だと思う。

【消極的回答】

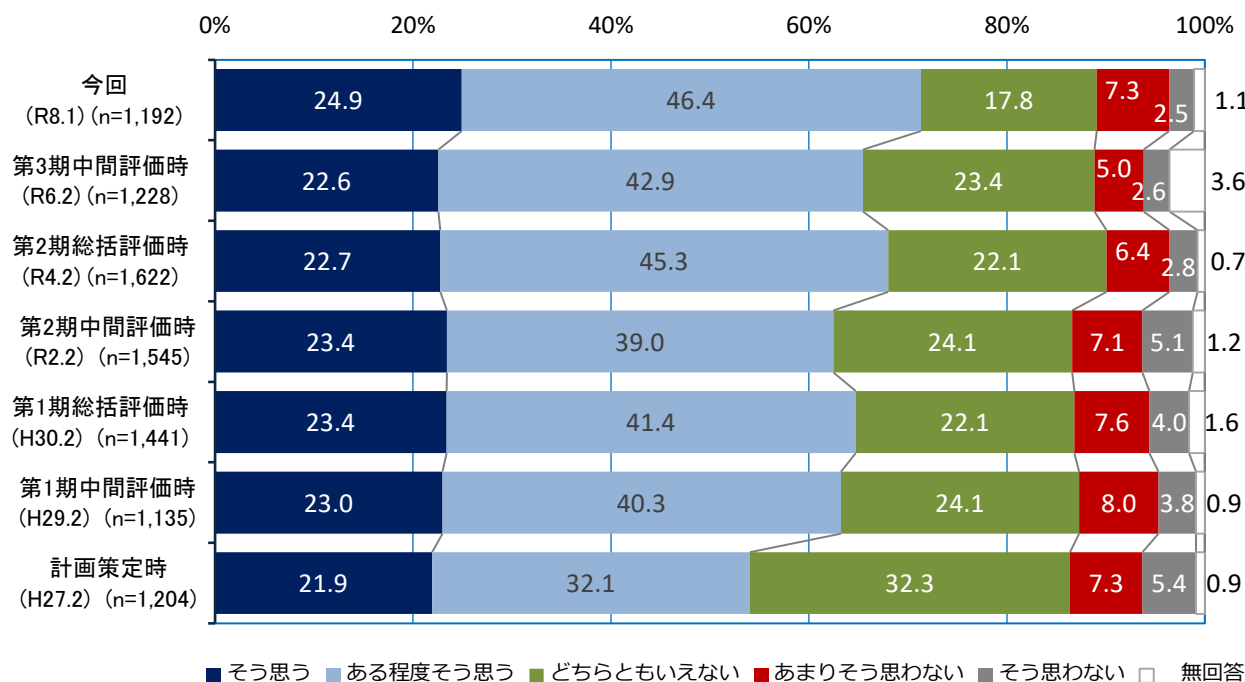
- ・ 浸水や冠水が繰り返され、対策の遅れに不安がある。
- ・ 具体的な取り組みが見えず、情報の周知や啓発も不足していると思う。
- ・ 人口増やタワマン乱立に、避難所などのキャパシティが追いついていない。

図表 1 災害に強いまちづくりについて（属性別）



2. 安全・安心な日常生活について

問2 あなたは、安全・安心な日常生活を送っていると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 71.3%で、計画策定時の調査から 17.3 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 9.8%で、計画策定時の調査から 2.9 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 46.4%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では10歳代の層、職業別では学生の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、自営業主の層では『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、高津区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、川崎区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・特に困っている事はなく、早朝や深夜でも照明がしっかりあって安心している。
- ・近所の皆さんがそれぞれ周りの方に気を配って日々を過ごしていると思う。
- ・豪雨の時多摩区の公民館を避難所としてすぐに開放してくれた。

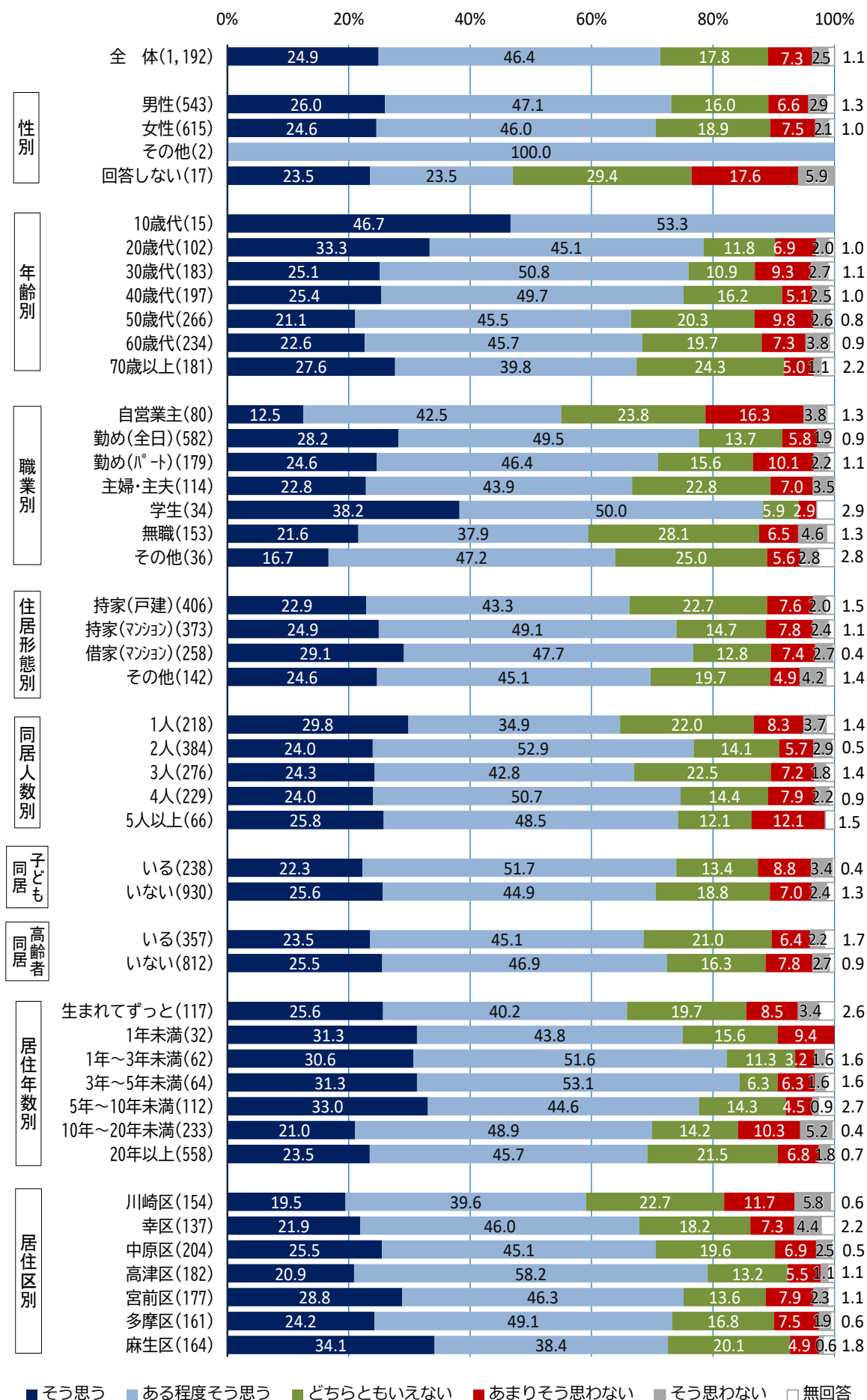
【どちらともいえない】

- ・地域の治安は良好だが、高齢運転者や自転車のマナーに不安がある。
- ・今のところは何も問題なく過ごしているが、用心はしているし安心はしていない。

【消極的回答】

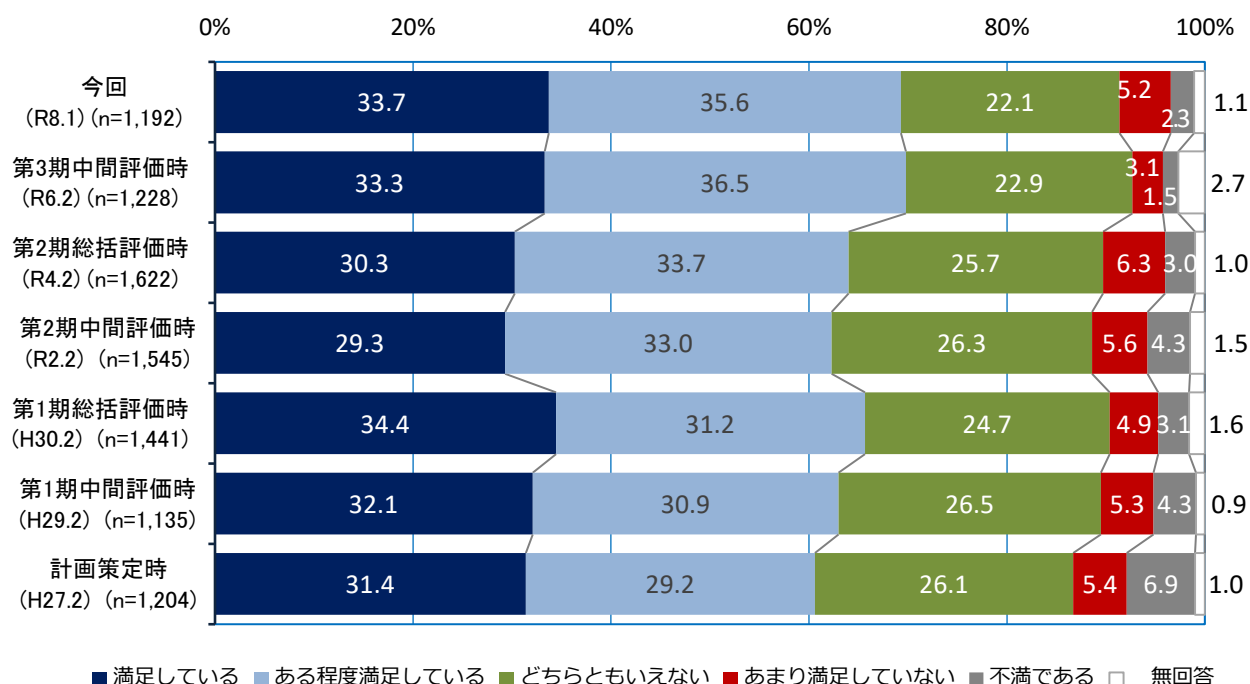
- ・セールスや勧誘が多い。危険運転や騒音が気になる。事件や事故が多い。
- ・歩道整備が不十分な箇所があり、ベビーカー利用者や児童が安全に通行できない。

図表 2 安全・安心な日常生活について（属性別）



3. 上下水道について

問3 あなたは、川崎市の上下水道サービスについて満足していますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『積極的回答』の割合は 69.3%で、計画策定時の調査から 8.7 ポイント上昇している。「不満である」と「あまり満足していない」を合わせた『消極的回答』の割合は 7.5%で、計画策定時の調査から 4.8 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度満足している」の割合が 35.6%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、40 歳代の層、職業別では主婦・主夫、学生の層、同居人数別では 1 人の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、同居人数別では、5 人以上の層で『積極的回答』の割合が低くなっている。
- ・居住区別では、多摩区において『積極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・断水がほとんどない。水道水がそのまま飲める。
- ・最近下水道の工事を見かける。古い物から交換しているようで安心している。
- ・水道の検針員の方からの声掛けがあり変化や故障などにも留意してもらっている。

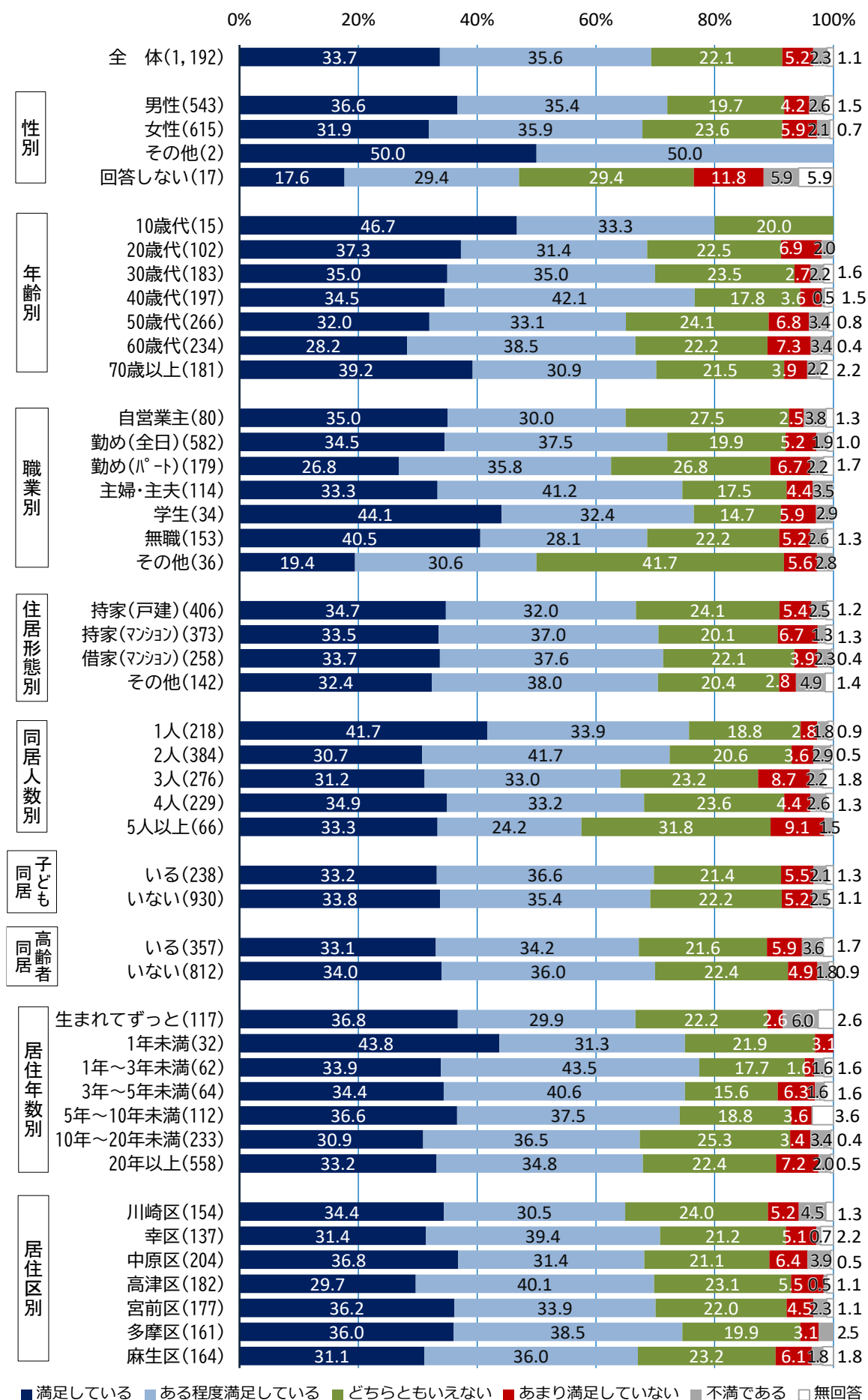
【どちらともいえない】

- ・概ね満足だがアプリはそこまで便利ではない。
- ・大きな問題はないが、人口の増加が想定されているのにインフラ整備が後手の印象がある。

【消極的回答】

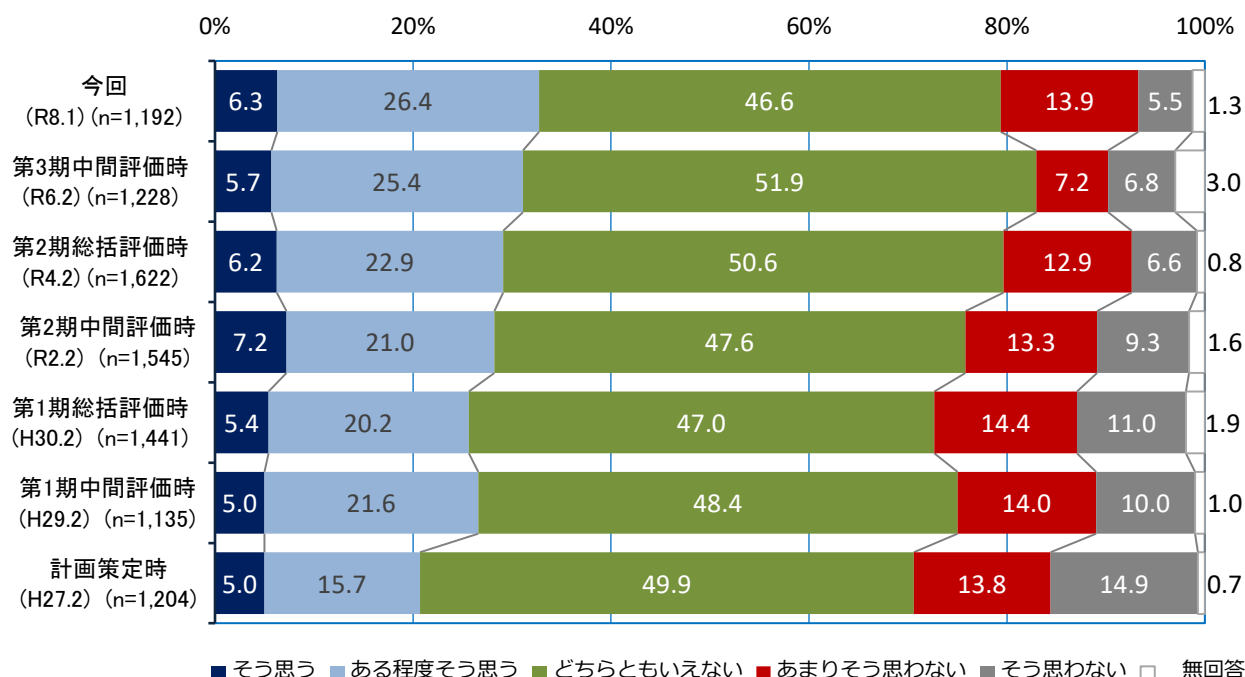
- ・水道料金が高く、サービス内容が変わらないのに値上がりしている。
- ・水道管の老朽化による事故や水質の安全性に不安があり信頼できない。

図表 3 上下水道について（属性別）



4. 高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境について

問4 あなたは、川崎市において、高齢者や障害者がいきいきと生活できるような環境が整っていると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 32.7%で、計画策定時の調査から 12.0 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 19.4%で、計画策定時の調査から 9.3 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 46.6%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、居住年数別では 1 年～3 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 60 歳代、70 歳以上の層、居住年数別では生まれてからずっとこの層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、麻生区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、幸区、中原区においては、『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・高齢者のための教養講座を開いて外に出る機会を作ってくれている。
- ・高齢者や障害者を対象としたボランティア活動やサークル活動を目にする機会がある。
- ・高齢者が夕方にウォーキングをしているのをよくみかける。

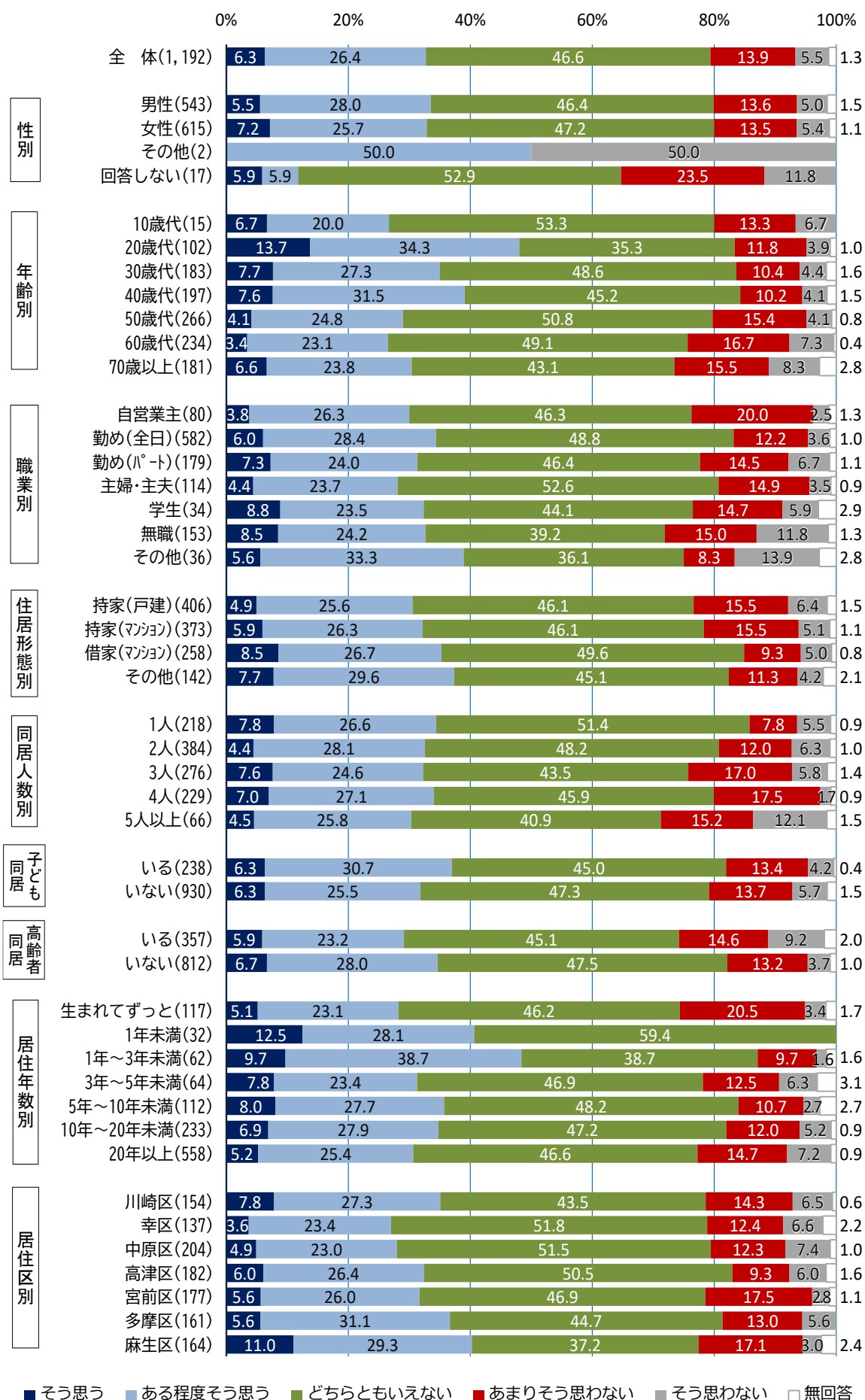
【どちらともいえない】

- ・高齢者や障害者向けのサービスを詳しく知らず、実際どうなのかわからない。
- ・歩道の段差や坂道が多く、車椅子や高齢者の移動には不自由だと思うが、自分には影響がないのでどちらともいえない。

【消極的回答】

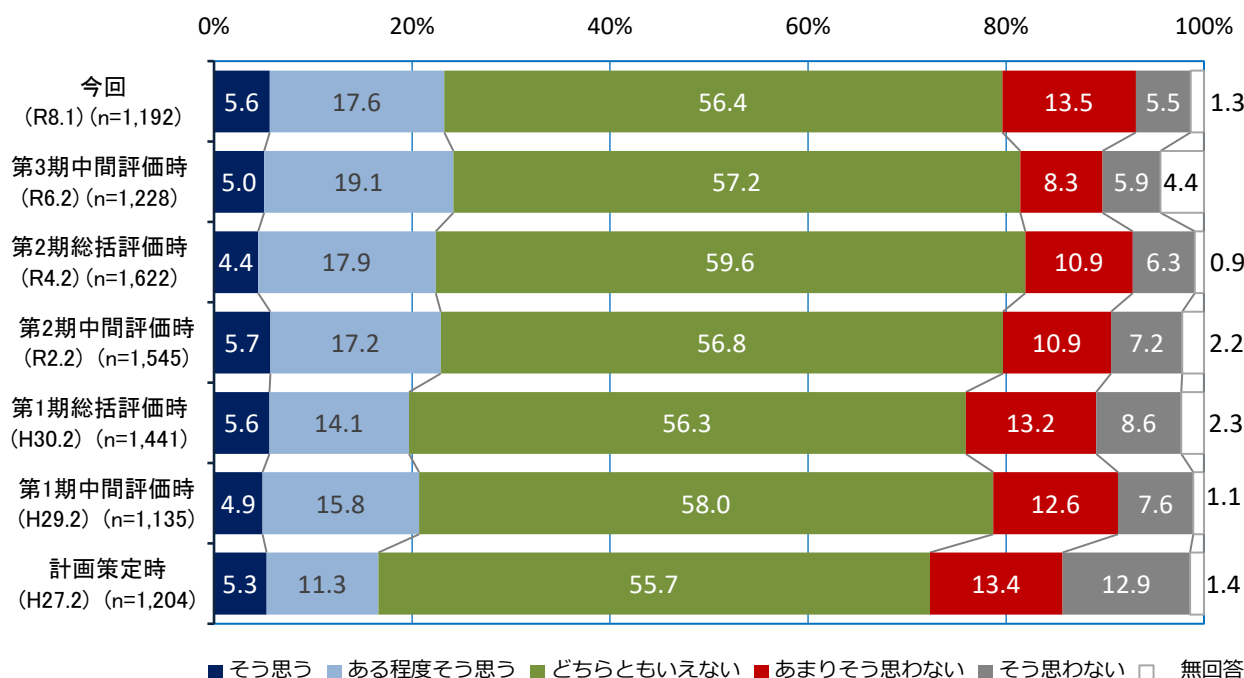
- ・歩道の段差や狭さ、坂道の多さが外出時の大きな障壁になっている。
- ・他都市に比べて公共交通機関の割引や福祉サービスが不十分だと思う。

図表 4 高齢者や障害者がいきいきと生活できる環境について（属性別）



5. 社会保障制度に基づく市の取組について

問5 あなたは、社会保障制度に基づく川崎市の取組が、病気、怪我、失業などによる市民の経済的な不安の軽減に役立っていると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 23.2%で、計画策定時の調査から 6.6 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 19.0%で、計画策定時の調査から 7.3 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 56.4%で最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、70 歳以上の層、居住年数別では 5 年～10 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、10 歳代の層では『消極的回答』の割合も高くなっていて、居住年数別では 10 年～20 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、高津区において『積極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・広報紙を見ていると、さまざまな支援があることがわかる。
- ・小児医療費助成や高額療養費制度などの支援があって助かっている。

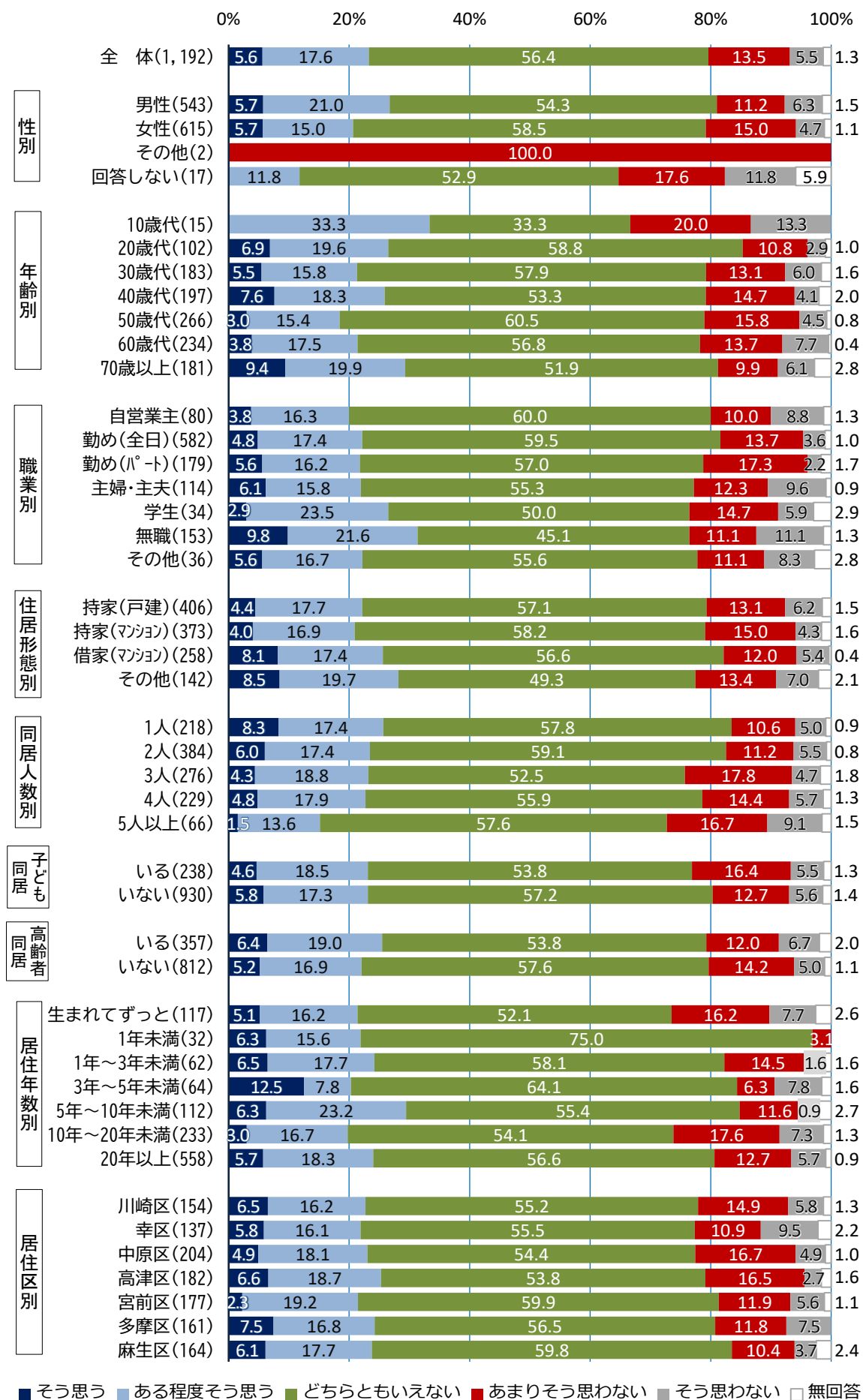
【どちらともいえない】

- ・幸いにも利用することがなかったので何とも言えない。
- ・川崎市の取り組みを知らないので判断できない。

【消極的回答】

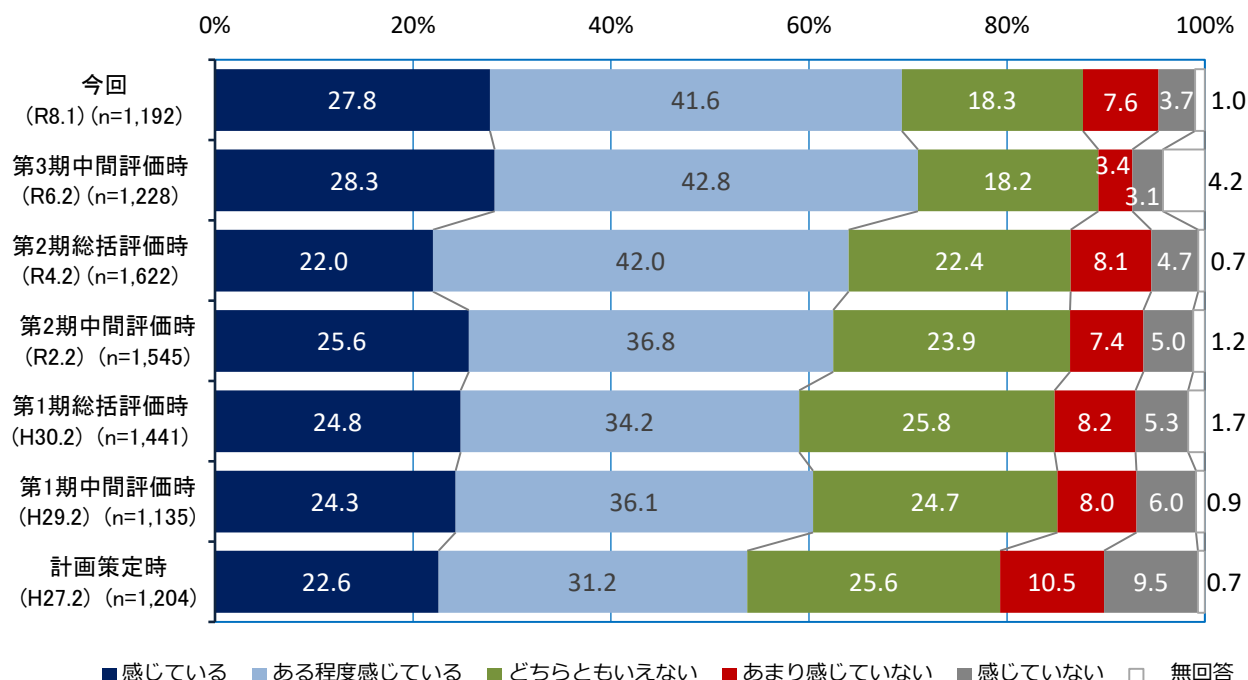
- ・病気や失業時の保障が不十分で、将来の生活に強い不安を抱いている。
- ・制度が周知されておらず、必要な支援や相談先にたどり着けない市民が多いと思う。

図表 5 社会保障制度に基づく市の取組について（属性別）



6. 医療の体制について

問6 あなたは、川崎市において、安心して医療を受けることができると感じていますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「感じている」と「ある程度感じている」を合わせた『積極的回答』の割合は 69.4%で、計画策定時の調査から 15.6 ポイント上昇している。「感じていない」と「あまり感じていない」を合わせた『消極的回答』の割合は 11.3%で、計画策定時の調査から 8.7 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 41.6%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、20 歳代、40 歳代の層、職業別では学生の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、居住年数別では生まれてからずっとの層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、高津区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、川崎区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 周囲に様々な診療科の病院があるし、総合病院も通える範囲にある。
- ・ 子供の医療費の所得制限が撤廃されたのは、本当にありがたい。
- ・ 外国人として、川崎で医療サービスを受ける際に問題を感じたことはない。

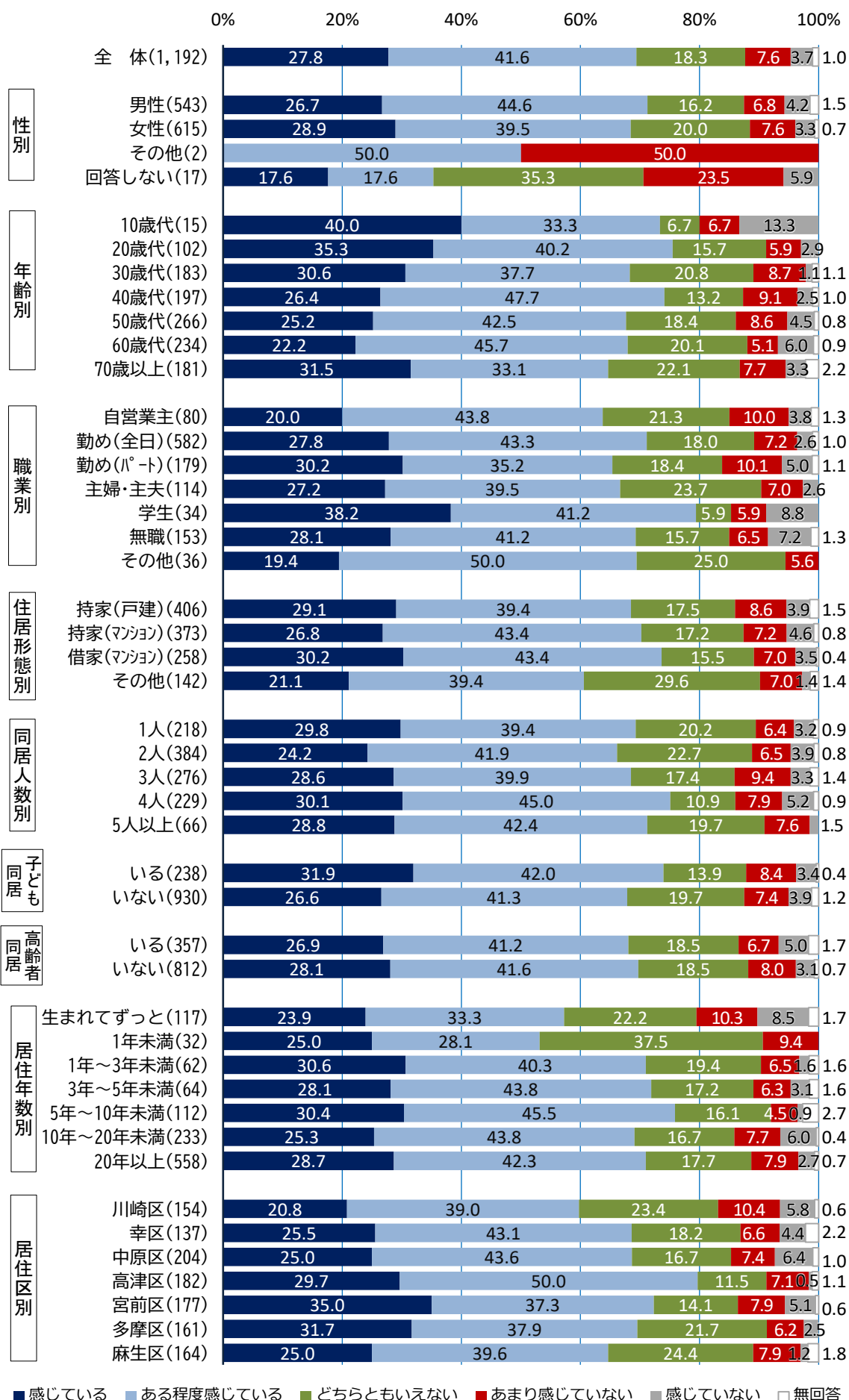
【どちらともいえない】

- ・ 健康なので医療と縁がなくわからない。
- ・ 都内等と比較して助成やサービスが弱いと感じるが、病院は多いと思う。

【消極的回答】

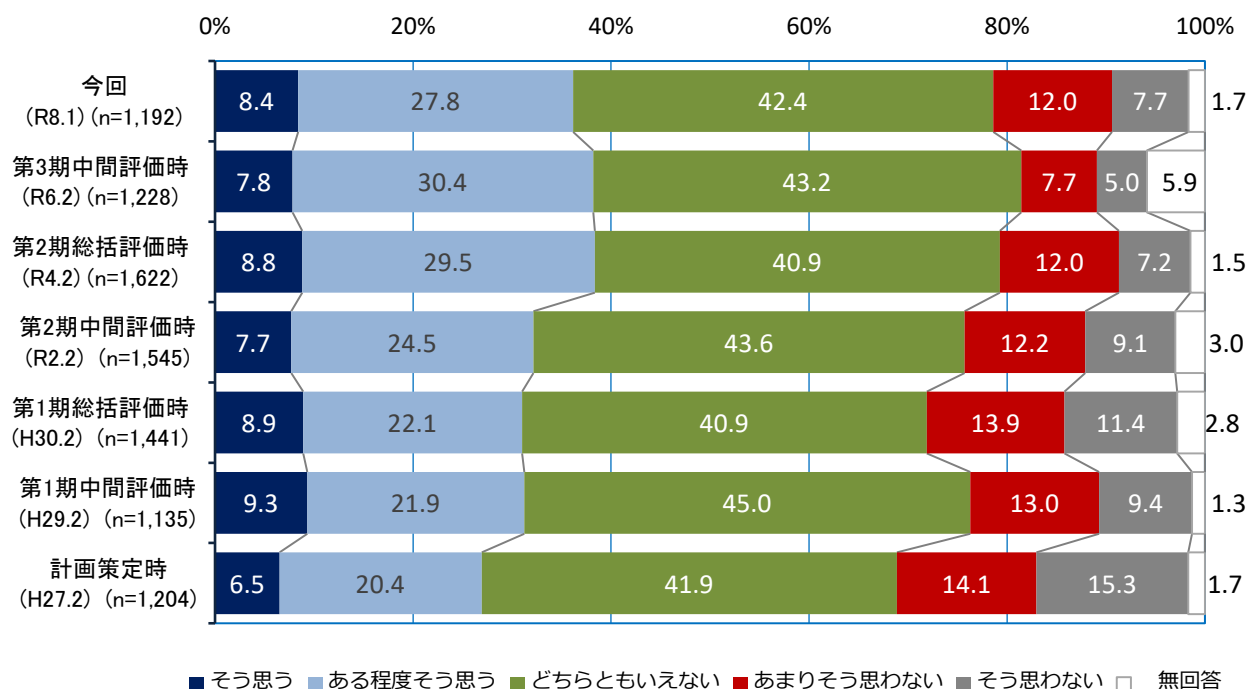
- ・ 廃止された医療費助成制度がある。
- ・ 近くの病院の閉院が相次ぎ、受診先が分からず通院できないから良いとは思えない。

図表 6 医療の体制について（属性別）



7. 子育て環境について

問7 あなたは、川崎市が、妊娠・出産から子どもが成長していくまでの子育て環境の整ったまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 36.2%で、計画策定時の調査から 9.3 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 19.7%で、計画策定時の調査から 9.7 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 42.4%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 40 歳代の層、職業別では学生の層、同居人数別では 4 人の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 30 歳代の層、子どもと同居している層、居住年数別では 3 年～5 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、幸区、高津区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、川崎区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 中学校の給食も出来たし、小児医療も徐々に年齢を上げていただけた。子供の人権にも力を入れており、こどもまんなか社会づくりの実現に向かっていてる。
- ・ 保育園や公園などの施設が充実しており、子育てしやすい環境だと感じる。

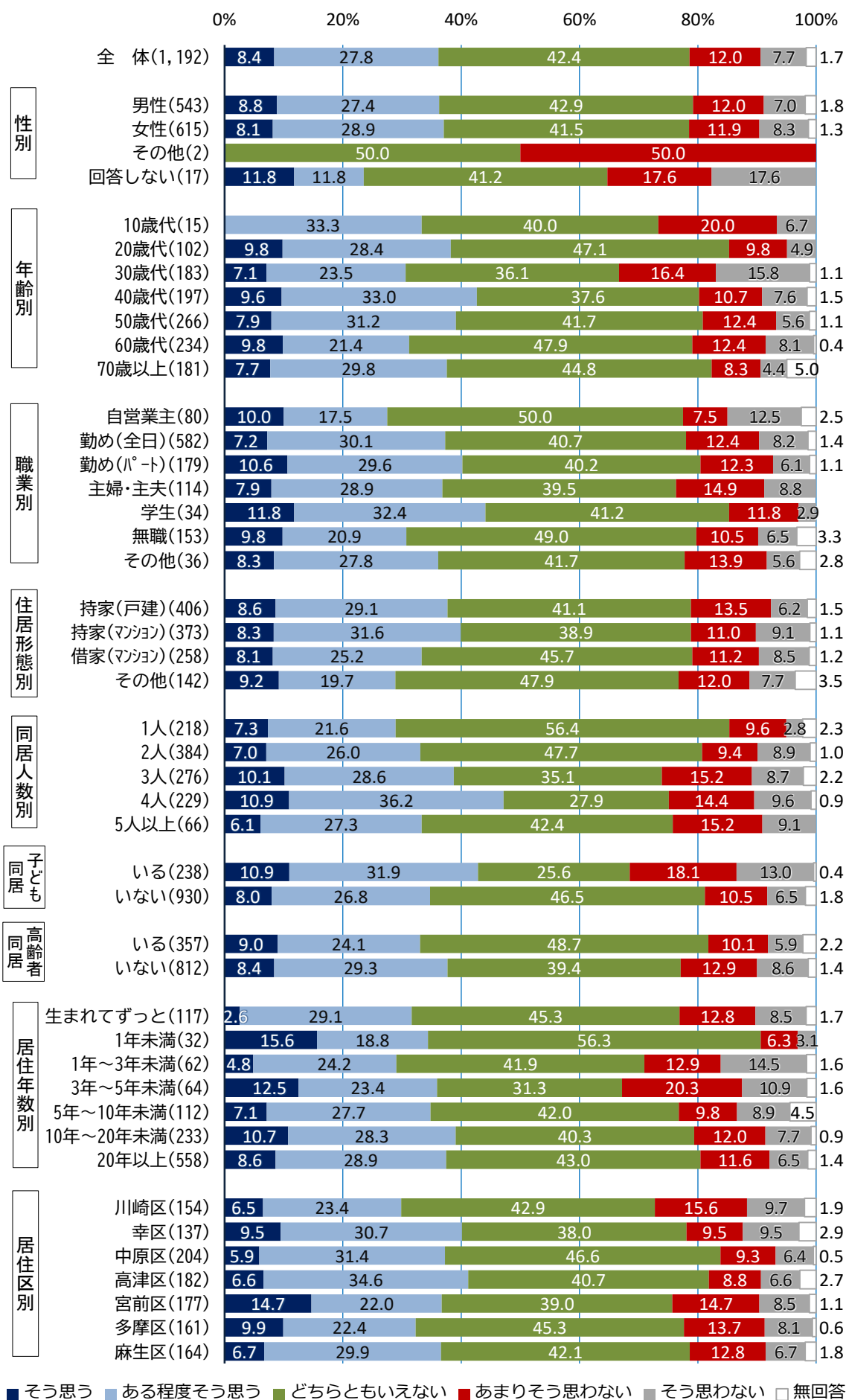
【どちらともいえない】

- ・ 立地がよく都会な点はかなり良いが、治安が全国と比較した際に悪い。
- ・ 子どもが遊べる公園の数があるのは良いが、規模や設備は不十分だと感じる。

【消極的回答】

- ・ 産院や保育園、公園などの施設が不足している。
- ・ 東京都と比べ、医療費助成や保育料の無償化などの子育て支援は十分ではない。

図表 7 子育て環境について（属性別）



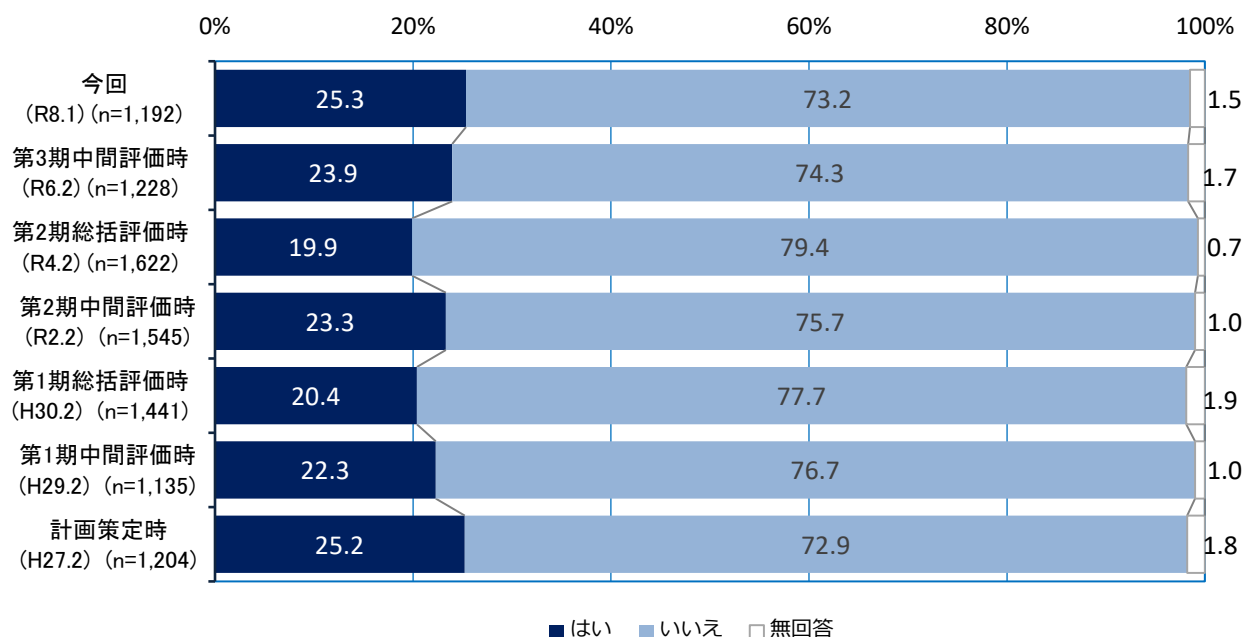
■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

8. 生涯学習について

(1) この1年間における生涯学習の有無について

問 8-1 あなたは、この1年間に、生涯学習※をしたことがありますか。

※毎日の生活や人生を豊かなものにしたたり、自分を取り巻く環境をよりよいものにするために、関心のあることについて学び、活動すること



【計画策定時の調査との比較】

- ・「はい」と答えた人の割合は 25.3%で、計画策定時の調査から 0.1 ポイント上昇している。「いいえ」と答えた人の割合は 73.2%で、計画策定時の調査から 0.3 ポイント上昇している。

【今回の調査の傾向】

- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、20 歳代の層、職業別では学生の層、居住年数別では 1 年未満の層で「はい」の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 40 歳代以上の各層、職業別では無職の層で「いいえ」の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、中原区において「はい」の割合が高くなっている。

※主な自由回答

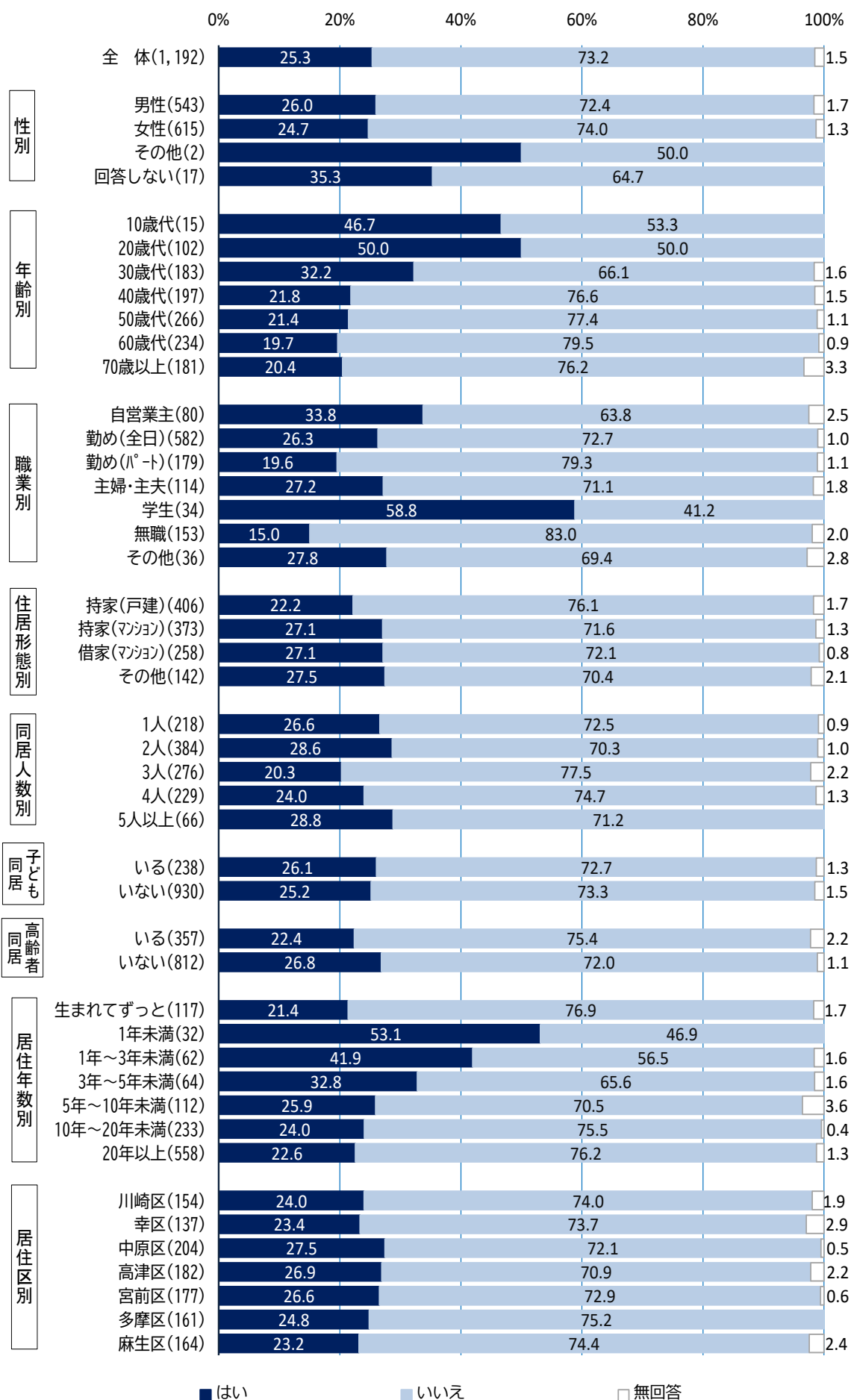
【はい】

- ・自身のスキルアップや資格取得、趣味を深めるために日々意欲的に学んでいる。
- ・市民講座、サークル活動などを通じて地域での学びや交流を楽しんでいる。

【いいえ】

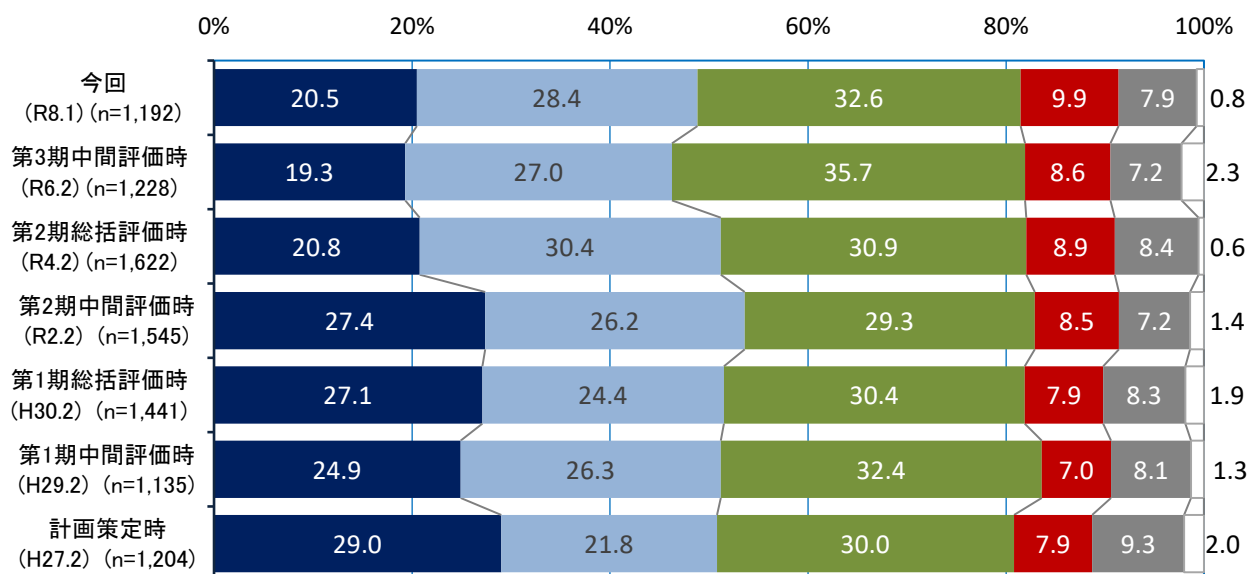
- ・仕事や家事、育児、介護などに追われ、学習のための時間が取れない。
- ・学習の場や内容に関する情報が少なく、何をどこで学ばよいか分からない。

図表 8 この1年間における生涯学習の有無について（属性別）



(2) 自分の知識や技術の地域での活用について

問 8-2 あなたは、自分の知識や技術を、地域や社会で活かしたいと思いますか。



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 48.9%で、計画策定時の調査から 1.9 ポイント低下している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 17.8%で、計画策定時の調査から 0.6 ポイント上昇している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 32.6%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、30 歳代の層、職業別では学生の層、居住年数別では 1 年未満、3 年～5 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 70 歳以上の層、職業別では無職の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、中原区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、宮前区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・長年培った知識や経験、専門資格を活かして地域や社会に貢献したい。
- ・生きがいとして、また社会との繋がりを持つために活動の場があるといいと思う。

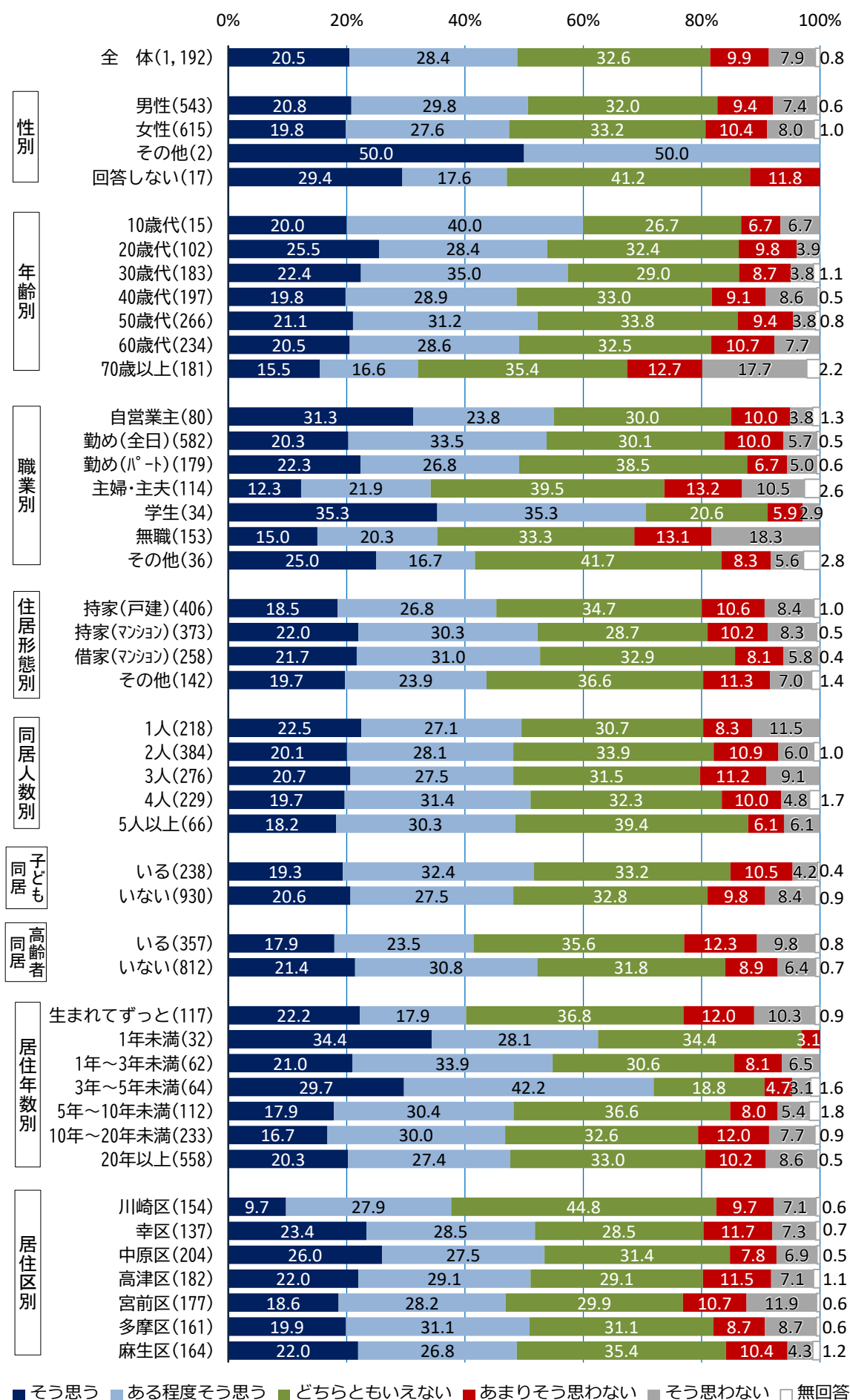
【どちらともいえない】

- ・仕事や家事、育児に追われ、地域貢献に回す時間的な余裕がない。
- ・自分の知識や技術がどの程度社会に役立つのか分からない。自信がない。

【消極的回答】

- ・相応の知識や技能がない。
- ・自身の生活や仕事、家族のことで手一杯で余裕も余力もない。

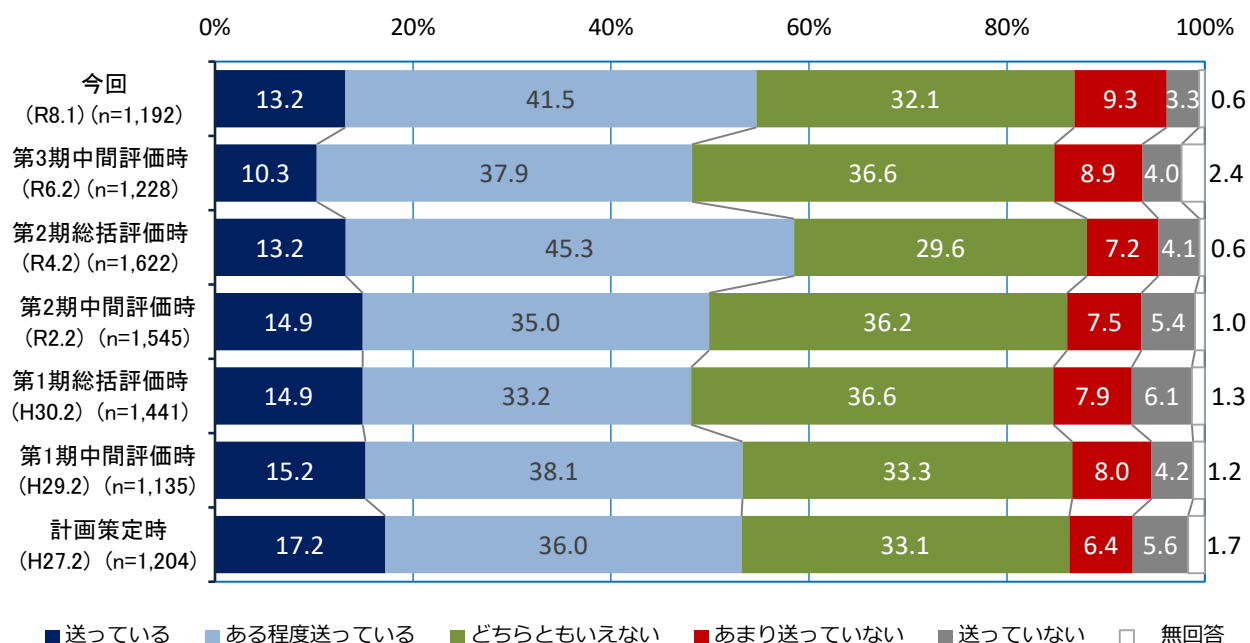
図表 9 自分の知識や技術の地域での活用について（属性別）



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

9. 環境への配慮について

問9 あなたは、地球温暖化の防止など、環境に配慮した生活を送っていますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「送っている」と「ある程度送っている」を合わせた『積極的回答』は 54.7%で、計画策定時の調査から 1.5 ポイント上昇している。「送っていない」と「あまり送っていない」を合わせた『消極的回答』は 12.6%で、計画策定時の調査から 0.6 ポイント上昇している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 41.5%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 60 歳代、70 歳以上の層、職業別では勤め(パート)、無職の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 10 歳代の層、職業別では学生の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、川崎区、麻生区において『積極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・車を自家用からカーシェアにした。なるべく自転車やバス、電車を利用している。
- ・廃棄物減量指導員として町会内のごみ減量、リサイクル、ごみの分別を指導している。
- ・電気、水の節約、ごみの削減分別には気をつけている。

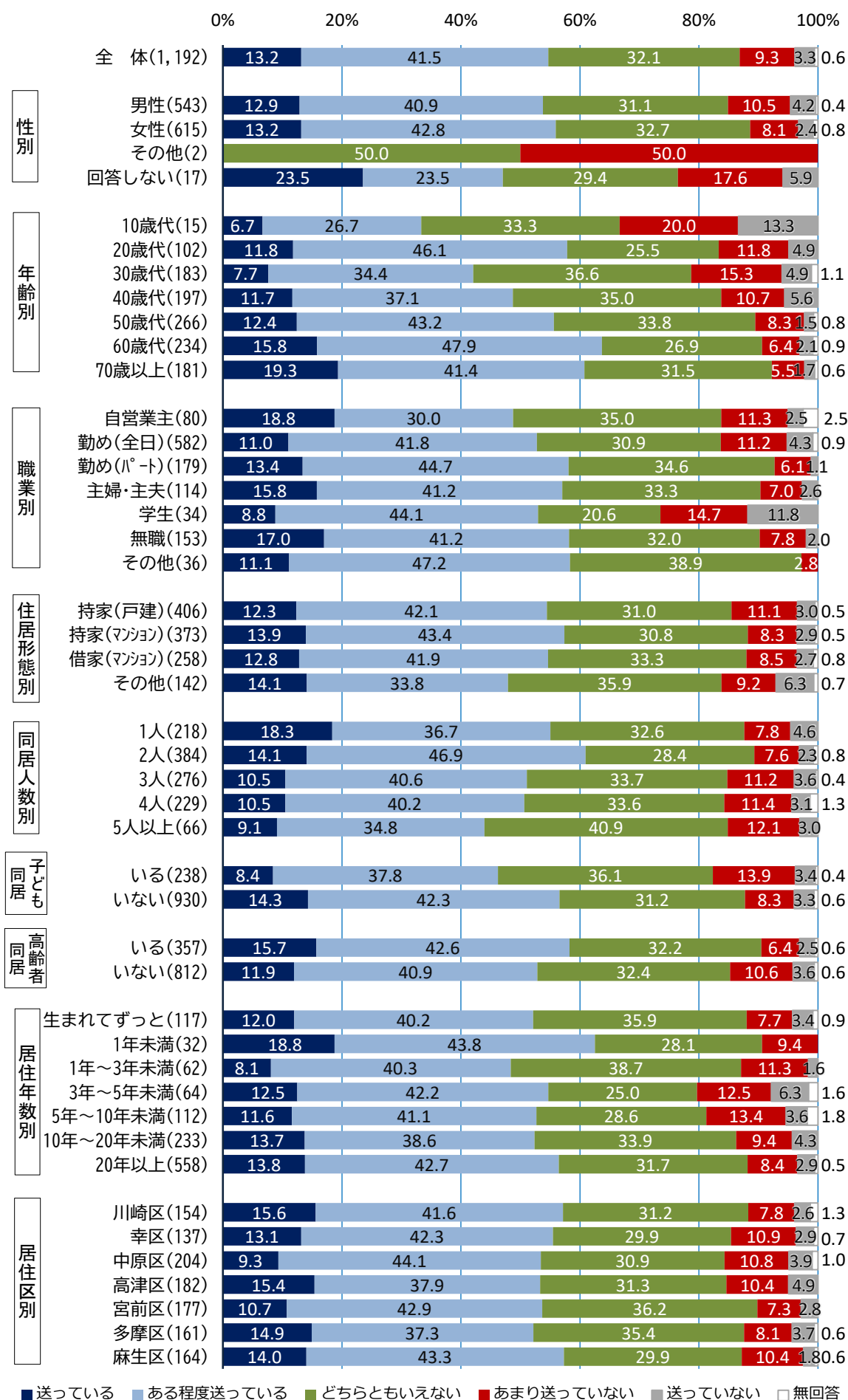
【どちらともいえない】

- ・ゴミの分別や節電は行うが、環境配慮と言えるほどの行動はできていない。
- ・何をすれば良いか分からず、具体的な対策に取り組むことが難しい。

【消極的回答】

- ・具体的に何をすべきか分からず、環境への関心や意識が低い。
- ・環境配慮よりも時短や快適さを優先している。
- ・環境対策は行政や企業が担うべきで、個人の生活に負担を求めるのは無理だと思う。

図表10 環境への配慮について（属性別）

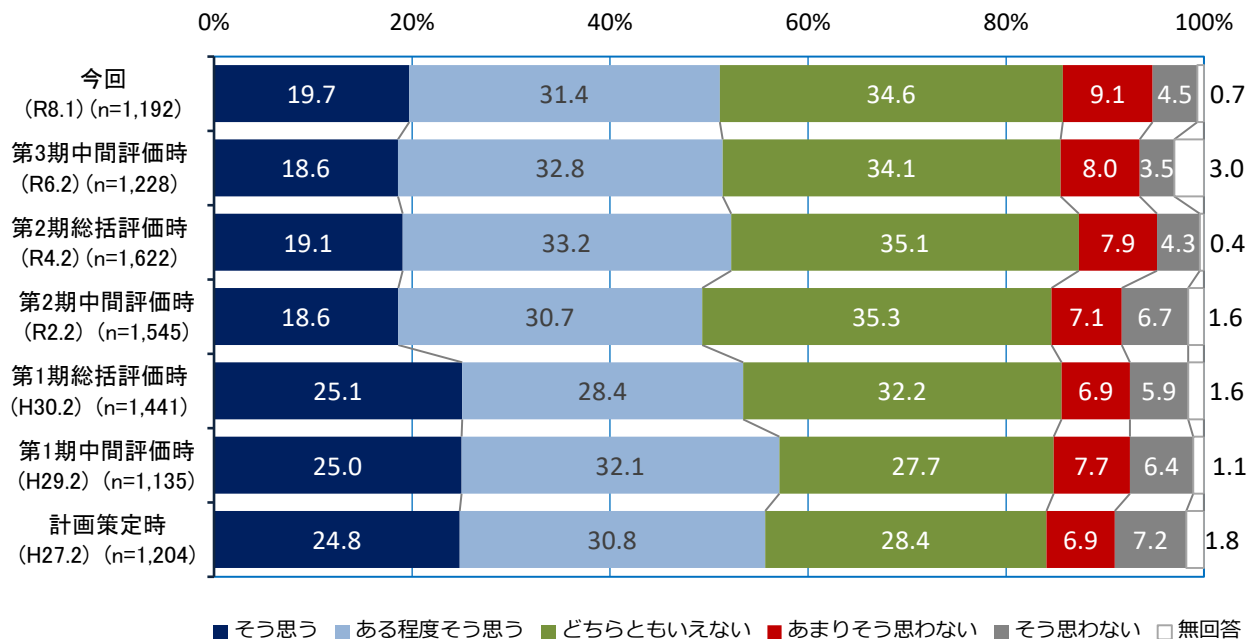


■ 送っている ■ ある程度送っている ■ どちらともいえない ■ あまり送っていない ■ 送っていない □ 無回答

10. 環境保護について

(1) 川崎市内の空気や川の水について

問 10-1 あなたは、川崎市内の空気や川などの水がきれいになったと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 51.1%で、計画策定時の調査から 4.5 ポイント低下している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 13.6%で、計画策定時の調査から 0.5 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 34.6%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 70 歳以上の層、居住年数別では生まれてずっと、20 年以上の層、職業別では無職の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 20 歳代、30 歳代の層、居住年数別では 5 年～10 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、川崎区、高津区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、川崎区においては『消極的回答』の割合も高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・多摩川や平瀬川の水質が改善し、魚や鳥が戻るなど川が綺麗になった。
- ・子供の頃、多摩川は汚く空気も汚れていた。今は、多摩川も空気もきれいになった。
- ・二ヶ領用水が汚れていた頃を覚えている。環境が改善してきて綺麗になった。

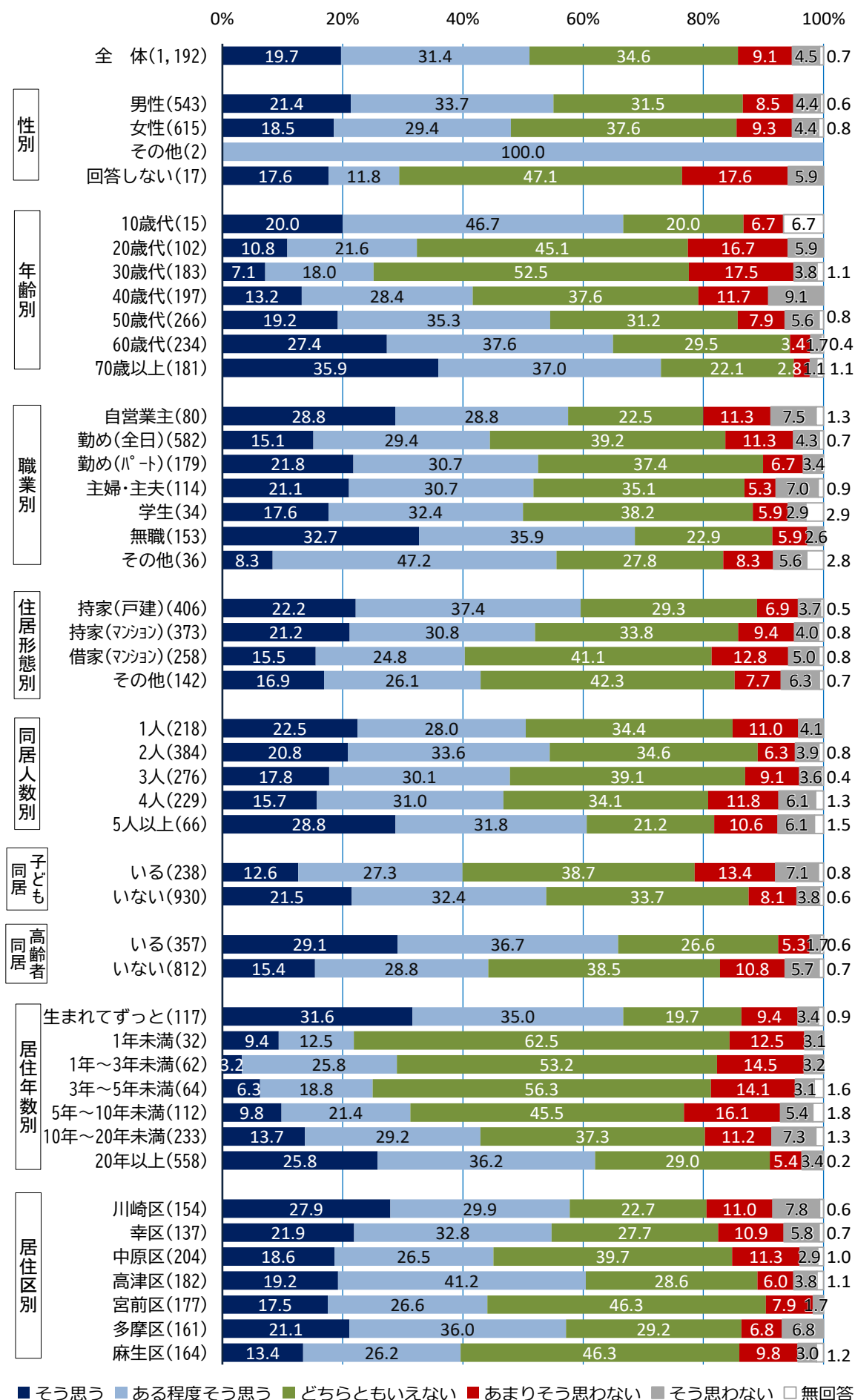
【どちらともいえない】

- ・改善はされているが、地域によって悪い所もある。
- ・最近住み始めたため、昔の状況を知らず改善されたか判断できない。

【消極的回答】

- ・排ガスや工場の煙で空気が悪く、健康被害や家の中の汚れが気になる。
- ・川の汚れやゴミの多さ、下水の臭いなどから、環境が改善されたと思えない。

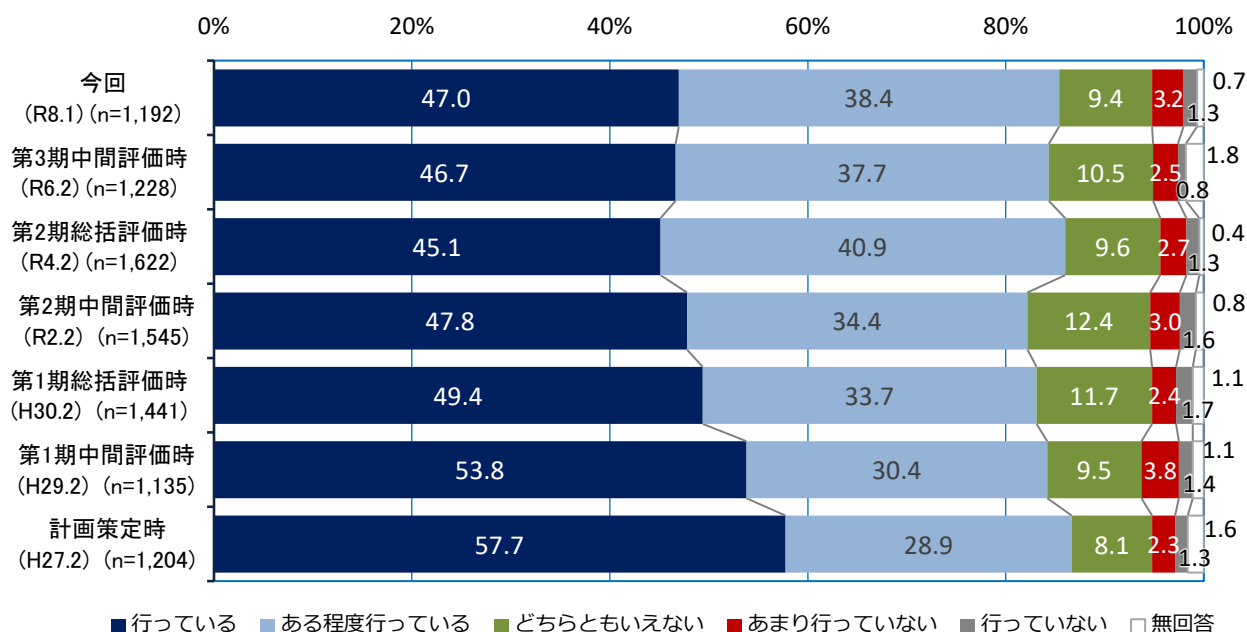
図表 11 川崎市内の空気や川の水について（属性別）



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

(2) ごみを減らす取組について

問 10-2 あなたは、ごみの分別や資源のリサイクルなど、ごみを減らす取組を行っていますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「行っている」と「ある程度行っている」を合わせた『積極的回答』の割合は 85.4%で、計画策定時の調査から 1.2 ポイント低下している。「あまり行っていない」と「行っていない」を合わせた『消極的回答』の割合は 4.5%で、計画策定時の調査から 0.9 ポイント上昇している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「行っている」の割合が 47.0%で、最も高くなっている。
- ・全ての属性において、『積極的回答』の割合が 8 割を超えている。一方で、年齢別では 30 歳代の層、居住年数別では 3 年～5 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ゴミの分別やリサイクルを徹底し、マイボトル持参などで減量に努めている。
- ・自治体のルールを遵守し、日々の生活の中で環境意識を持って行動している。
- ・マンションにディスプレイがあるの、生ごみはだいぶ減量している。

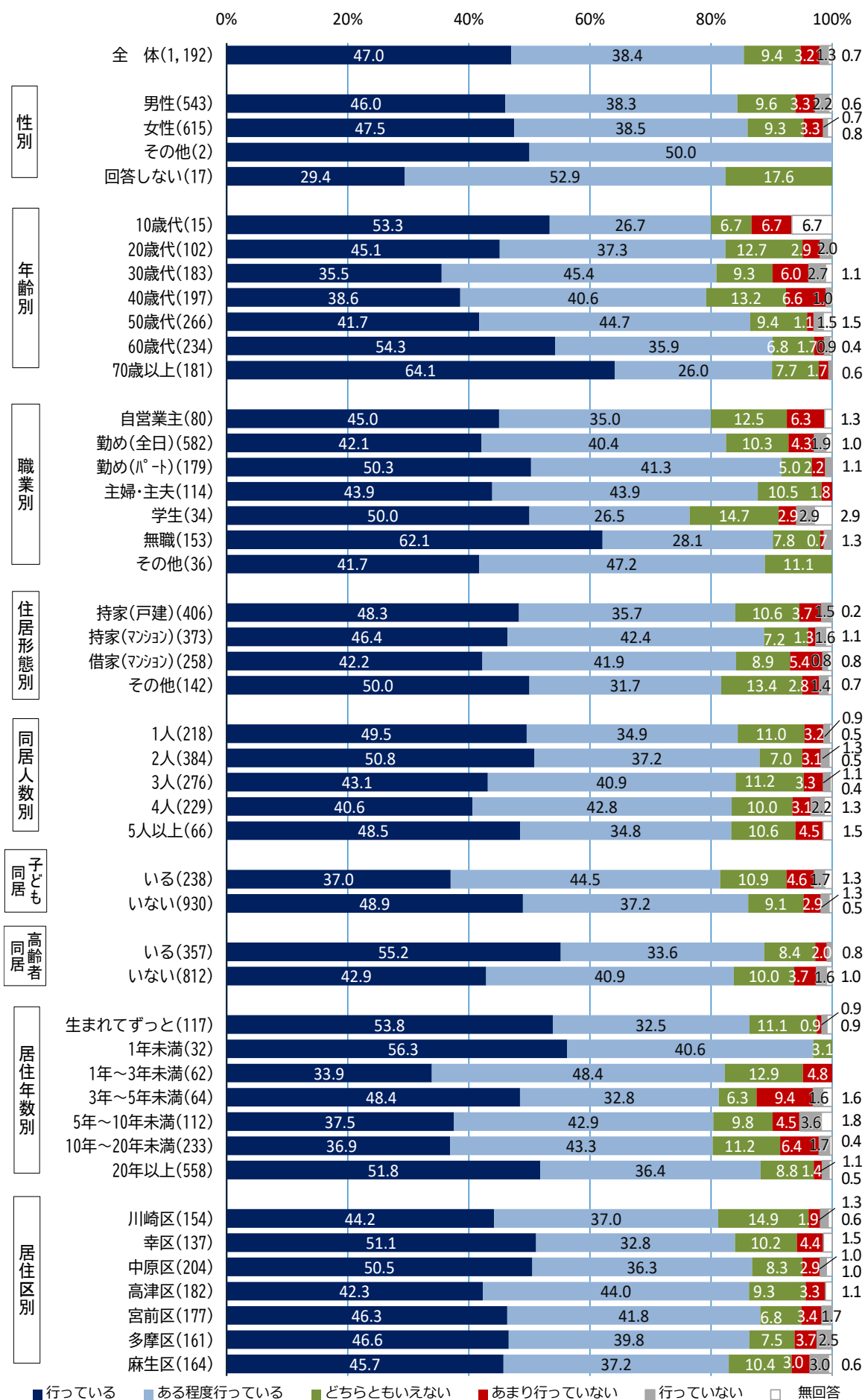
【どちらともいえない】

- ・分別は行うが、ゴミ自体の量を減らす取り組みまではできていない。

【消極的回答】

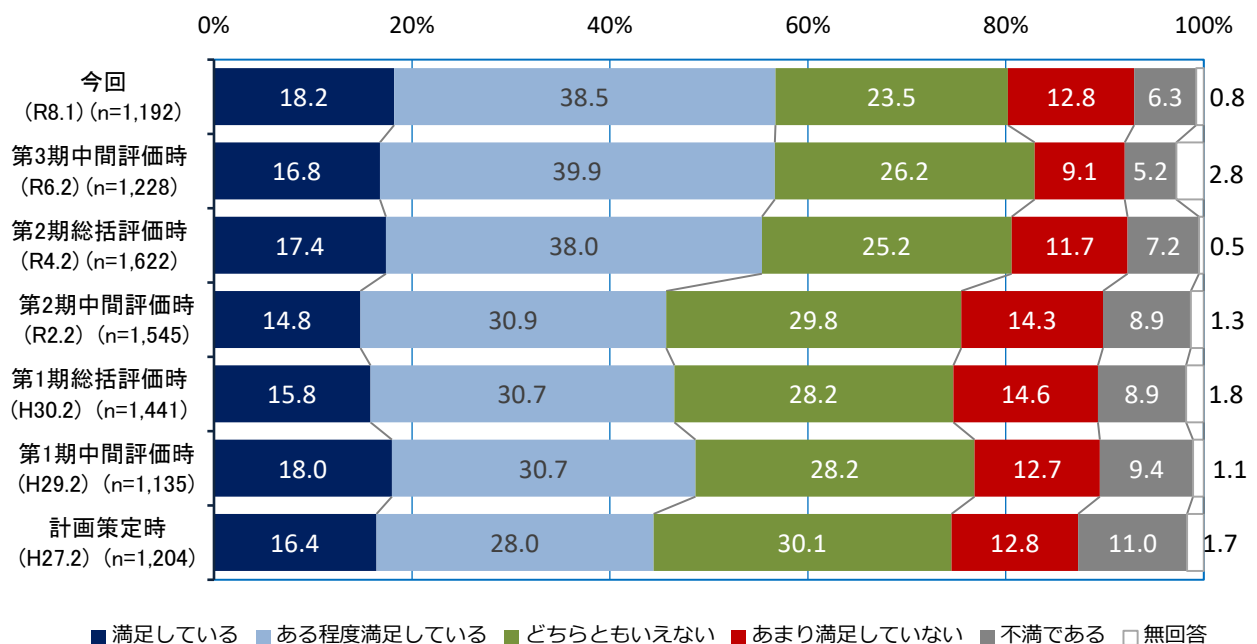
- ・ゴミを減らす取り組みは難しく、面倒に感じてしまい関心が持てない。
- ・企業によるゴミの出ない製品作りや行政の補助制度を優先した方がよい。

図表 12 ごみを減らす取組について（属性別）



1 1. 自然や公園について

問 11 あなたは、川崎市内にある自然（緑地、河川など）や公園に満足していますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『積極的回答』の割合は 56.7%で、計画策定時の調査から 12.3 ポイント上昇している。「不満である」と「あまり満足していない」を合わせた『消極的回答』の割合は 19.1%で、計画策定時の調査から 4.7 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度満足している」の割合が 38.5%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 50 歳代の層、職業別では勤め(全日)の層、居住年数では 1 年未満、1 年～3 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、職業別では自営業主の層、同居人数別では 5 人以上の層、居住年数別では生まれてからずっとの層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、多摩区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、川崎区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 昔に比べて公園が多くなったと感じている。河川も昔より草の手入れがされている。
- ・ 生田緑地などの自然豊かな場所が身近にあり、散策や癒しの場となっている。
- ・ 行ってみたいと思う公園が沢山あるし、近所に緑が多くて満足している。

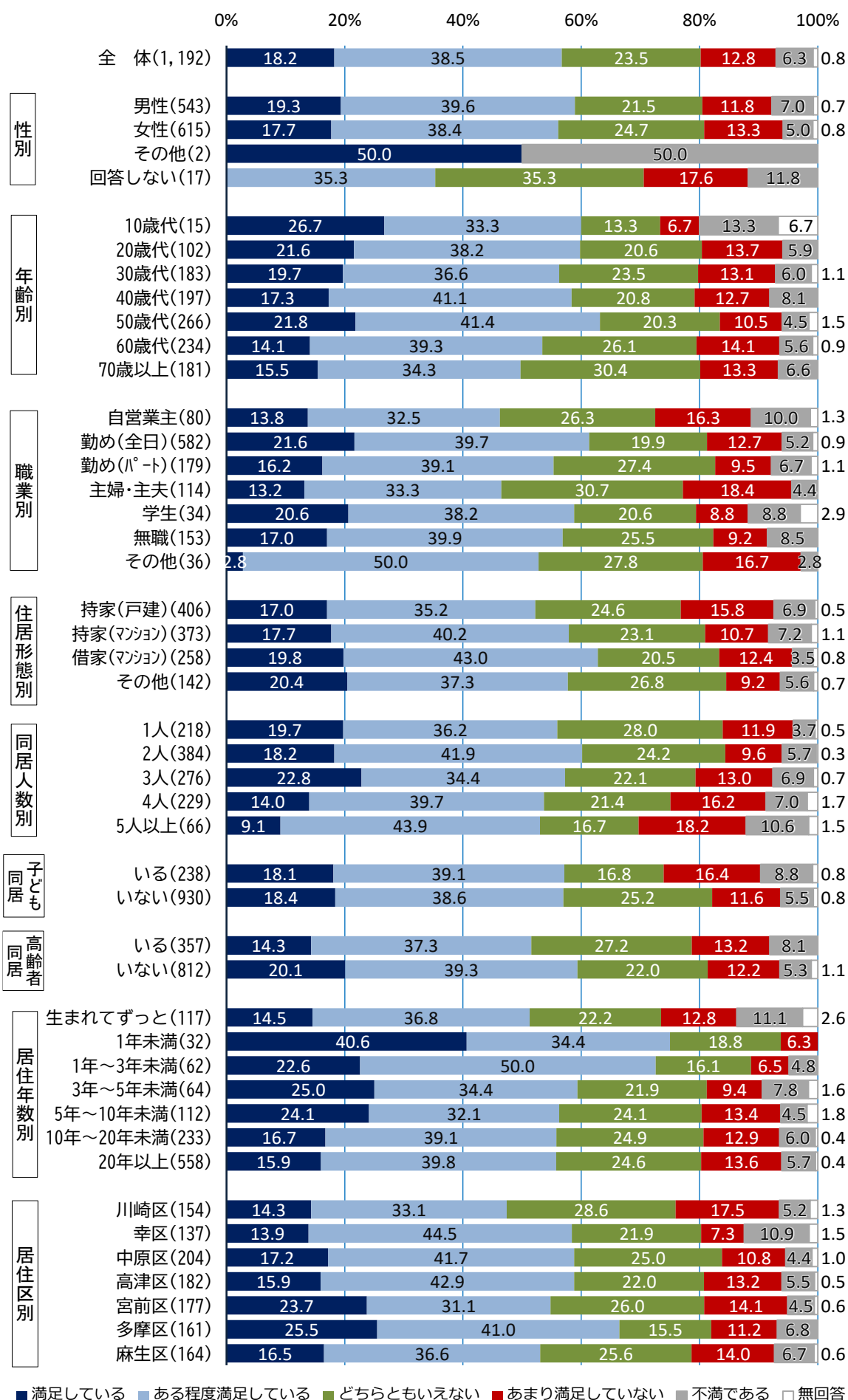
【どちらともいえない】

- ・ 公園の数はあるが、ボール遊びの禁止など制限が多く自由に遊べない。
- ・ 遊具の老朽化やトイレの汚れ、ドッグランの不足など設備面が気になる。

【消極的回答】

- ・ 公園のトイレ不足や遊具老朽化、掃除など改善してほしいことがいくつかある。
- ・ 安全面の配慮に欠ける。自然保護と言いつつ放置しているようにしか思えない。
- ・ 近所に緑や公園が少なく、特に家族で遊べる大きな公園がない。

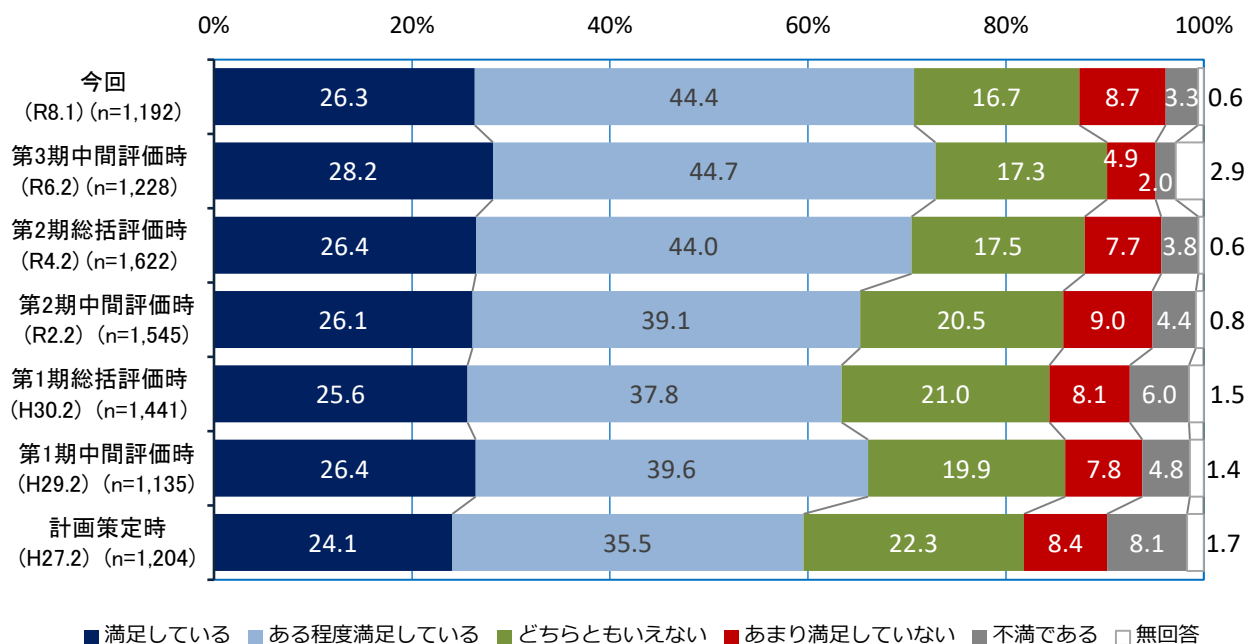
図表 13 自然や公園について（属性別）



■ 満足している ■ ある程度満足している ■ どちらともいえない ■ あまり満足していない ■ 不満である □ 無回答

1 2. 住環境（住みやすさ）について

問 12 あなたは、お住まいの地域の住環境（住みやすさ）に満足していますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた『積極的回答』の割合は 70.7%で、計画策定時の調査から 11.1 ポイント上昇している。「不満である」と「あまり満足していない」を合わせた『消極的回答』の割合は 12.0%で、計画策定時の調査から 4.5 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度満足している」の割合が 44.4%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、職業別では勤め(全日)、学生の層、居住形態別では借家(マンション)、持ち家(マンション)の層、居住年数別では 1 年～3 年未満、5 年～10 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、職業別では自営業主の層、同居人数別では 5 人以上の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、幸区、多摩区において『積極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 鉄道やバス、スーパー、病院などが身近にあり、交通や生活の利便性が高い。
- ・ 街が静かで治安も良く、公園や街路樹など自然とのバランスも取れている。
- ・ 川崎区は治安が悪いと言われるが全然そうは思わない。とにかく便利。

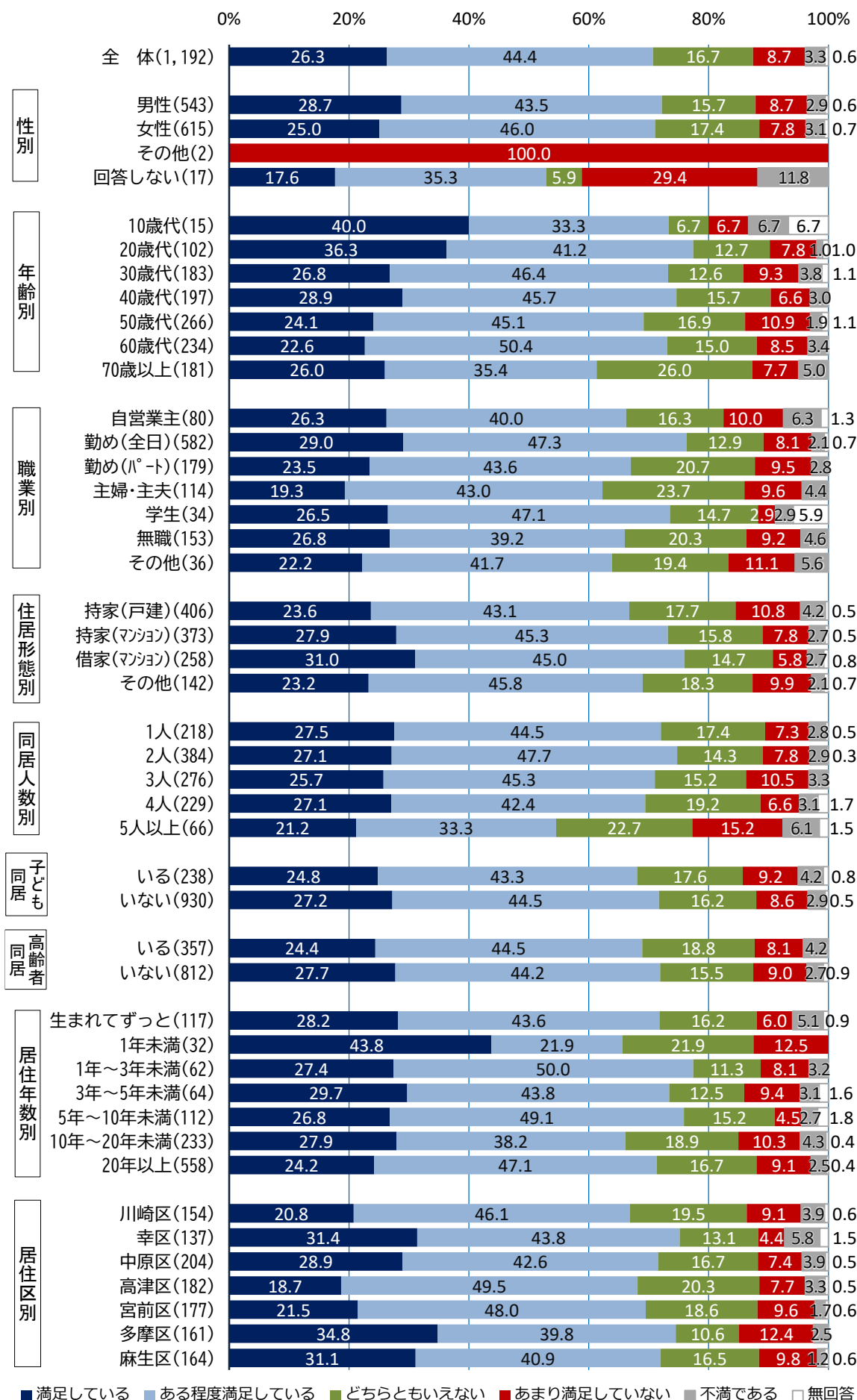
【どちらともいえない】

- ・ 住みやすい街ではあるが、都市開発問題で揉め事が多かったため、どちらともいえない。
- ・ 転入後、盗難被害にあったので治安は良くないと思うが、住みやすい環境ではある。

【消極的回答】

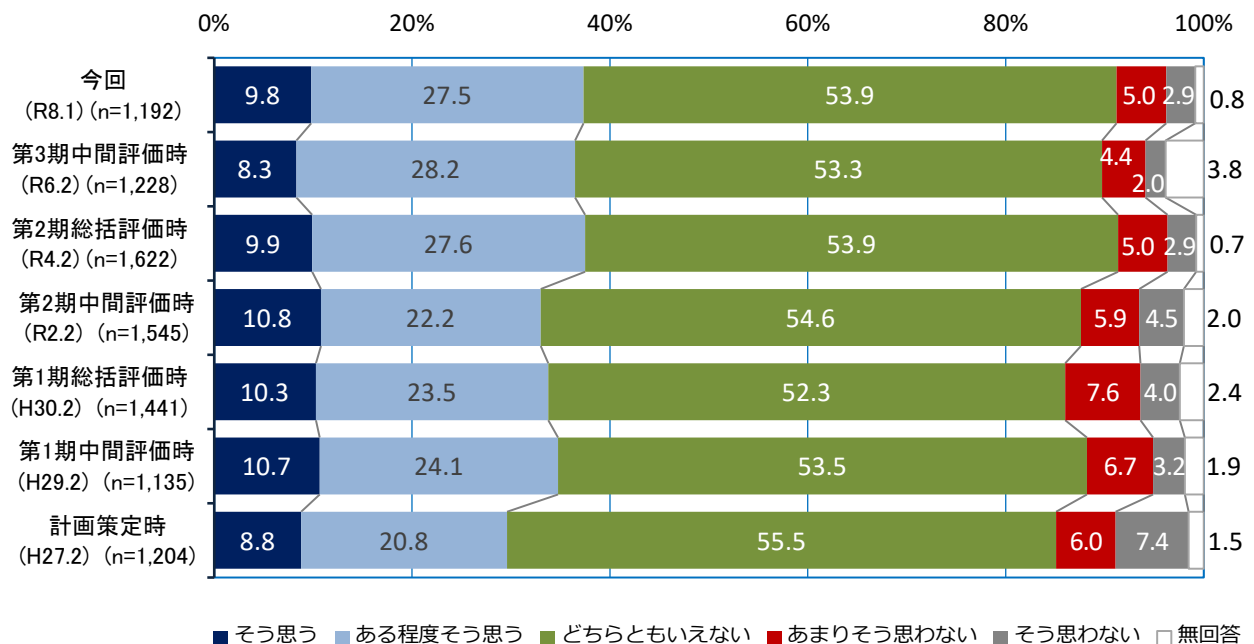
- ・ 街灯が少ないため移動が危険で夜道は怖い。
- ・ 治安の悪化や騒音、日照問題、スーパーの減少など生活環境は悪くなっている。

図表 14 住環境（住みやすさ）について（属性別）



1 3. 働きやすさについて

問 13 あなたは、川崎市が働きやすいまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 37.3%で、計画策定時の調査から 7.7 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 7.9%で、計画策定時の調査から 5.5 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 53.9%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、20 歳代の層、職業別では学生の層、居住年数別では 1 年未満、生まれてからずっとの層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 10 歳代、30 歳代の層、同居人数別では 5 人以上の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、川崎区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、宮前区においては『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 企業が多く雇用はある方だと思う。高齢になっても働く場所があるため満足。
- ・ 公共交通機関や道路が整備されており、市内外へ通勤するのに非常に便利。
- ・ もう 20 年以上、川崎市で働いている。働きやすい。問題点は見当たらない。

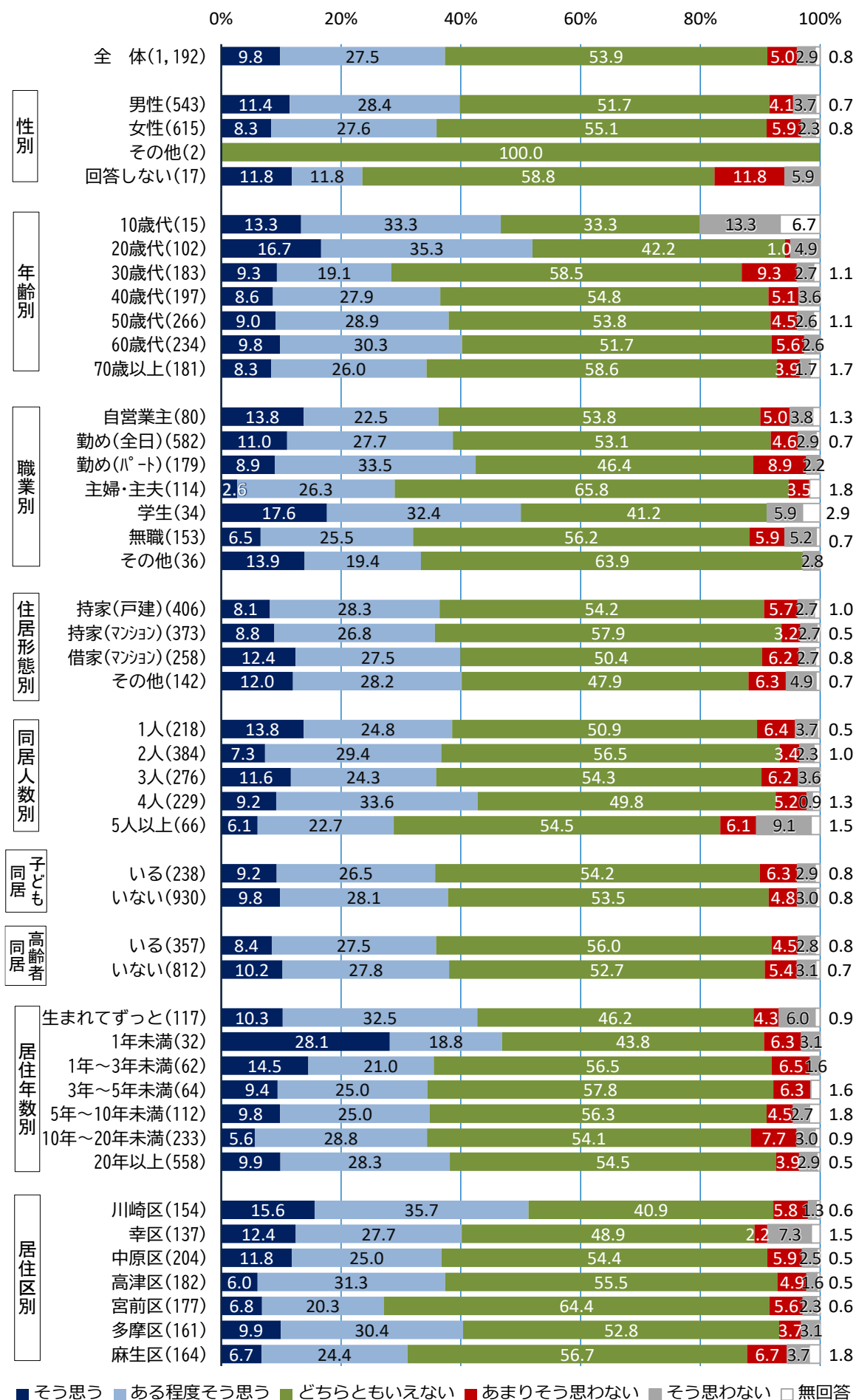
【どちらともいえない】

- ・ 仕事は多いが、交通の混雑や給与格差、求人の多様性不足はある。
- ・ 個人としては働きやすさを感じているが、就労者支援の周知が不足している。

【消極的回答】

- ・ 都内や横浜への通勤者が多く、市内の求人条件や交通網に不満がある。
- ・ 都内に比べて賃金が低く、保育士や介護士などの働き手が不足している。

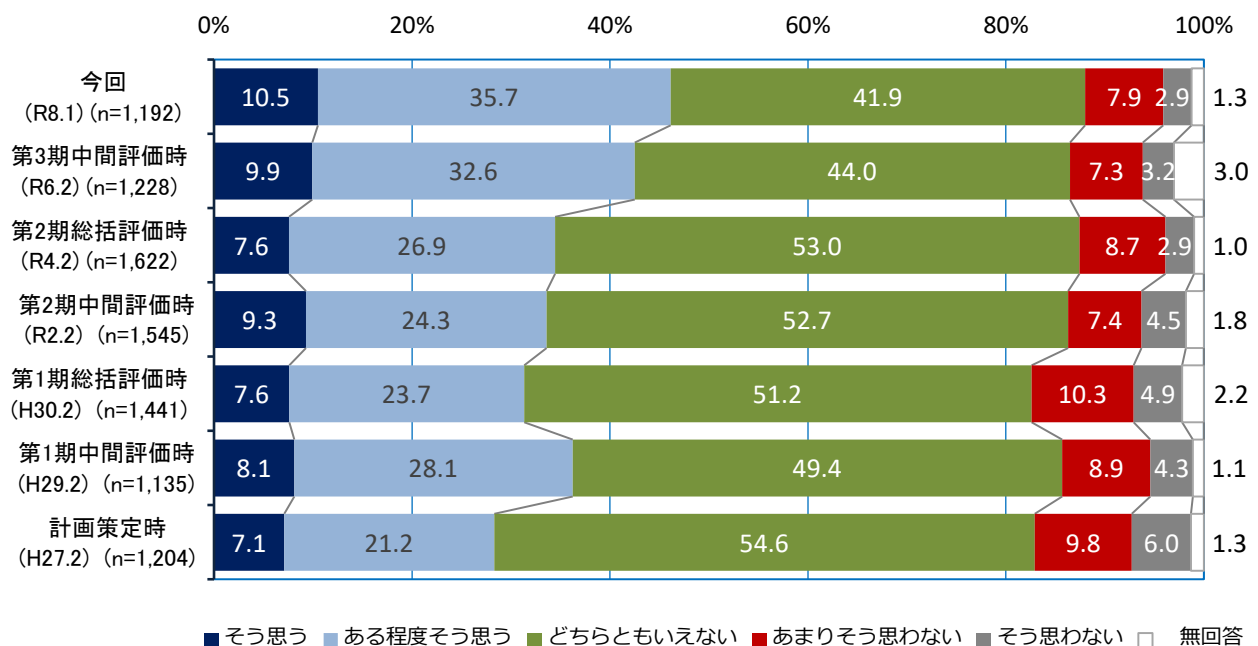
図表 15 働きやすさについて（属性別）



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

1 4. 産業について

問 14 あなたは、川崎市が、産業に活力があり、事業者が元気なまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 46.2%で、計画策定時の調査から 17.9 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 10.8%で、計画策定時の調査から 5.0 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 41.9%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代の層、職業別では勤め(全日)、学生の層、同居人数別では 4 人の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 70 歳以上の層、居住年数別では生まれてからずっとの層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、宮前区、多摩区、麻生区において『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・大手企業の拠点や工場が多く、街全体に活気と発展を感じている。
- ・川崎市南部の工場地帯に大型の工場が未だ健在で、産業の空洞化は起きていない。
- ・先端技術への対応も前向きで、街もいろいろなところで新しくなっていて活気がある。

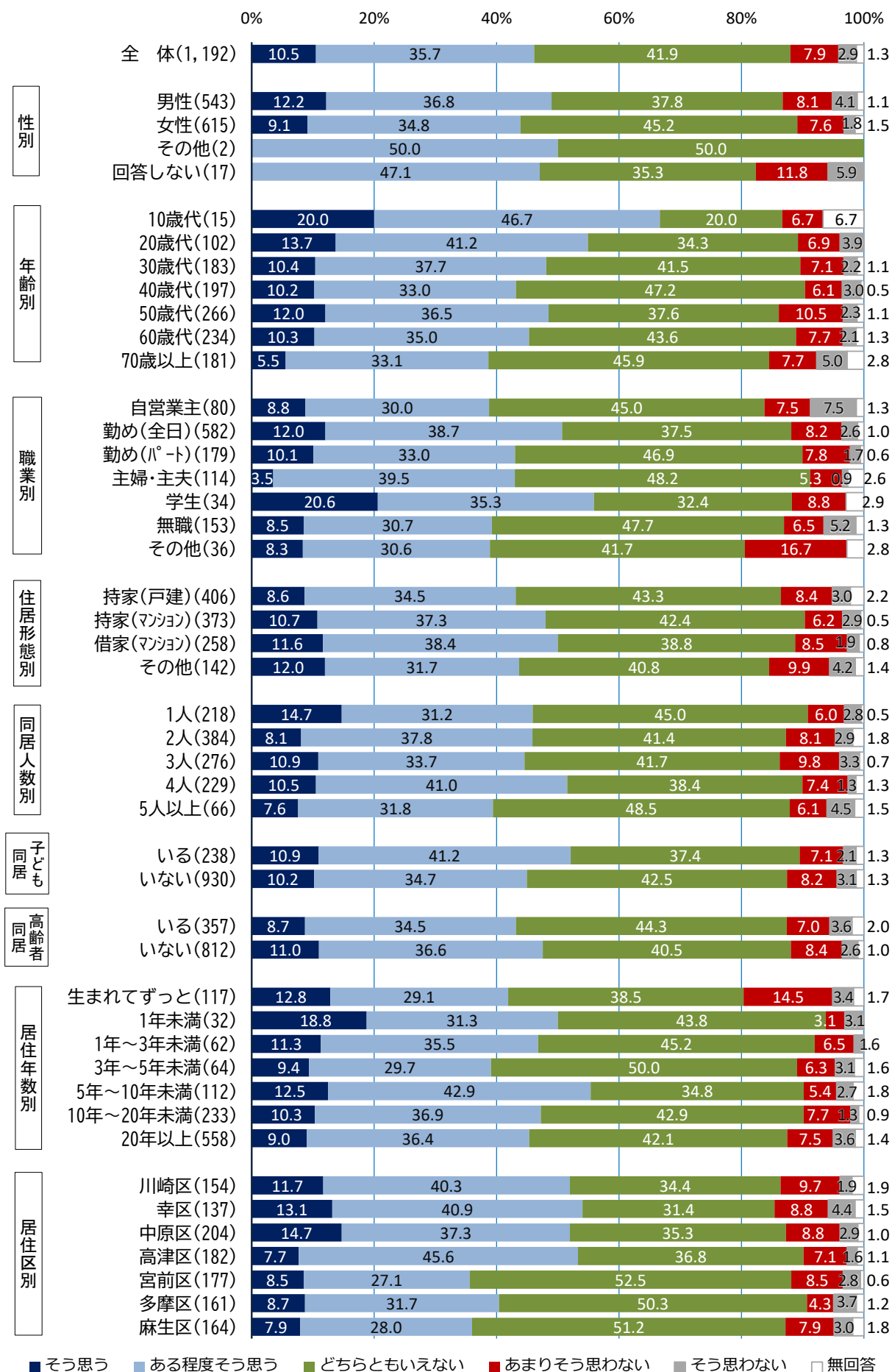
【どちらともいえない】

- ・産業の活力を感じない。自らに関わりがないため実感がわからない。
- ・商店街の衰退や中小企業の減少を懸念している。さらなる企業誘致が必要だと思う。

【消極的回答】

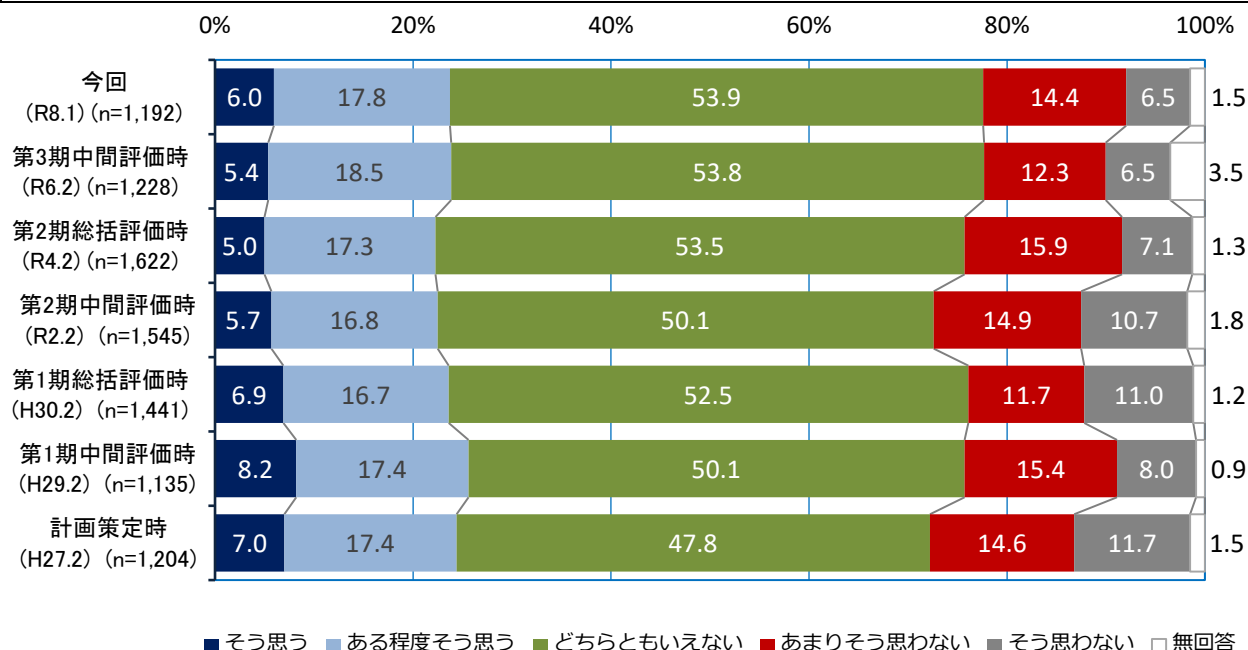
- ・工場や大企業が減少し、地域の活力が低下して衰退している。
- ・東京へ働きに行く人が多く、産業の街ではなく住宅密集地になっていると思う。

図表 16 産業について（属性別）



15. 新しいビジネスの創出について

問 15 あなたは、川崎市が、新しいビジネスの生まれているまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 23.8%で、計画策定時の調査から 0.6 ポイント低下している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 20.9%で、計画策定時の調査から 5.4 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 53.9%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代の層、職業別では学生の層、居住年数別では 1 年～3 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 30 歳代の層、同居人数別では 5 人以上の層、居住年数別では 3 年～5 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、川崎区、幸区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、宮前区、多摩区、麻生区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・東京に隣接している立地なのでビジネスしやすい。
- ・ベンチャー企業の支援を目的とした施設がある。
- ・キングスカイフロントなど新しい企業の誘致などに積極的。

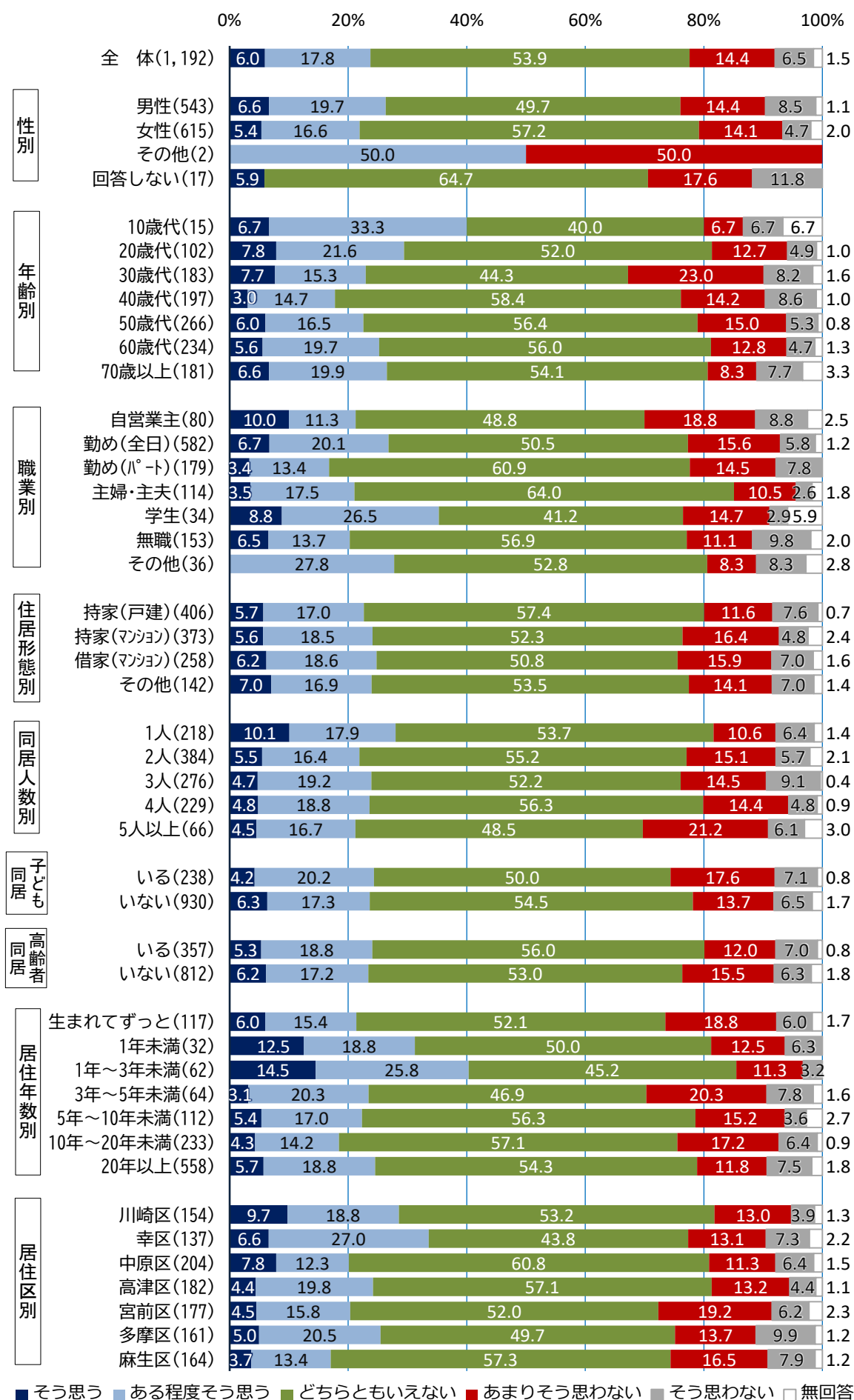
【どちらともいえない】

- ・新しいビジネスはどの分野においても、もっと後押しが必要。
- ・新規の産業や事業者などは、紹介されることがないのでわからない。

【消極的回答】

- ・スタートアップやインキュベータ施設などに力を入れていない。
- ・川崎市が特に起業しやすいと聞いたことがない。
- ・新たにビジネスを興すなら東京か横浜と考えるのが一般的。

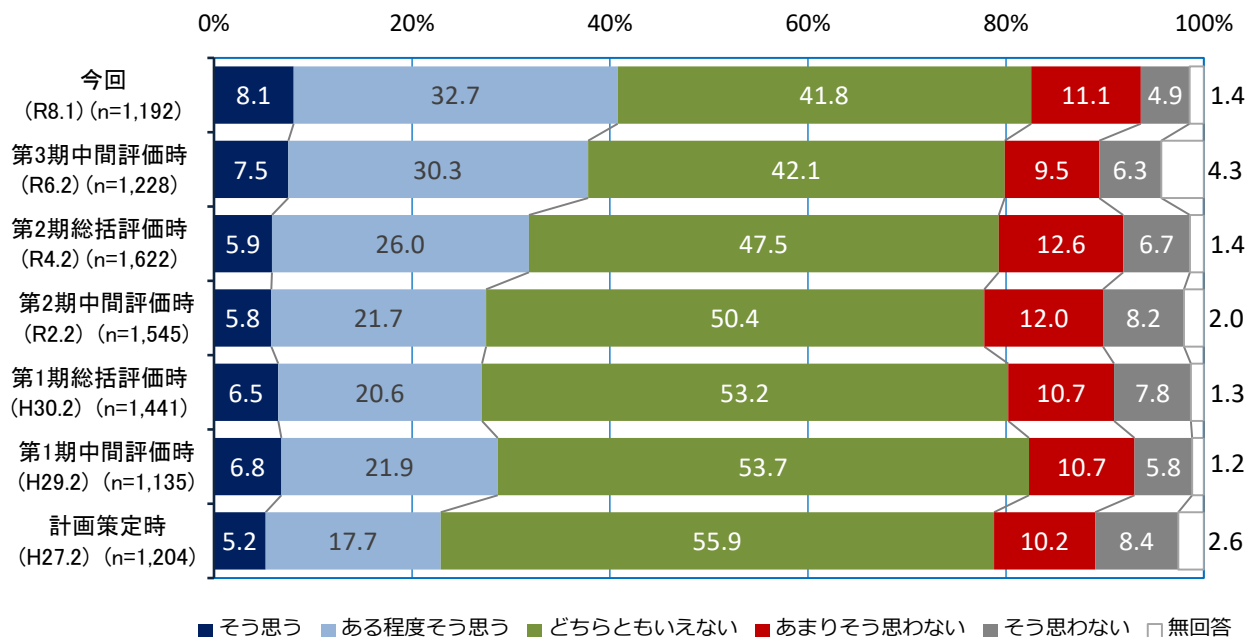
図表 17 新しいビジネスの創出について（属性別）



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

16. ICT（情報通信技術）の活用について

問 16 あなたは、川崎市の行政サービスにインターネットやスマートフォンなどのICT（情報通信技術）の活用が進んでいると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 40.8%で、計画策定時の調査から 17.9 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 16.0%で、計画策定時の調査から 2.6 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 41.8%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、20 歳代の層、職業別では学生の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、10 歳代の層では、『消極的回答』の割合も高くなっていて、居住年数別では 3 年～5 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、幸区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、中原区においては『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・スマホ一台で行政手続きや情報確認が完結でき、利便性が向上した。
- ・粗大ゴミが時間関係なく申し込めるようになって便利。
- ・オンラインでの申請や各種証明書のコンビニ交付が非常に便利。

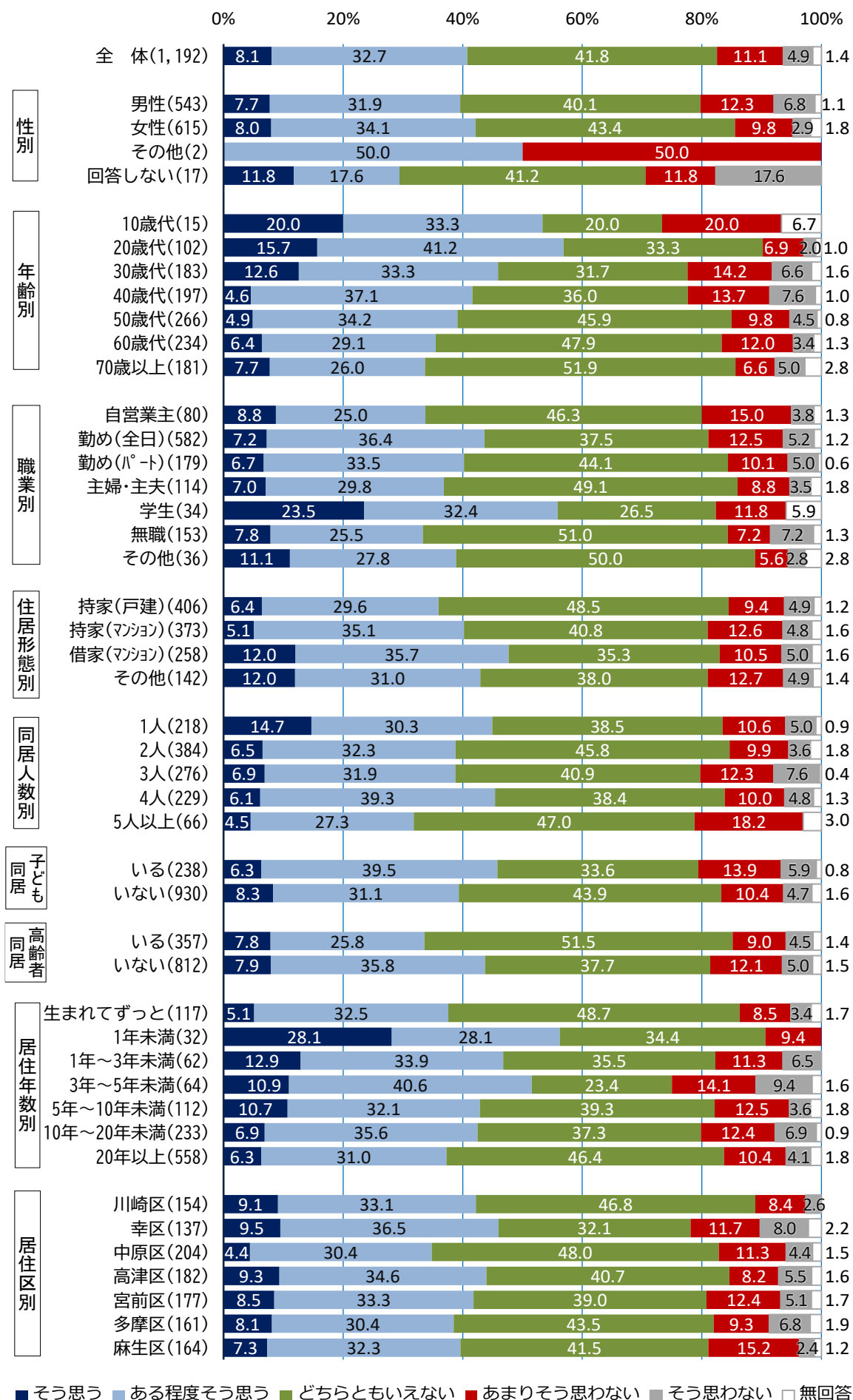
【どちらともいえない】

- ・行政サービスを受ける機会が少なく、デジタル化の進展を実感できていない。
- ・ICT を自身が使いこなせないため、利便性や具体的な状況がわからない。
- ・他の自治体と特別な差は無い。

【消極的回答】

- ・情報不足や非効率な運用がある。利用者目線のデジタル化を強く求める。
- ・システムの使い勝手が悪く、結局は窓口へ行く手間や紙の手続きが多い。

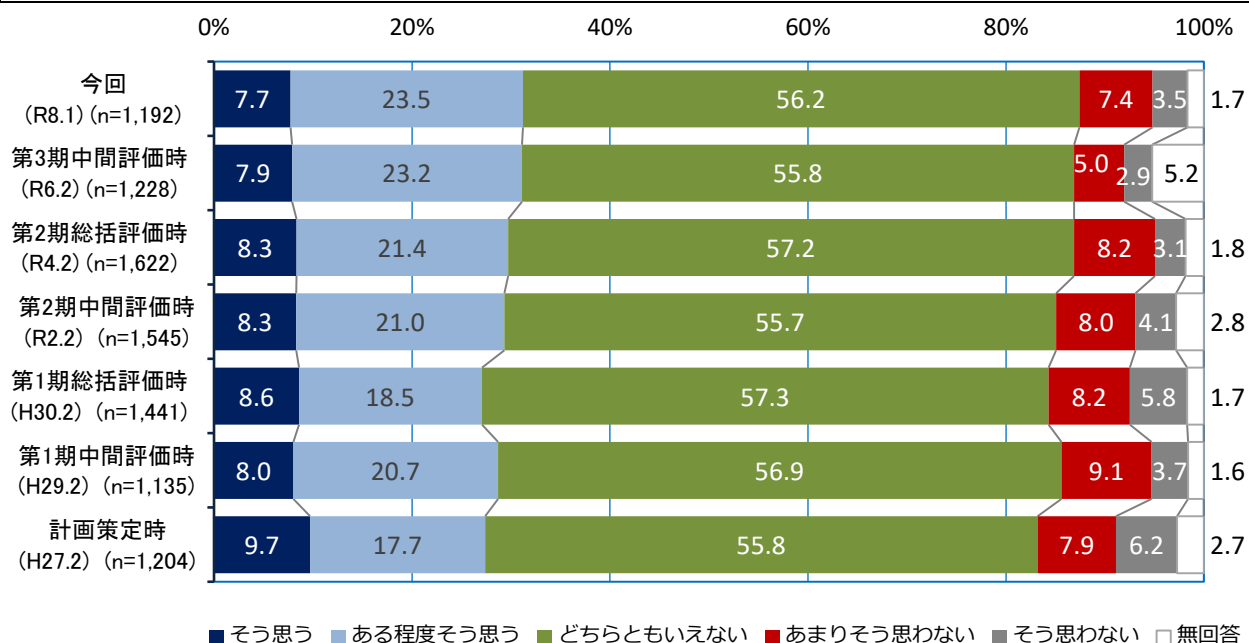
図表 18 ICT（情報通信技術）の活用について（属性別）



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

1 7. 臨海部の経済活動について

問 17 あなたは、川崎市の臨海部で、経済活動が盛んであると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 31.2%で、計画策定時の調査から 3.8 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 10.9%で、計画策定時の調査から 3.2 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 56.2%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代の層、職業別では学生の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 60 歳代の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、幸区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、幸区においては『消極的回答』の割合も高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 臨海部の物流や重工業が盛んで、再開発による経済効果を期待している。
- ・ 扇島の再開発のなど多数の計画がある。
- ・ 臨海部の夜景を活かした観光振興も含め、多角的な経済活動の展開を期待している。

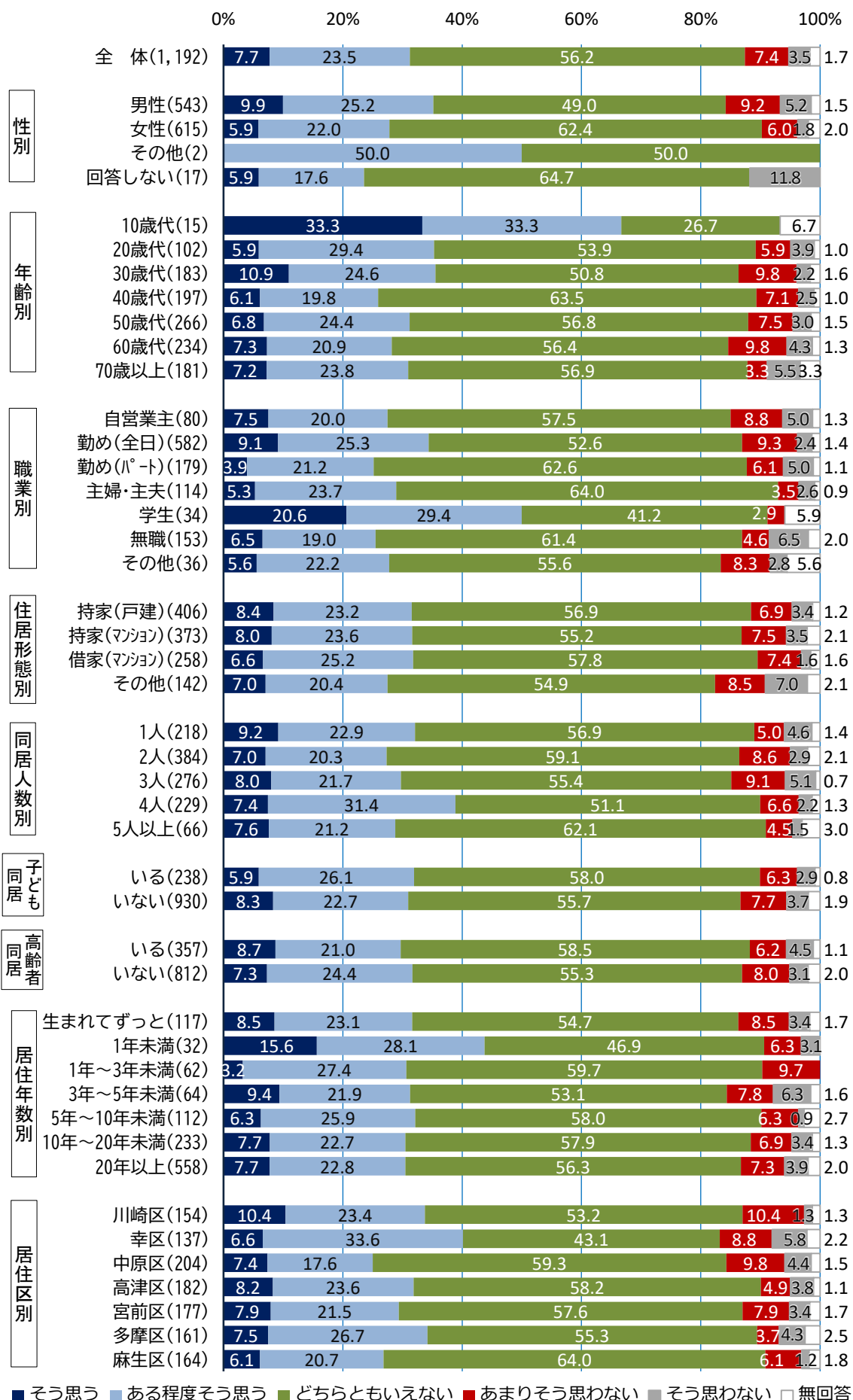
【どちらともいえない】

- ・ 臨海部へ行く機会がなく、実際の活動状況や活気について詳しく知らない。
- ・ 臨海部では工場が多いというイメージで経済活動が盛んかと言われると何とも言えない。

【消極的回答】

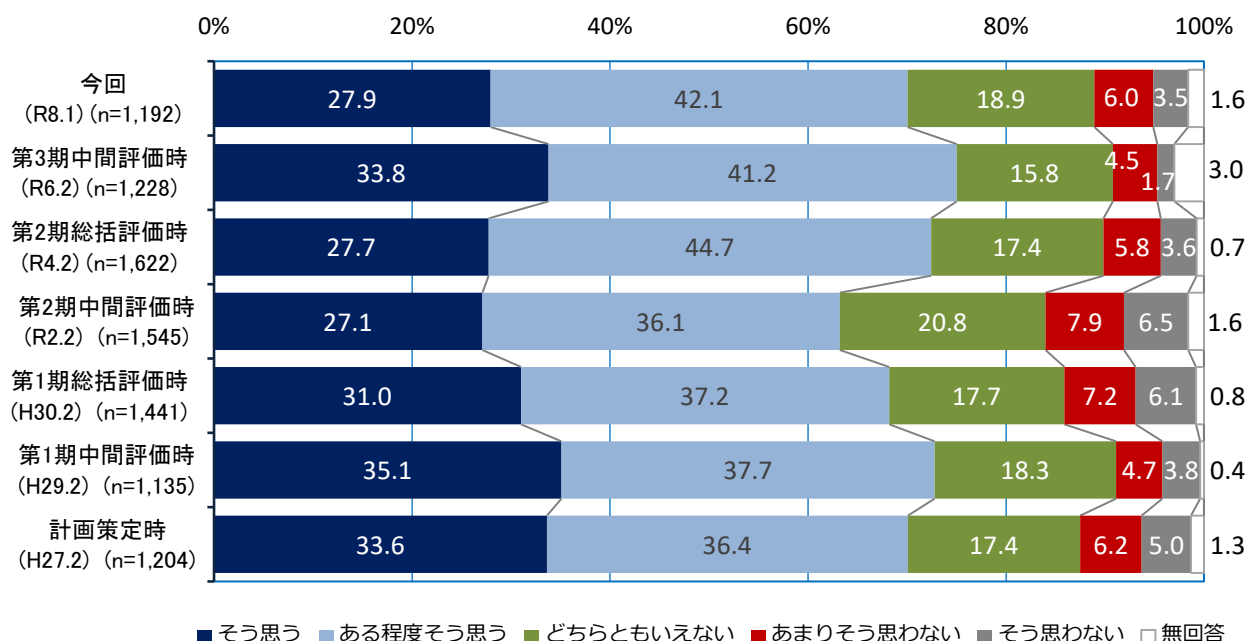
- ・ JFE の工場跡地の活用次第で大きく変わると思う。
- ・ 製造業や工場のイメージが強く、具体的な経済活動は不明で見えない。

図表 19 臨海部の経済活動について（属性別）



18. 市内の広域拠点駅（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の周辺状況について

問 18 あなたは、市内にある広域拠点駅（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の周辺に魅力や活気があると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 70.0%で、計画策定時の調査と同一の数値である。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 9.5%で、計画策定時の調査から 1.7 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 42.1%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、職業別では学生の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、居住形態別では持家（戸建）の層、居住年数別では生まれてずっとこの層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、中原区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、多摩区においては『消極的回答』の割合が高く、宮前区においては『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・武蔵小杉や新百合ヶ丘など、特定のエリアの発展と魅力向上はあると思う。
- ・ハブステーションには大型商業施設や個人商店、飲食店も多数あり大変活気がある。
- ・武蔵小杉駅の魅力はだいぶ高まったと思う。川崎駅もリニューアルして綺麗になった。

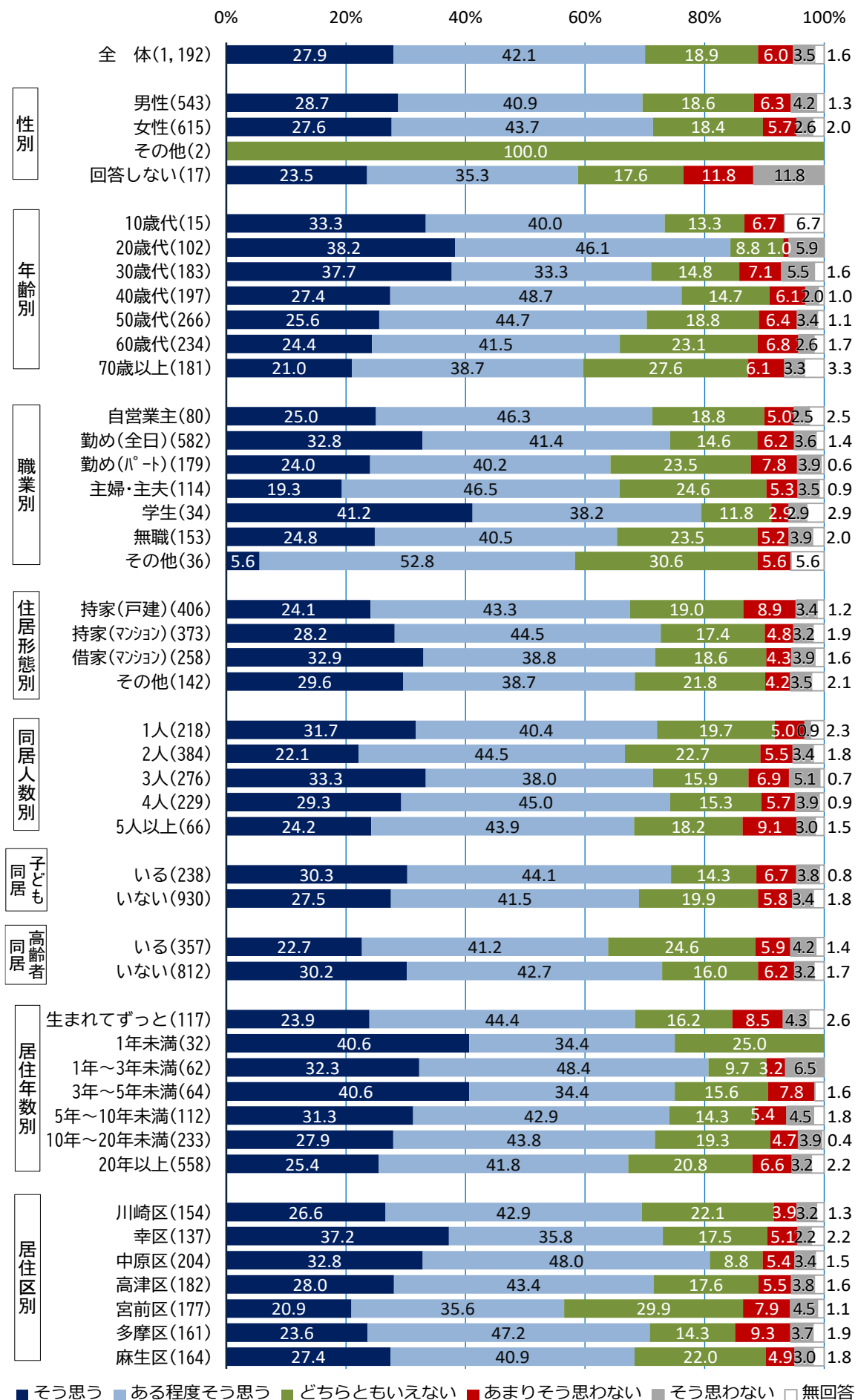
【どちらともいえない】

- ・再開発で施設は立派になったが、どこも同じような店ばかりで魅力に欠ける。
- ・特定の駅周辺以外は発展が伴っておらず、混雑や渋滞が悪化している。

【消極的回答】

- ・武蔵小杉のタワーマンション乱立により、生活空間としての魅力が低下した。
- ・新百合ヶ丘駅周辺は施設が古びており、子供の遊び場や専門店が少ない。
- ・人が多すぎて電車の乗り換えが大変。買い物もしにくい。

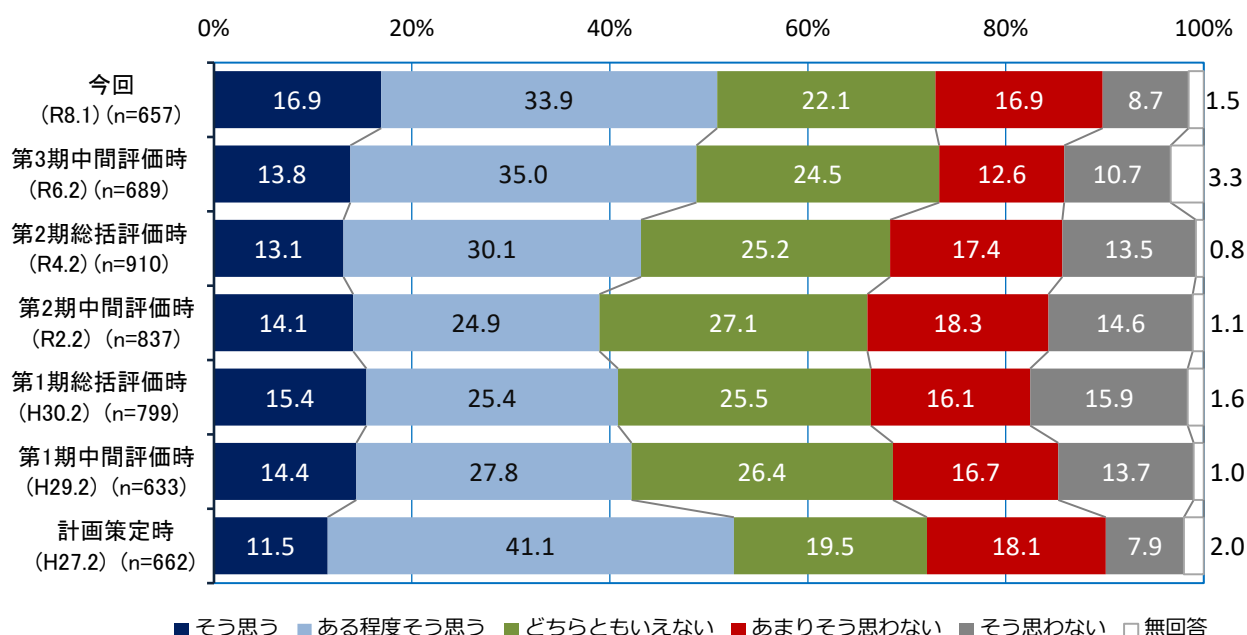
図表 20 市内の広域拠点駅（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の周辺の状況について（属性別）



19. お住まいの区の地域生活拠点駅の周辺について

問 19 あなたのお住まいの区にある地域生活拠点駅（新川崎・鹿島田駅、武蔵溝ノ口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）周辺について、魅力や活気があると思いますか。

※地域生活拠点がある幸区、高津区、宮前区及び多摩区の回答者を集計対象としている。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 50.8%で、計画策定時の調査から 1.8 ポイント低下している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 25.6%で、計画策定時の調査から 0.4 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 33.9%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、職業別では学生の層、居住形態別では借家(マンション)の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 70 歳以上の層、職業別では自営業主の層、同居人数別では 5 人以上の層で『積極的回答』の割合が低くなっている。
- ・居住区別では、高津区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、宮前区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 溝の口や登戸、向ヶ丘遊園周辺の再開発が進み、街が綺麗で便利になった。
- ・ 駅周辺に商業施設やマンションが増え、日常生活に不自由がなく満足している。
- ・ 登戸や向ヶ丘遊園駅周辺は学生が多く、大型店舗も数多くあり賑わっている。

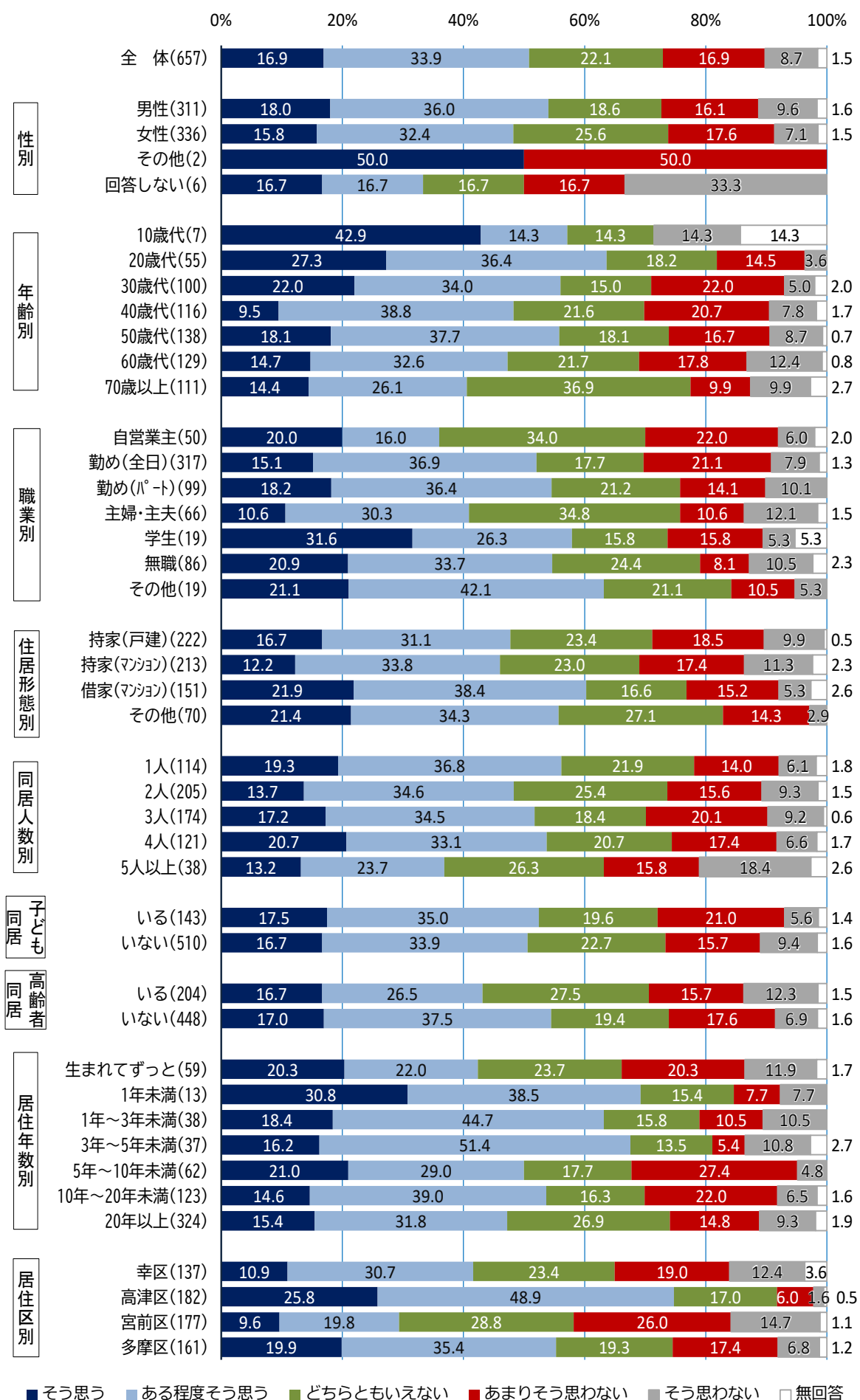
【どちらともいえない】

- ・ 飲食店なども多くあり、活気もあるが、少し治安が良くないと思う。
- ・ 登戸は再開発中なのでまだわからない。他の地域は行かないのでわからない。
- ・ 人は増えたがそれだけで活気があると言っていいのかわからない。

【消極的回答】

- ・ 再開発が進んで同じようなマンションばかり増え個性に欠けた画一的な街並みになった。
- ・ 駅直結の店舗が少ない。駅前に楽しい施設や飲食店が少ない。駅周辺の駐車場が少ない。

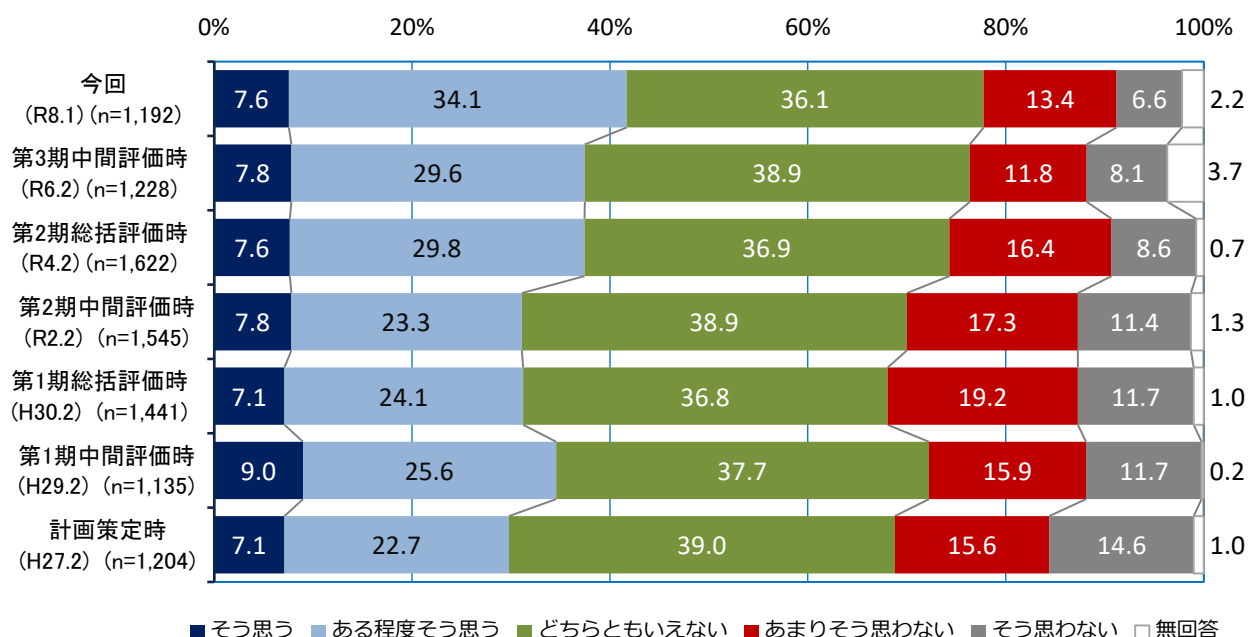
図表 21 お住まいの区の地域生活拠点駅の周辺状況について（属性別）



■ そう思う ■ ある程度そう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

20. 美しい街並みの保存について

問 20 あなたは、川崎市内に美しい街並みが保たれていると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 41.7%で、計画策定時の調査から 11.9 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 20.0%で、計画策定時の調査から 10.2 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 36.1%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、職業別では勤め(全日)、学生の層、居住年数別では 1 年未満、1 年～3 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、職業別では自営業主の層で『消極的回答』の割合が高く、同居人数別では 5 人以上の層で『積極的回答』の割合が低くなっている。
- ・居住区別では、麻生区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、川崎区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・並木道や街路樹が美しく整備されており非常に良い。
- ・道路や公園にゴミが少なく、街全体が綺麗に保たれていて心地よい。
- ・街路樹の整備や清掃活動により、全体的に街並みが綺麗に保たれている。

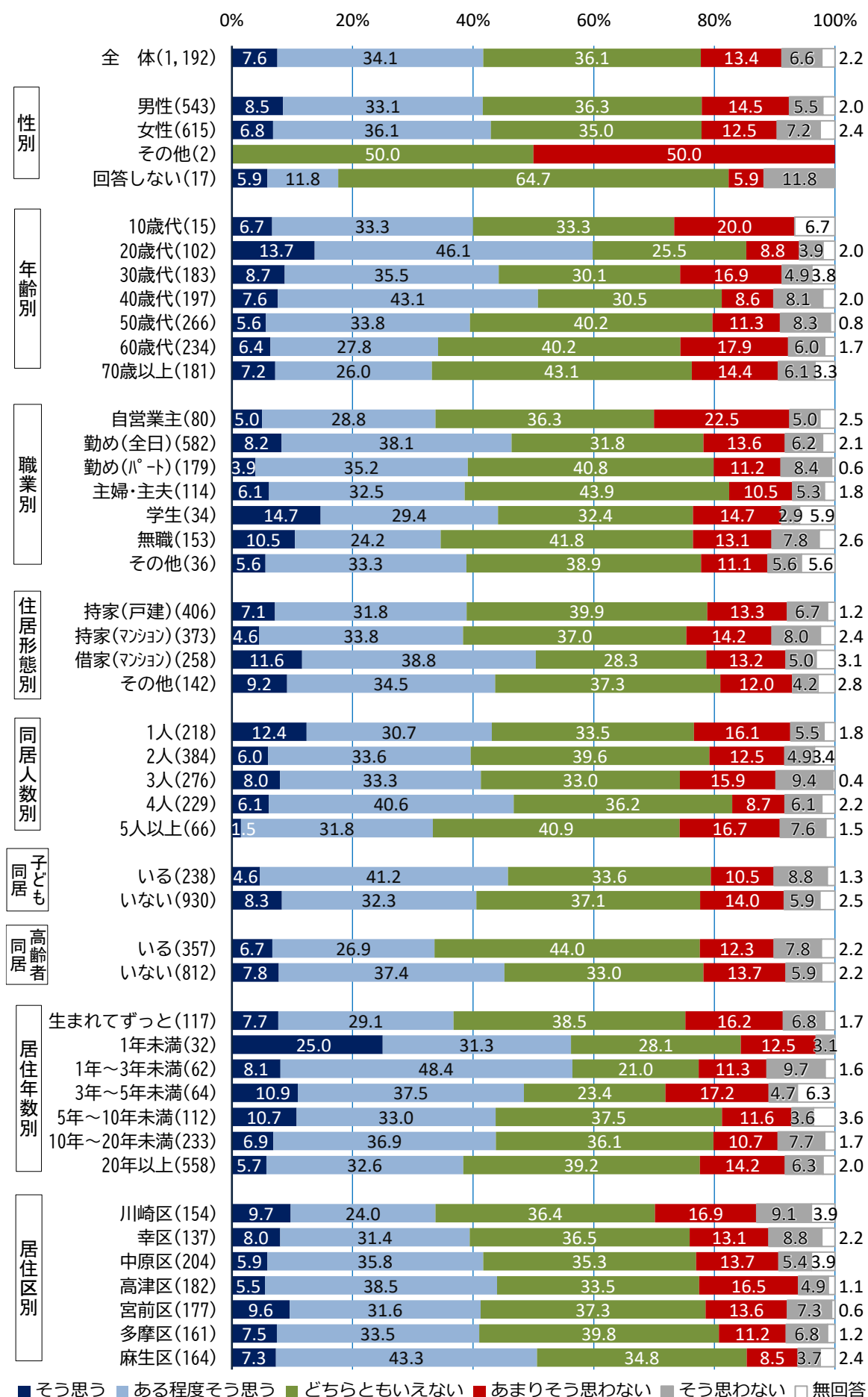
【どちらともいえない】

- ・徐々に道路も整備されているが、並木がもっとほしい。
- ・駅周辺は美化が進んだが、裏通りに老朽化した建物が残っている地域も存在する。
- ・区や場所によるが、街並みに統一性がない。

【消極的回答】

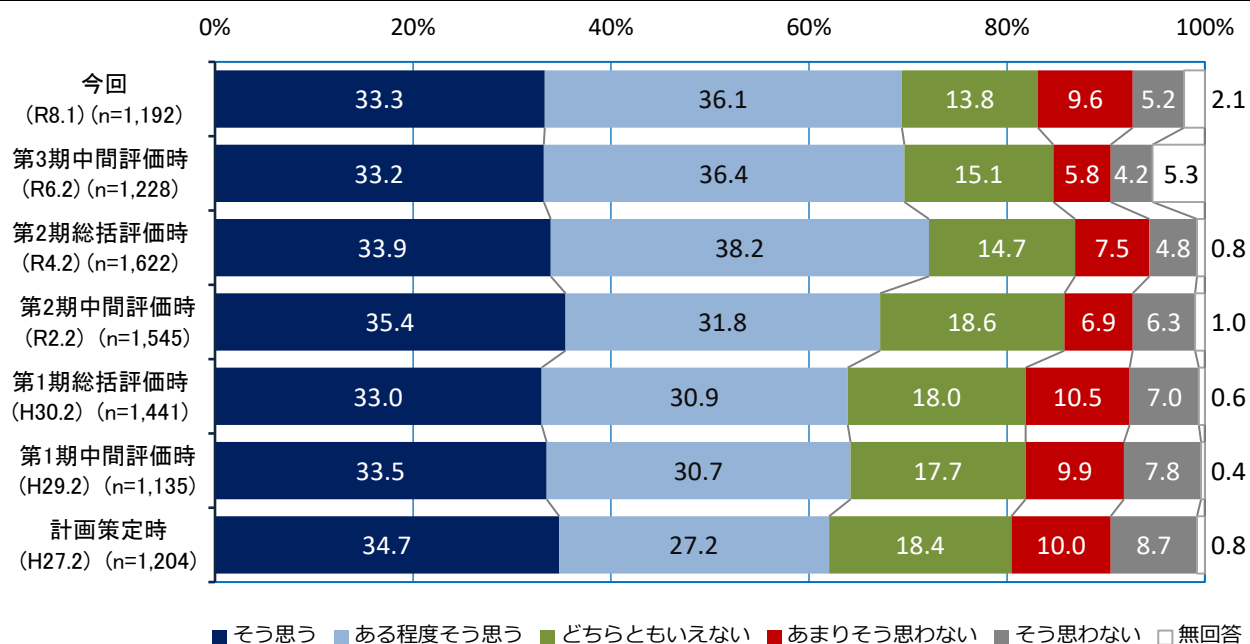
- ・ゴミやタバコのポイ捨てが非常に多く街は汚い。
- ・緑の減少により美しい街並みはほとんどない。
- ・街路樹を丁寧に剪定してほしい。

図表 22 美しい街並みの保存について（属性別）



2 1. 交通利便性について

問 21 あなたは、川崎市が、交通利便性の高いまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 69.4%で、計画策定時の調査から 7.5 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 14.8%で、計画策定時の調査から 3.9 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 36.1%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、20 歳代の層、職業別では学生、自営業主の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、住居形態別では持家(戸建)の層、同居人数別では 5 人以上の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、川崎区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、麻生区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 鉄道やバスの路線網が非常に充実しており、都心や各方面へのアクセスが良い。
- ・ 武蔵小杉駅を中心に利便性が高く、車がなくても生活に困らない。
- ・ 川崎駅に行けば広い範囲に移動できると思うので利便性は高い。

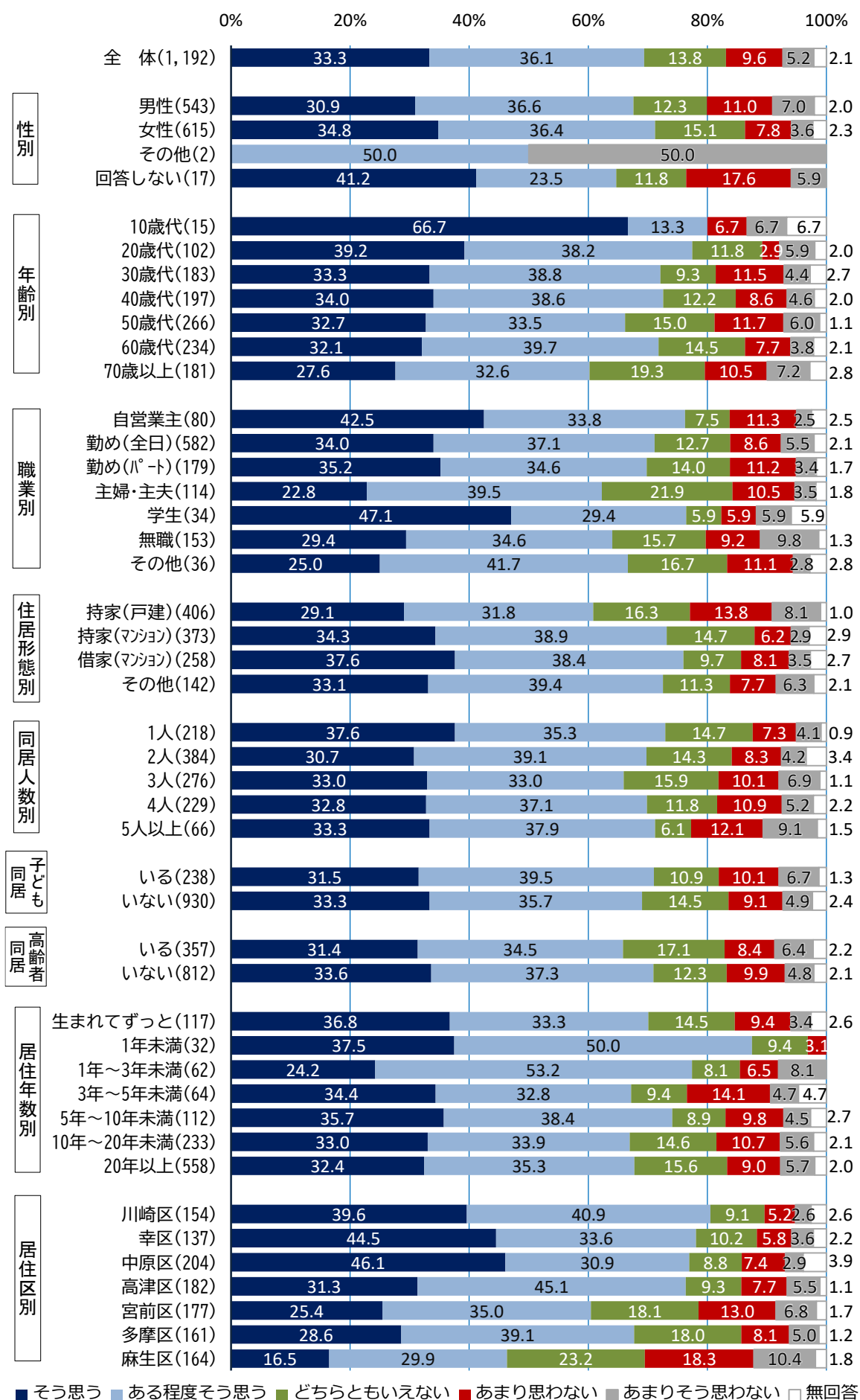
【どちらともいえない】

- ・ 便利ではあるが、主要道路の車線不足やバスの本数減少により渋滞や混雑が悪化している。
- ・ 臨海部側のバス路線は、路線図自体は悪くないが、本数が少ない。

【消極的回答】

- ・ 南北に長い市なのに横浜市と違い南北の移動に弱い。道路が狭くバスが遅延する。
- ・ 市営バスは減便ばかりで、路線も不便。渋滞も酷い。

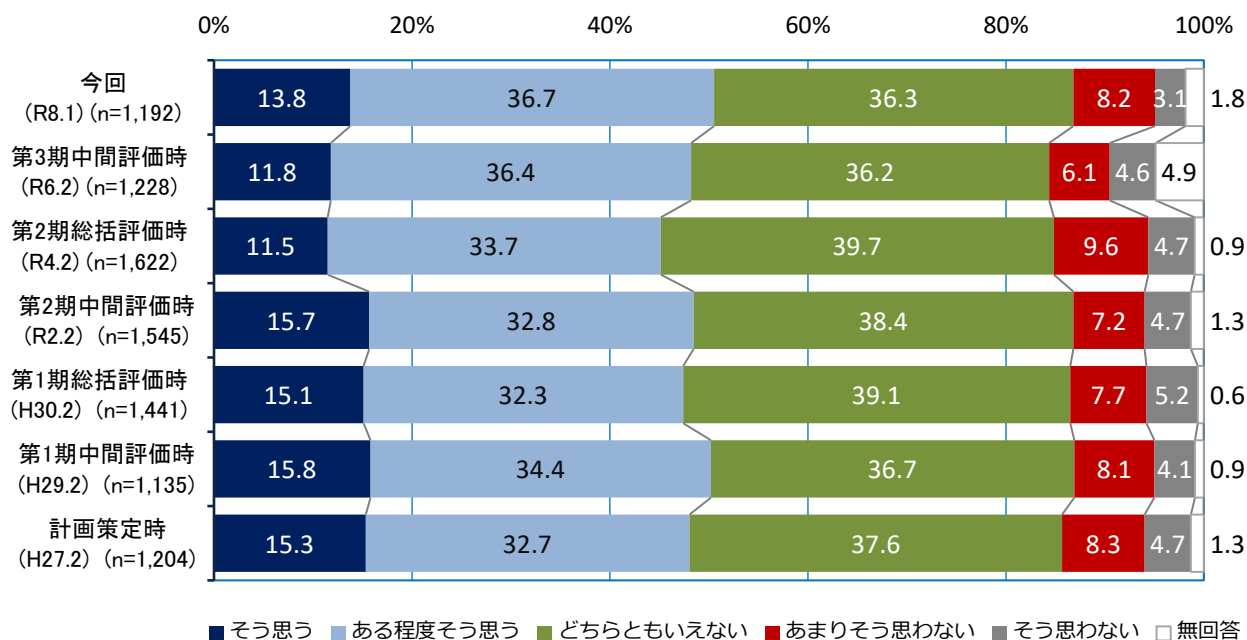
図表 23 交通利便性について（属性別）



2.2. 文化・芸術、スポーツについて

(1) 文化・芸術活動について

問 22-1 あなたは、川崎市が、文化・芸術活動の盛んなまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 50.5%で、計画策定時の調査から 2.5 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 11.3%で、計画策定時の調査から 1.7 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 36.7%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代の層、職業別では学生の層、同居人数別では 4 人の層、居住年数別では 10 年～20 年未満、20 年以上の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、居住年数別では 3 年～5 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、麻生区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、宮前区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ ミューザ川崎などの施設が充実し、音楽や芸術イベントが盛んに行われている。
- ・ 音楽大学や映画大学、多数のホール、市民芸術活動団体、援助金などがある。
- ・ 川崎駅に大きな音楽ホールがあることに驚いた。クラシックコンサートも行われており、それまでの川崎駅のイメージが変わった。

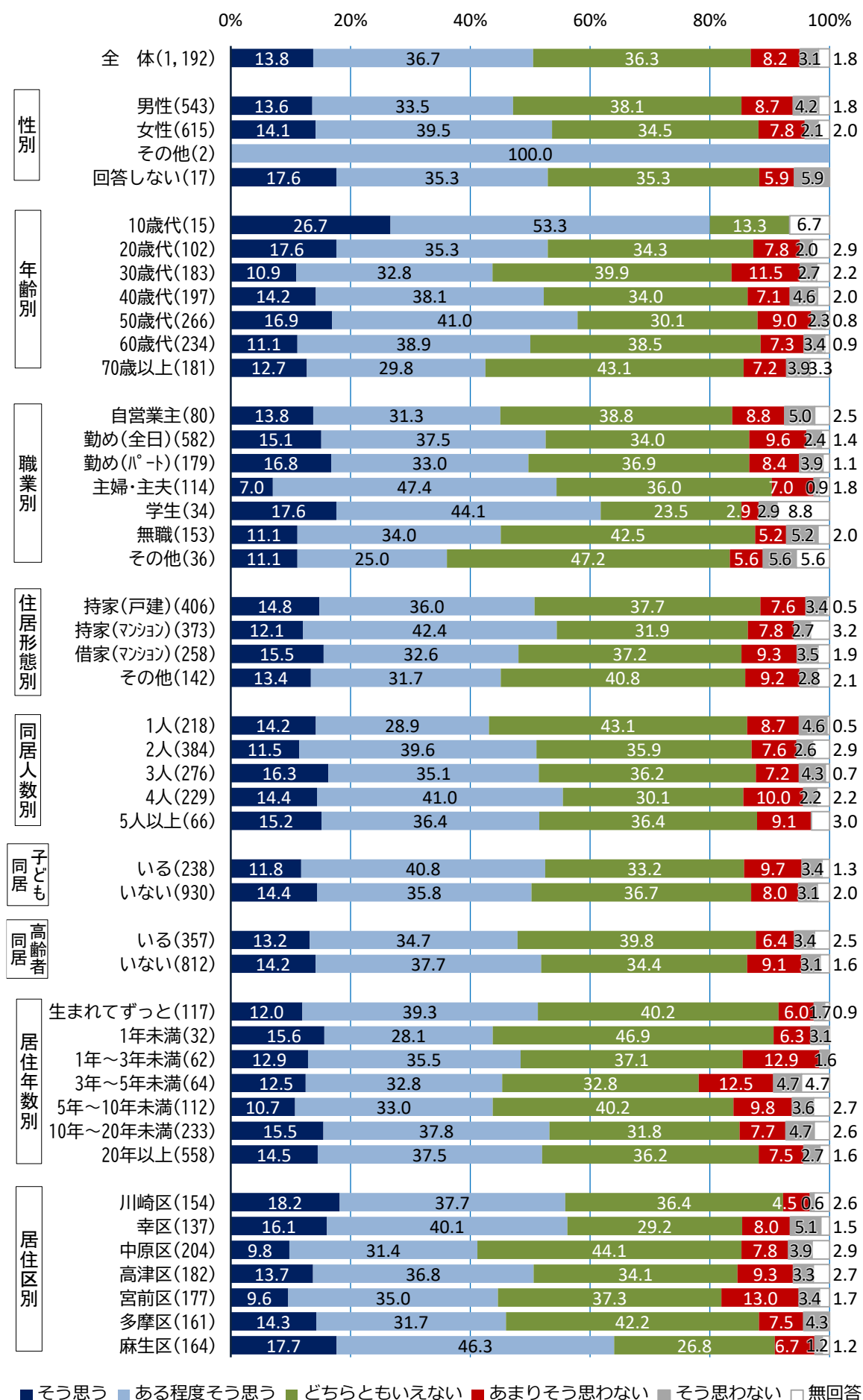
【どちらともいえない】

- ・ 音楽の街を掲げているが、実態は一部の施設や活動に限られている。
- ・ 魅力的なイベント等はあるが、情報が届きにくい。
- ・ 音楽の街であると思うが、アピールは失敗しているように思う。

【消極的回答】

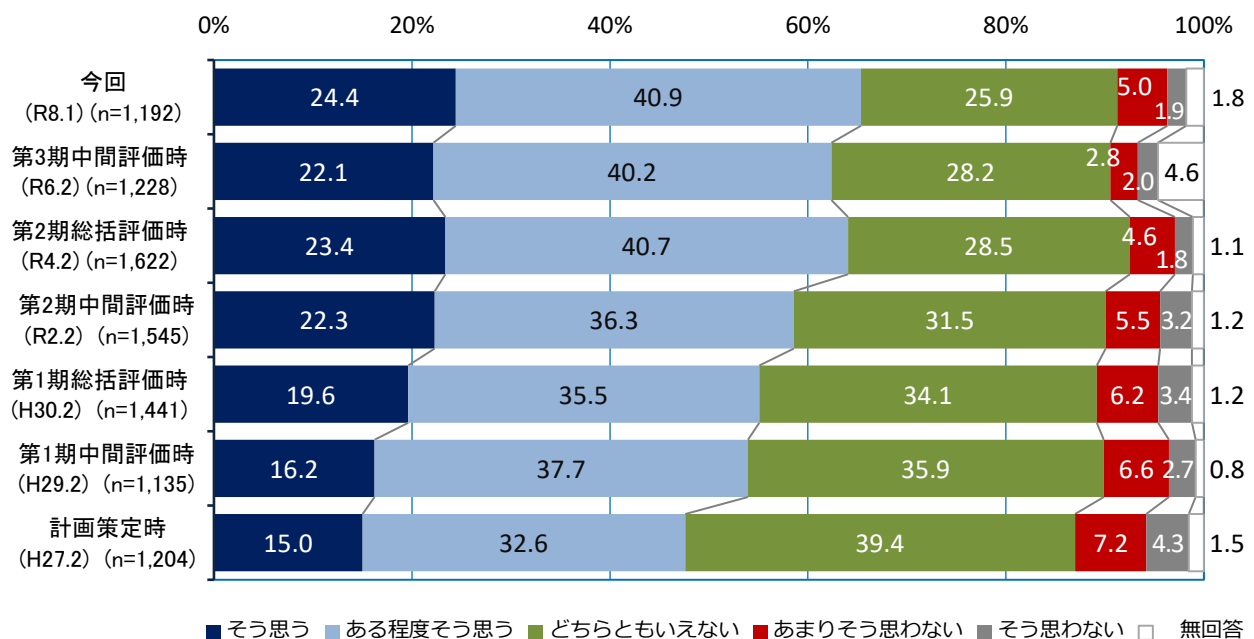
- ・ 文化・芸術に市が力を入れておらず、助成金や研究拠点が不足している。
- ・ 行政が主導する活動が見られず、市民として興味を持つ機会が少ない。

図表 24 文化・芸術活動について（属性別）



(2) スポーツについて

問 22-2 あなたは、川崎市が、スポーツの盛んなまちだと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は、65.3%で、計画策定時の調査から 17.7 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 6.9%で、計画策定時の調査から 4.6 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 40.9%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代の層、職業別では勤め(全日)、勤め(パート)、主婦・主夫、学生の層、同居人数別では 5 人以上の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、職業別では自営業主の層で『消極的回答』の割合が高く、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が低くなっている。
- ・居住区別では、中原区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、麻生区においては『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・フロンターレなどの地元チームが有名で、市民が一体感を持って応援できるのがよい。
- ・家の周辺にスポーツセンターが 3 か所ほどあり、盛んなほうだと思う。
- ・野球こそ無いが、サッカー、バレー、バスケットと人気のあるプロチームがある。

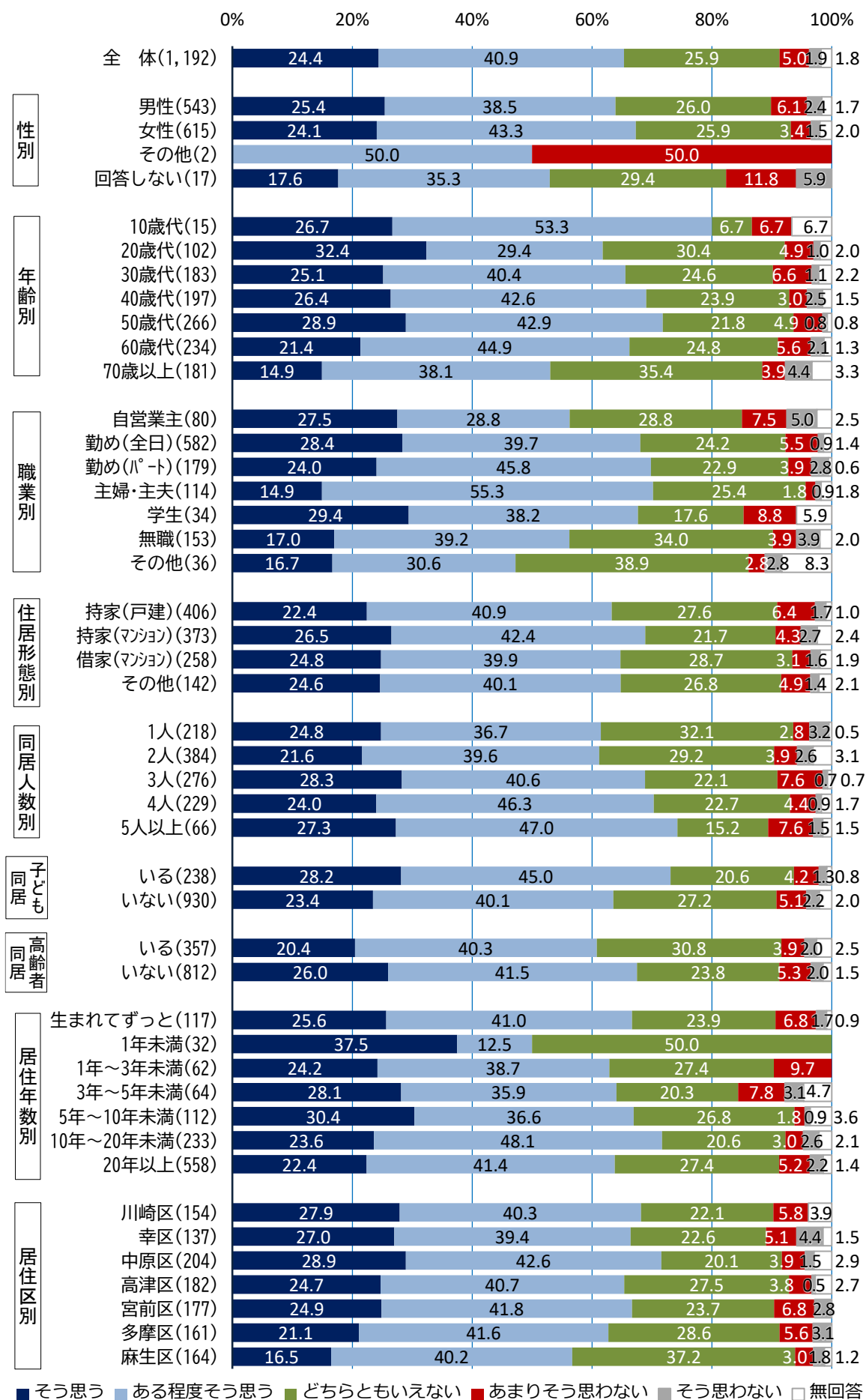
【どちらともいえない】

- ・プロチームは有名だが、市民自身の運動や接点は少ない。
- ・子どものサッカー人口がとて多いが練習できない公園が多い。

【消極的回答】

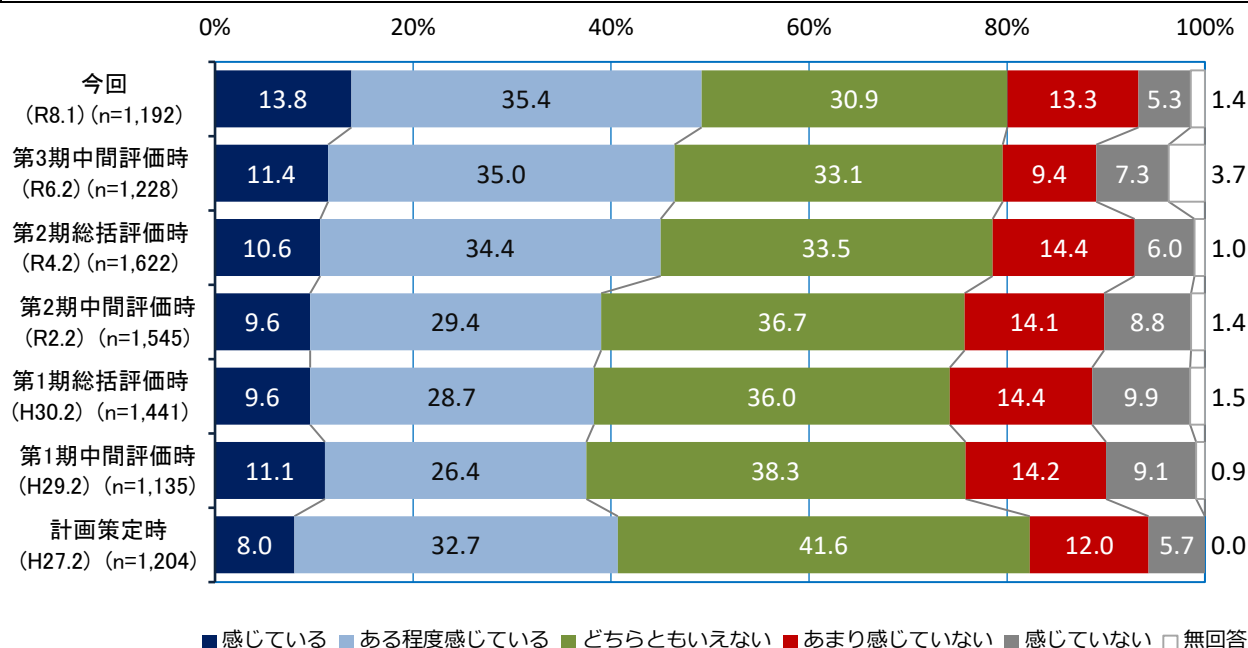
- ・スポーツ施設の抽選が当たらないことや、テニスコート利用料の高さに不満がある。
- ・プロスポーツの観戦よりも、市民が実際に活動できる環境の整備を望む。

図表 25 スポーツについて（属性別）



2.3. 市の魅力について

問 23 あなたは、川崎市に、魅力やよいイメージがあると感じていますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「感じている」と「ある程度感じている」を合わせた『積極的回答』の割合は 49.2%で、計画策定時の調査から 8.5 ポイント上昇している。「感じていない」と「あまり感じていない」を合わせた『消極的回答』の割合は 18.6%で、計画策定時の調査から 0.9 ポイント上昇している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「ある程度そう思う」の割合が 35.4%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代の層、職業別では勤め(全日)、学生の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、子どもと同居している層、居住年数別では 3 年～5 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、幸区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、中原区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・都心や横浜へのアクセスが良く、商業施設も充実していて住みやすい。
- ・昔の工業や公害のイメージが薄れ、再開発により綺麗で住みやすい街になった。
- ・交通の便が良く治安も改善しており、実際に住んでみると非常によい。

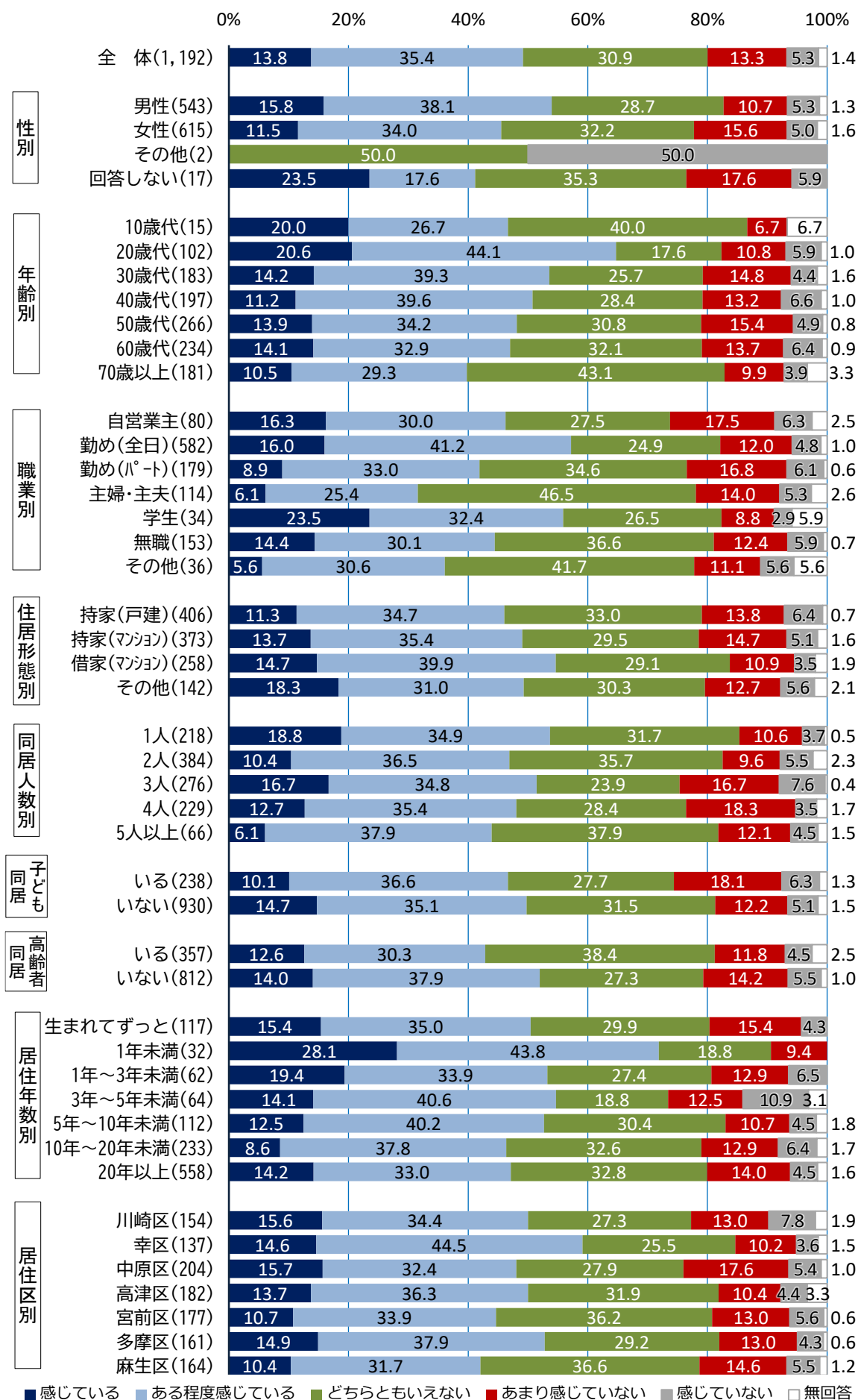
【どちらともいえない】

- ・地域によって印象の差が大きく、一部で治安や環境への不安が残っている。
- ・個人的には気にならないが、ギャンブル施設が多く市外から見ればよい印象はない。

【消極的回答】

- ・治安の悪さや、ギャンブルや風俗といった昔ながらのイメージが強い。
- ・東京や横浜に比べて子育て支援が不十分で、住みにくさを感じる。
- ・川崎市内で起きた事件がニュースでよく取り上げられるので良いイメージは無い。

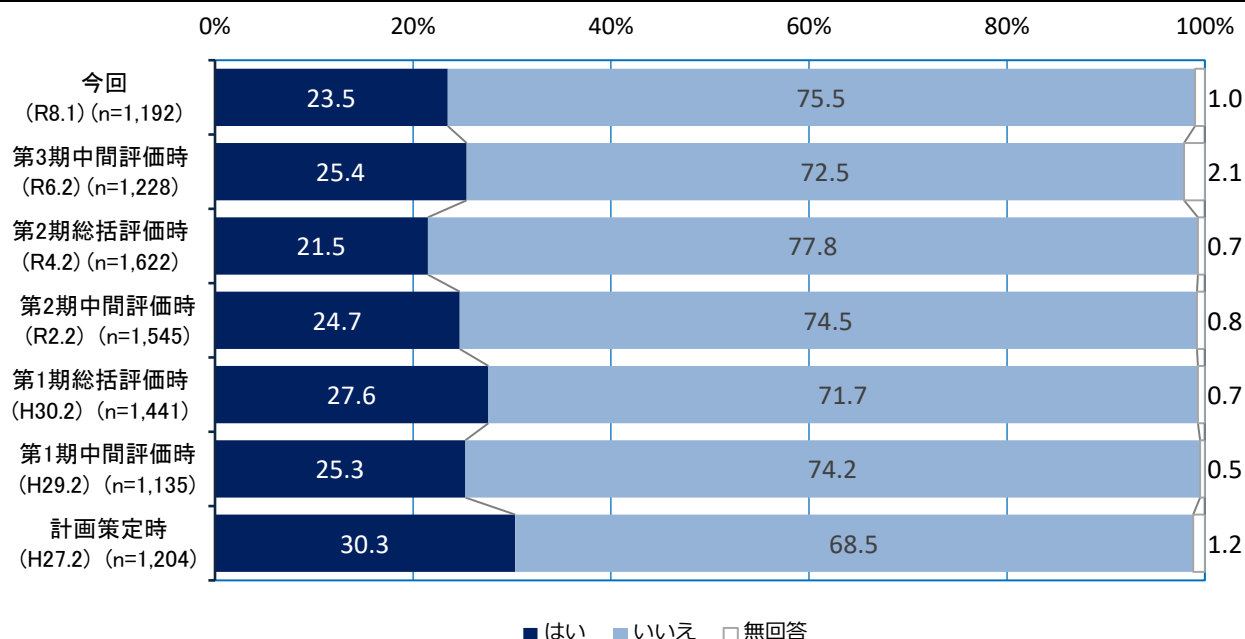
図表 26 市の魅力について（属性別）



2 4. 地域での活動や公聴について

(1) 地域での活動への参加について

問 24-1 あなたは、町内会や市民活動など、地域での活動に参加していますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「はい」と回答した割合は、23.5%で、計画策定時の調査から 6.8 ポイント低下している。「いいえ」と回答した割合は、75.5%で計画策定時の調査から 7.0 ポイント上昇している。

【今回の調査の傾向】

- ・属性別でみると、年齢別では 20 歳代以降は年齢が高いほど「はい」の割合が高まっている。職業別では自営業主、勤め(パート)、主婦・主夫の層、住居形態別では持家(戸建)の層、同居人数別では 5 人以上の層、居住年数別では 20 年以上の層で「はい」の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 20 歳代の層、住所形態別では借家(マンション)の層、居住年数別では 1 年～3 年未満の層で「いいえ」の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、麻生区において「はい」の割合が高くなっている。

※主な自由回答

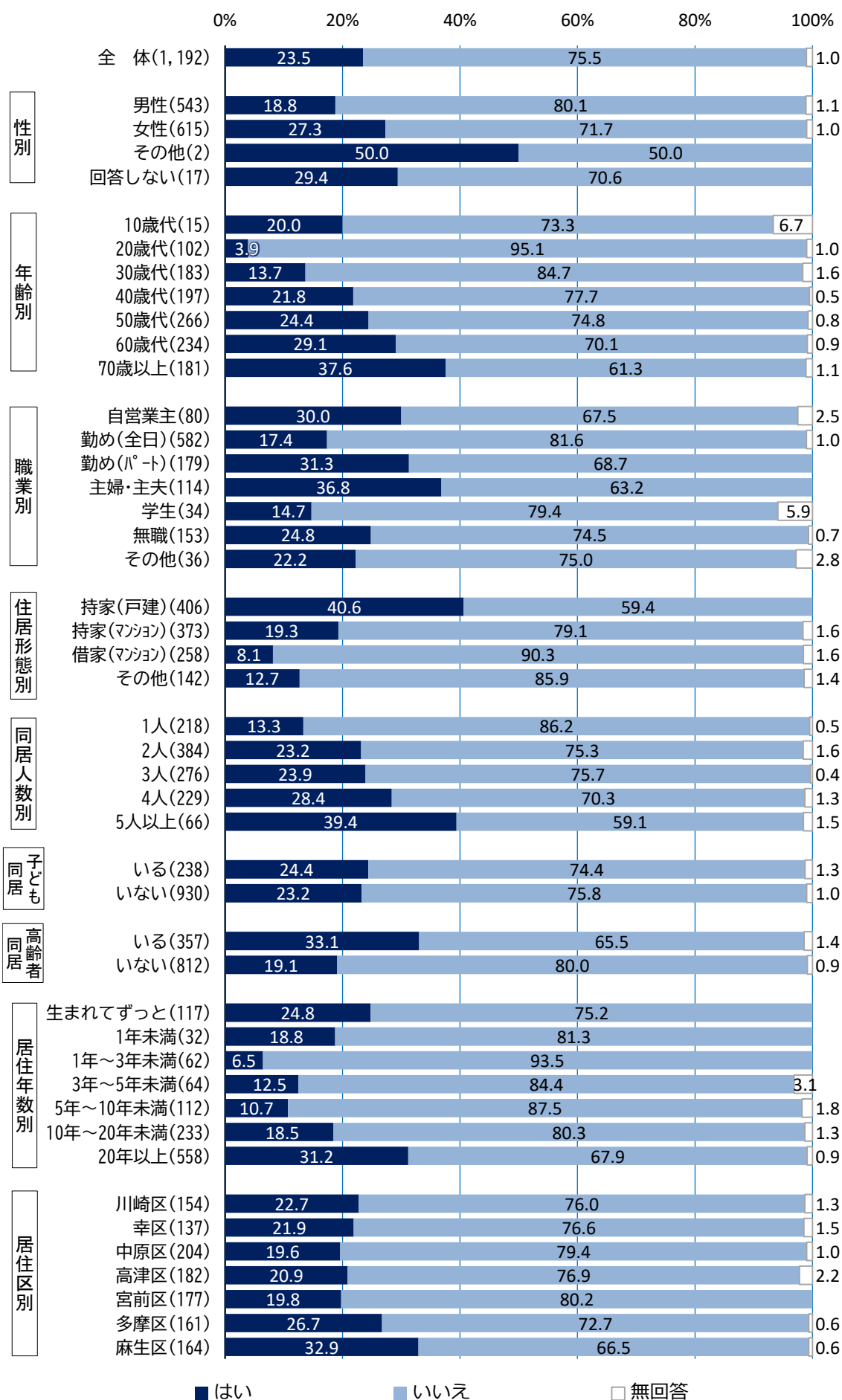
【はい】

- ・清掃活動や祭り、防犯パトロールなど、地域のために積極的に活動している。
- ・町内会は順番にまわってくるからやっている。
- ・短時間の子育て支援活動をしている。

【いいえ】

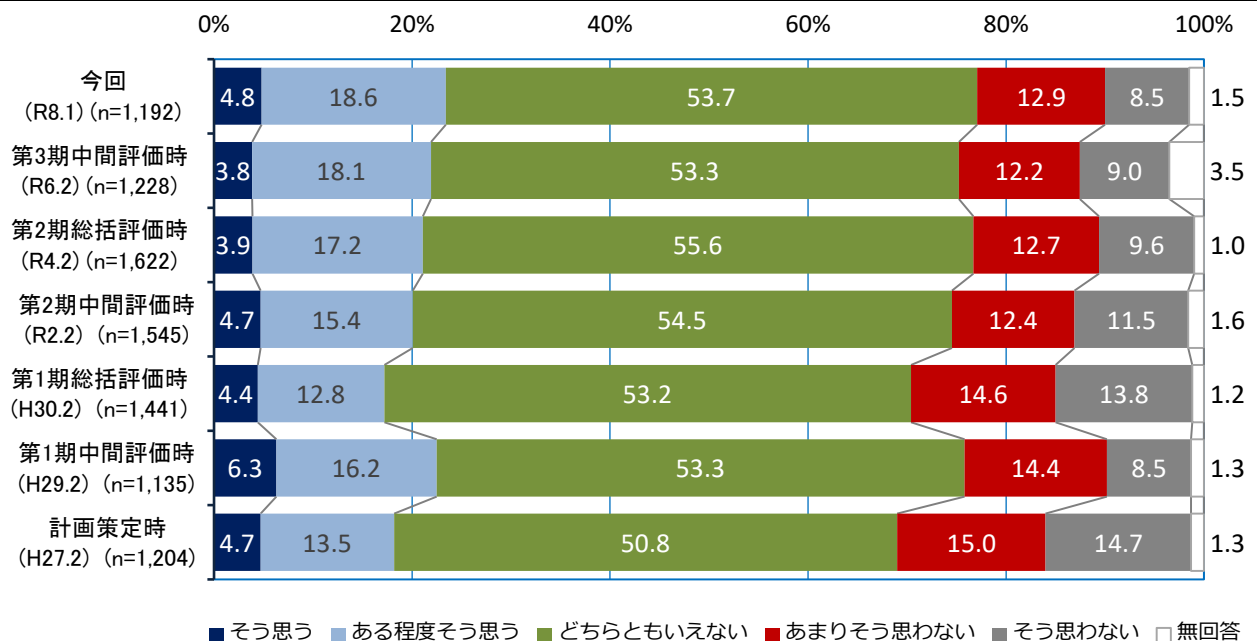
- ・仕事や家事、育児などで忙しく、活動に参加するための時間が取れない。
- ・活動内容が不明で、高齢者中心の閉鎖的な雰囲気に馴染みづらい。
- ・高齢になり体力的に参加できなくなった。

図表 27 地域での活動への参加について（属性別）



(2) 市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段の確保について

問 24-2 あなたは、市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段を、川崎市が整えていると思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 23.4%で、計画策定時の調査から 5.2 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 21.4%で、計画策定時の調査から 8.3 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 53.7%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代、20 歳代の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 30 歳代の層、居住年数別では 1 年～3 年未満の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、幸区において『積極的回答』の割合が低くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・アンケート等の実施により、市民の声に耳を傾ける姿勢を評価する。
- ・メールや郵送など、役所に行かずとも意見を伝える方法がある。

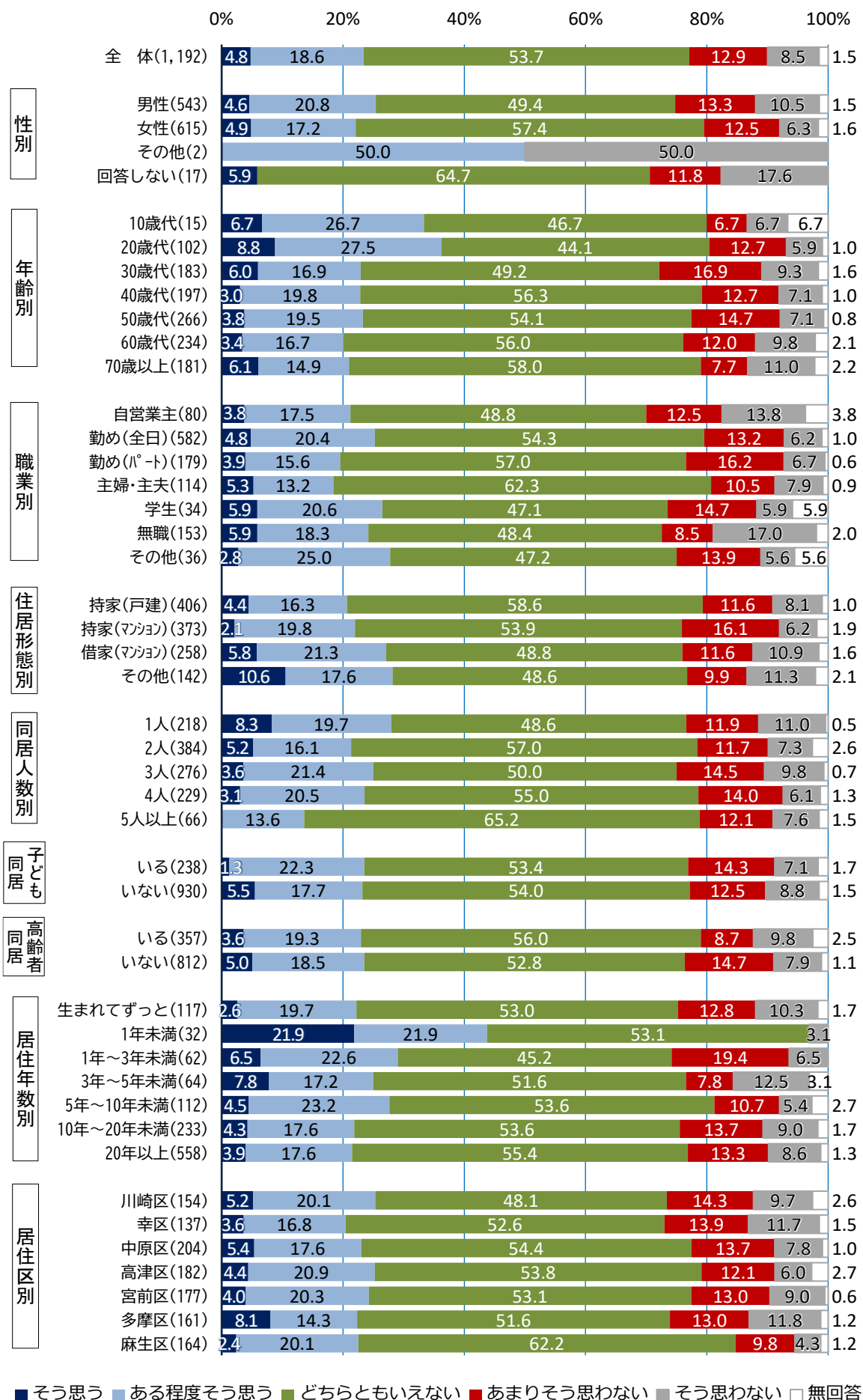
【どちらともいえない】

- ・伝えたい事が無いのでわからない。
- ・整えているのだろうけれど、特定の人以外の意見を聞くような場があるようには思えない。

【消極的回答】

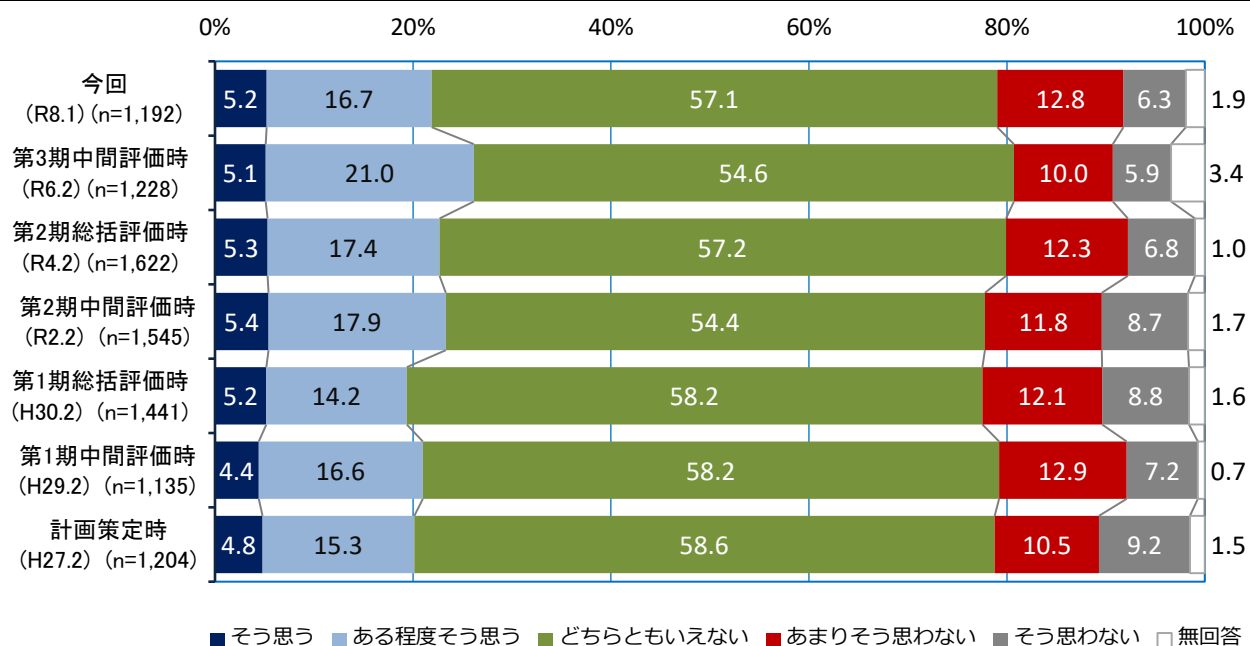
- ・改善内容が不明で、市民の意見が反映されている実感が持てない。
- ・意見を伝える手段や窓口が周知されておらず、発信の機会は少ない。
- ・実際は整えている又は努力しているのだろうが、利用方法のアナウンスに欠けている。

図表 28 市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段の確保について（属性別）



2 5. 人権や平和に対する意識について

問 25 あなたは、川崎市民一人ひとりの人権や平和に対する意識が高いと思いますか。



【計画策定時の調査との比較】

- ・「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『積極的回答』の割合は 21.9%で、計画策定時の調査から 1.8 ポイント上昇している。「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『消極的回答』の割合は 19.1%で、計画策定時の調査から 0.6 ポイント低下している。

【今回の調査の傾向】

- ・全体としては、「どちらともいえない」の割合が 57.1%で、最も高くなっている。
- ・属性別でみると、年齢別では 10 歳代の層、職業別では学生の層、同居人数別では 1 人の層、居住年数別では 1 年未満の層で『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、年齢別では 10 歳代の層、同居人数別では 5 人以上の層で『消極的回答』の割合が高くなっている。
- ・居住区別では、麻生区において『積極的回答』の割合が高くなっている。一方で、幸区においては『消極的回答』の割合が高くなっている。

※主な自由回答

【積極的回答】

- ・ 平和や権利への意識が高く、安心な街。
- ・ 子どもの権利条例やヘイト対策など、市の取り組みを評価している。

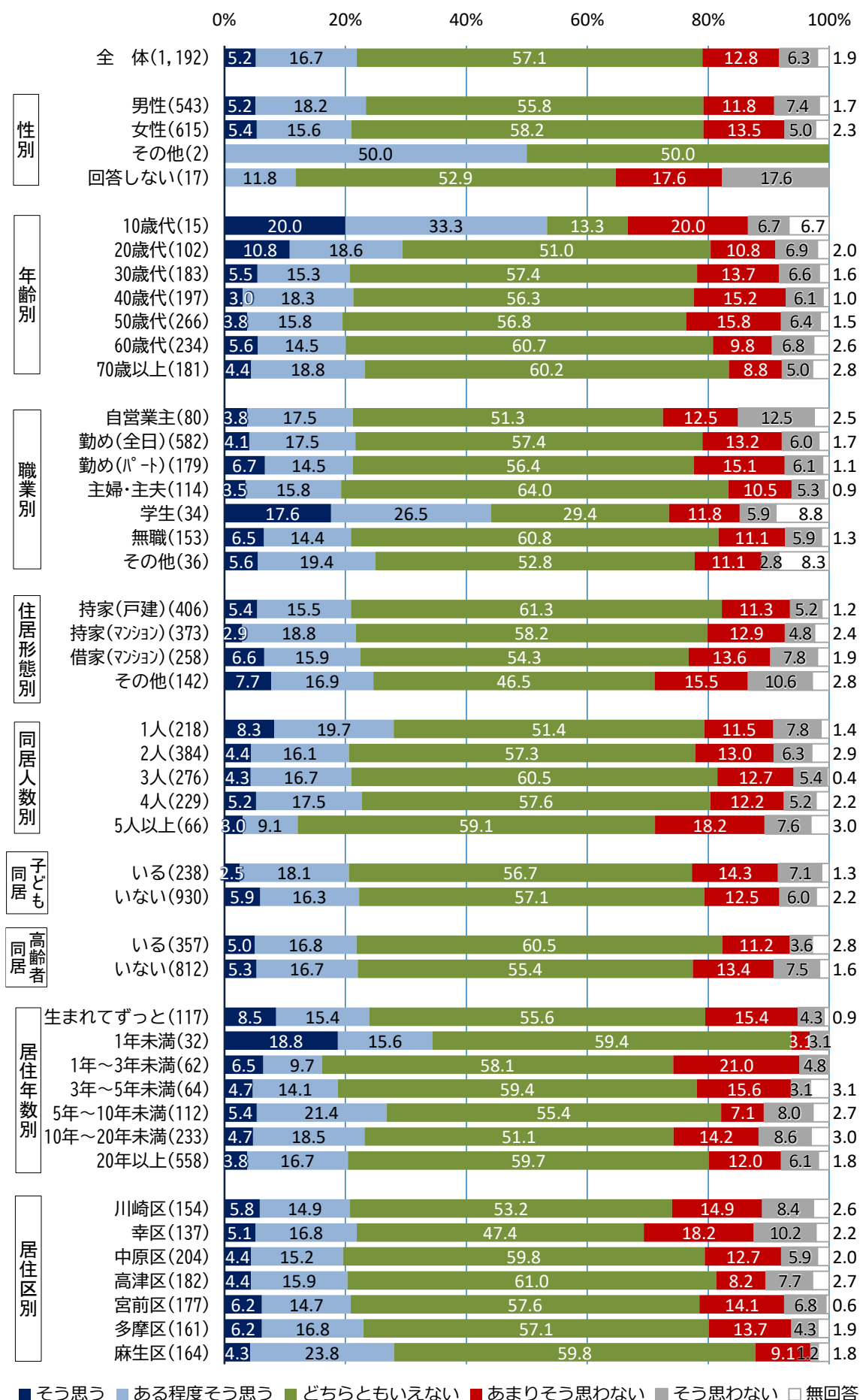
【どちらともいえない】

- ・ 日常生活に追われ、人権や平和を意識する機会が少ない。
- ・ 人権や平和に対する意識について、広報・新聞で読む程度で意識したことがない。
- ・ 平和に対する意識は個人の考えなので高い低いはわからない。

【消極的回答】

- ・ 市民の多くは、日々の生活で精一杯で人権や平和への意識は低い。
- ・ 治安の悪さやマナー違反が目立ち、意識が高いとは思えない。

図表 29 人権や平和に対する意識について（属性別）



IV. まとめ

全体の設問について、「そう思う」「ある程度そう思う」に該当する回答を『積極的回答』とし「あまりそう思わない」「思わない」に該当する回答を『消極的回答』としてまとめ、全体の傾向を把握した。

■ 積極的回答

『積極的回答』が多い設問は、「ごみを減らす取組」(85.4%)、「安全・安心な日常生活」(71.3%)、「住環境(住みやすさ)」(70.7%)、「市内の広域拠点駅周辺の状況」(70.1%)、「医療の体制」(69.4%)、「交通利便性」(69.4%)、「上下水道」(69.3%)、「スポーツ」(65.4%)などである。

交通利便性や広域拠点駅周辺の魅力などの都市環境、住みやすさや安全・安心などの生活環境に関する項目で、積極的な回答が多い傾向が見られた。

■ 消極的回答

『消極的回答』が多い設問は、「地域での活動への参加(有無)」(75.5%)、「生涯学習(有無)」(73.2%)、「地域生活拠点駅周辺の状況」(25.6%)、「市政への意見等を伝える機会」(21.4%)、「災害に強いまちづくり」(21.2%)、「美しい街並の保存」(20.1%)などであった。

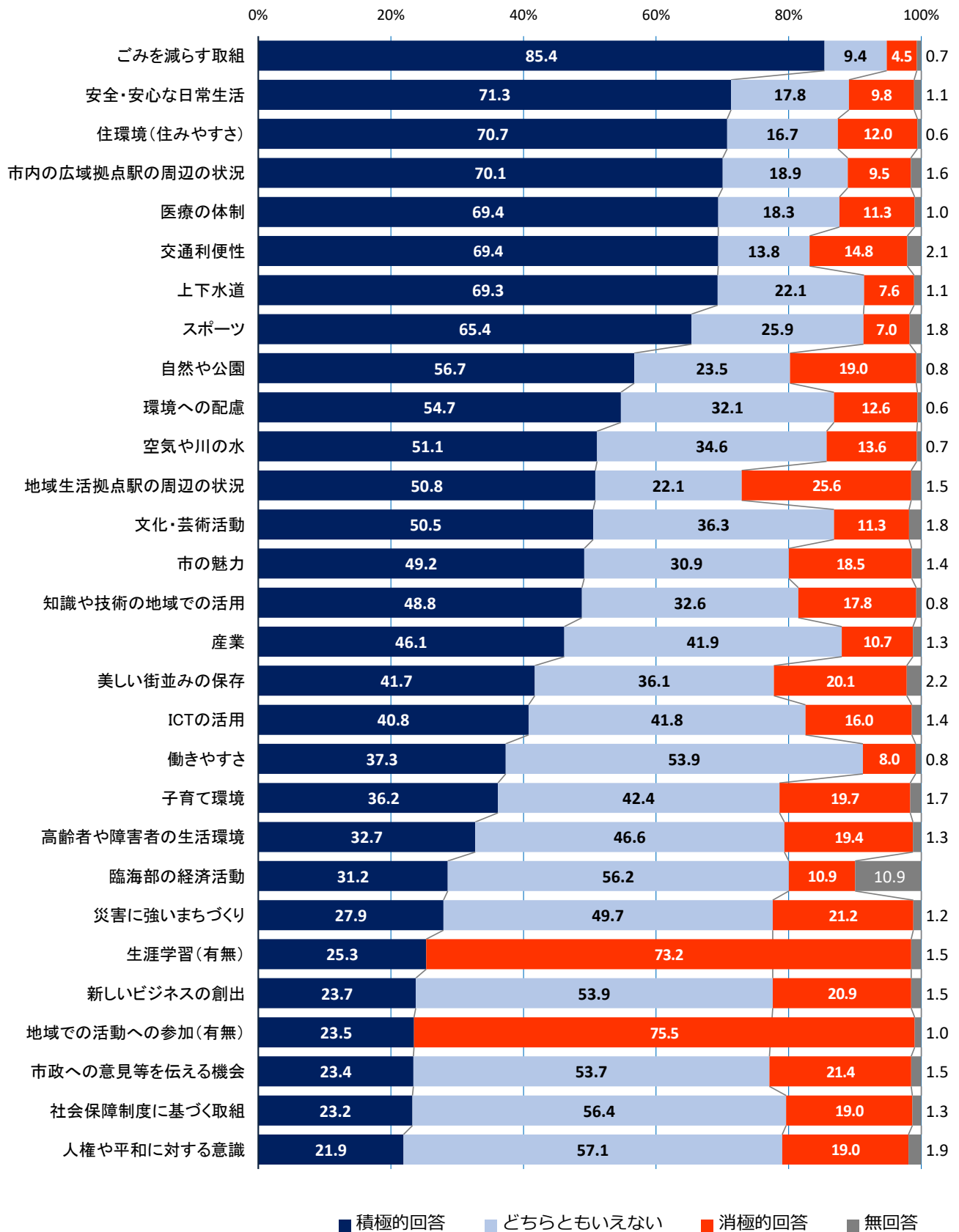
※「生涯学習の経験(有無)」及び「地域での活動への参加(有無)」は、「どちらともいえない」の選択肢がない2項目選択方式(有無)の設問になっている。

■ どちらともいえない

「どちらともいえない」が多い設問は、「人権や平和に対する意識」(57.1%)、「社会保障制度に基づく取組」(56.4%)、「臨海部の経済活動」(56.2%)、「新しいビジネスの創出」(53.9%)、「働きやすさ」(53.9%)、「市政への意見等を伝える機会」(53.7%)で、これらの設問については5割以上が「どちらともいえない」と回答している。

これらの項目は、制度の周知不足や自分事としての実感が薄いことなどが要因と考えられ、市民が判断しにくい、あるいは実感を持ちにくい傾向が見られる。

図表30 各設問の積極的・消極的回答の割合（積極的回答の多い順）



図表 31 各設問の積極的・消極的回答の割合（設問順、内訳）

[単位：パーセント]

No.	アンケート設問内容	積極的回答			3 どちらでもない	消極的回答		
		1 そう思う	2 ある程度 そう思う	計 (1+2)		4 あまり そう思わない	5 やや思う	計 (4+5)
1	災害に強いまちづくりが進んでいると思うか	5.0	22.9	 27.9	49.7	14.3	7.0	 21.2
2	安全・安心な日常生活を送っていると思うか	24.9	46.4	 71.3	17.8	7.3	2.5	 9.8
3	上下水道サービスについて満足しているか	33.7	35.6	 69.3	22.1	5.2	2.3	 7.5
4	高齢者や障害者がいきいきと生活できるような環境が整っていると思うか	6.3	26.4	 32.7	46.6	13.9	5.5	 19.4
5	社会保障制度に基づく市の取組が市民の経済的な不安の軽減に役立っていると思うか	5.6	17.6	 23.2	56.4	13.5	5.5	 19.0
6	安心して医療を受けることができると感じているか	27.8	41.6	 69.4	18.3	7.6	3.7	 11.3
7	子育て環境の整ったまちだと思うか	8.4	27.8	 36.2	42.4	12.0	7.7	 19.7
8	この1年間に生涯学習をしたことがあるか(有無)	25.3	-	 25.3	-	73.2	-	 73.2
9	自分の知識や技術を地域や社会で活かしたいと思うか	20.5	28.4	 48.9	32.6	9.9	7.9	 17.8
10	環境に配慮した生活を送っているか	13.2	41.5	 54.7	32.1	9.3	3.3	 12.6
11	市内の空気や川などの水がきれいになったと思うか	19.7	31.4	 51.1	34.6	9.1	4.5	 13.6
12	ごみを減らす取組を行っているか	47.0	38.4	 85.4	9.4	3.2	1.3	 4.5
13	市内にある自然や公園に満足しているか	18.2	38.5	 56.7	23.5	12.8	6.3	 19.1
14	住環境(住みやすさ)に満足しているか	26.3	44.4	 70.7	16.7	8.7	3.3	 12.0
15	市が働きやすいまちだと思うか	9.8	27.5	 37.3	53.9	5.0	2.9	 7.9
16	市が産業に活力があり、事業者が元気なまちであると思うか	10.5	35.7	 46.2	41.9	7.9	2.9	 10.8
17	新しいビジネスの生まれているまちだと思うか	6.0	17.8	 23.8	53.9	14.4	6.5	 20.9
18	ICTの活用が進んでいると思うか	8.1	32.7	 40.8	41.8	11.1	4.9	 16.0
19	臨海部の経済活動が盛んであると思うか	7.7	23.5	 31.2	56.2	7.4	3.5	 10.9
20	市内の広域拠点駅の周辺に魅力や活気があると思うか	27.9	42.1	 70.0	18.9	6.0	3.5	 9.5
21	市内にある地域生活拠点駅の周辺について、魅力や活気があると思うか	16.9	33.9	 50.8	22.1	16.9	8.7	 25.6
22	市内に美しい街並みが保たれていると思うか	7.6	34.1	 41.7	36.1	13.4	6.6	 20.0
23	交通利便性の高いまちだと思うか	33.3	36.1	 69.4	13.8	9.6	5.2	 14.8
24	文化・芸術活動の盛んなまちだと思うか	13.8	36.7	 50.5	36.3	8.2	3.1	 11.3
25	スポーツの盛んなまちだと思うか	24.4	40.9	 65.3	25.9	5.0	1.9	 6.9
26	市に魅力やよいイメージがあると感じているか	13.8	35.4	 49.2	30.9	13.3	5.3	 18.6
27	町内会や市民活動など、地域での活動に参加しているか(有無)	23.5	-	 23.5	-	75.5	-	 75.5
28	市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段を市が整えていると思うか	4.8	18.6	 23.4	53.7	12.9	8.5	 21.4
29	市民一人ひとりの人権や平和に対する意識が高いと思うか	5.2	16.7	 21.9	57.1	12.8	6.3	 19.1

参考資料 集計表

1. 属性

F 1 性別

	基数	構成比
男性	543	45.6%
女性	615	51.6%
その他	2	0.2%
回答しない	17	1.4%
無回答	15	1.3%
全体	1,192	100.0%

F 2 年齢

	基数	構成比
18～19歳	15	1.3%
20～24歳	38	3.2%
25～29歳	64	5.4%
30～34歳	85	7.1%
35～39歳	98	8.2%
40～44歳	88	7.4%
45～49歳	109	9.1%
50～54歳	144	12.1%
55～59歳	122	10.2%
60～64歳	123	10.3%
65～69歳	111	9.3%
70～74歳	90	7.6%
75歳以上	91	7.6%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

	基数	構成比
10歳代	15	1.3%
20歳代	38	8.6%
30歳代	64	15.4%
40歳代	85	16.5%
50歳代	98	22.3%
60歳代	88	19.6%
70歳代	109	15.2%
無回答	144	1.2%
全体	1,192	100.0%

F 3 職業

	基数	構成比
自営業主	80	6.7%
家族従業（家事手伝い）	7	0.6%
勤め（全日）	582	48.8%
勤め（パートタイム）	179	15.0%
内職	2	0.2%
主婦・主夫（家事専業）	114	9.6%
学生	34	2.9%
無職（収入が年金のみの方を含む）	153	12.8%
その他	27	2.3%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

	基数	構成比
自営業主	80	6.7%
勤め（全日）	582	48.8%
勤め（パートタイム）	179	15.0%
主婦・主夫（家事専業）	114	9.6%
学生	34	2.9%
無職（収入が年金のみの方を含む）	153	12.8%
その他	36	3.0%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

F 4 居住形態

	基数	構成比
持ち家（一戸建）	406	34.1%
持ち家（マンション・集合住宅等）	373	31.3%
借家（一戸建）	16	1.3%
借家（マンション・集合住宅等・公営住宅）	258	21.6%
借家（民間アパート・間借・下宿）	91	7.6%
社宅・寮・公務員住宅	24	2.0%
その他	11	0.9%
無回答	13	1.1%
全体	1,192	100.0%

	基数	構成比
持ち家（一戸建）	406	34.1%
持ち家（マンション・集合住宅等）	373	31.3%
借家（マンション・集合住宅等・公営住宅）	258	21.6%
その他	142	11.9%
無回答	13	1.1%
全体	1,192	100.0%

F 5 同居家族

	基数	構成比
1人	218	18.3%
2人	384	32.2%
3人	276	23.2%
4人	229	19.2%
5人	47	3.9%
6人	12	1.0%
7人	7	0.6%
無回答	19	1.6%
全体	1,192	100.0%

	基数	構成比
1人	218	18.3%
2人	384	32.2%
3人	276	23.2%
4人	229	19.2%
5人以上	66	5.5%
無回答	19	1.6%
全体	1,192	100.0%

F 6 中学生以下の子どもの同居の有無

	基数	構成比
いる	238	20.0%
いない	930	78.0%
無回答	24	2.0%
全体	1,192	100.0%

F 7 65歳以上の高齢者の同居の有無

	基数	構成比
いる	357	29.9%
いない	812	68.1%
無回答	23	1.9%
全体	1,192	100.0%

F 8 居住年数

	基数	構成比
生まれてからずっと住んでいる	117	9.8%
1年未満	32	2.7%
1年以上3年未満	62	5.2%
3年以上5年未満	64	5.4%
5年以上10年未満	112	9.4%
10年以上20年未満	233	19.5%
20年以上	558	46.8%
無回答	14	1.2%
全体	1,192	100.0%

F 9 居住区

	基数	構成比
川崎区	154	12.9%
幸区	137	11.5%
中原区	204	17.1%
高津区	182	15.3%
宮前区	177	14.8%
多摩区	161	13.5%
麻生区	164	13.8%
無回答	13	1.1%
全体	1,192	100.0%

問8-1 あなたは、この1年間に、生涯学習※をしたことがありますか。

		合計	回答数			割合(%)		
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
F1 性別	全体	1192	302	872	18	25.3	73.2	1.5
	男性	543	141	393	9	26.0	72.4	1.7
	女性	615	152	455	8	24.7	74.0	1.3
	その他	2	1	1	0	50.0	50.0	0.0
	回答しない	17	6	11	0	35.3	64.7	0.0
	無回答	15	2	12	1	13.3	80.0	6.7
F2 年齢	18～19歳	15	7	8	0	46.7	53.3	0.0
	20～24歳	38	19	19	0	50.0	50.0	0.0
	25～29歳	64	32	32	0	50.0	50.0	0.0
	30～34歳	85	28	56	1	32.9	65.9	1.2
	35～39歳	98	31	65	2	31.6	66.3	2.0
	40～44歳	88	20	67	1	22.7	76.1	1.1
	45～49歳	109	23	84	2	21.1	77.1	1.8
	50～54歳	144	29	114	1	20.1	79.2	0.7
	55～59歳	122	28	92	2	23.0	75.4	1.6
	60～64歳	123	26	97	0	21.1	78.9	0.0
	65～69歳	111	20	89	2	18.0	80.2	1.8
	70～74歳	90	19	70	1	21.1	77.8	1.1
	75歳以上	91	18	68	5	19.8	74.7	5.5
	無回答	14	2	11	1	14.3	78.6	7.1
F3 職業	自営業主	80	27	51	2	33.8	63.8	2.5
	家族従業(家事手伝い)	7	1	6	0	14.3	85.7	0.0
	勤め(全日)	582	153	423	6	26.3	72.7	1.0
	勤め(パートタイム)	179	35	142	2	19.6	79.3	1.1
	内職	2	0	2	0	0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫(家事専業)	114	31	81	2	27.2	71.1	1.8
	学生	34	20	14	0	58.8	41.2	0.0
	無職(収入が年金のみの方を含む)	153	23	127	3	15.0	83.0	2.0
	その他	27	9	17	1	33.3	63.0	3.7
	無回答	14	3	9	2	21.4	64.3	14.3
F4 居住形態	持ち家(一戸建)	406	90	309	7	22.2	76.1	1.7
	持ち家(マンション・集合住宅等)	373	101	267	5	27.1	71.6	1.3
	借家(一戸建)	16	4	12	0	25.0	75.0	0.0
	借家(マンション・集合住宅等・公営住宅)	258	70	186	2	27.1	72.1	0.8
	借家(民間アパート・間借・下宿)	91	22	67	2	24.2	73.6	2.2
	社宅・寮・公務員住宅	24	13	11	0	54.2	45.8	0.0
	その他	11	0	10	1	0.0	90.9	9.1
F5 同居家族	無回答	13	2	10	1	15.4	76.9	7.7
	1人	218	58	158	2	26.6	72.5	0.9
	2人	384	110	270	4	28.6	70.3	1.0
	3人	276	56	214	6	20.3	77.5	2.2
	4人	229	55	171	3	24.0	74.7	1.3
	5人	47	16	31	0	34.0	66.0	0.0
	6人	12	2	10	0	16.7	83.3	0.0
	7人	7	1	6	0	14.3	85.7	0.0
F6 中学生以下の子どもの同居の有無	無回答	19	4	12	3	21.1	63.2	15.8
	いる	238	62	173	3	26.1	72.7	1.3
	いない	930	234	682	14	25.2	73.3	1.5
F7 65歳以上の高齢者の同居の有無	無回答	24	6	17	1	25.0	70.8	4.2
	いる	357	80	269	8	22.4	75.4	2.2
	いない	812	218	585	9	26.8	72.0	1.1
F8 居住年数	無回答	23	4	18	1	17.4	78.3	4.3
	生まれてからずっと住んでいる	117	25	90	2	21.4	76.9	1.7
	1年未満	32	17	15	0	53.1	46.9	0.0
	1年以上3年未満	62	26	35	1	41.9	56.5	1.6
	3年以上5年未満	64	21	42	1	32.8	65.6	1.6
	5年以上10年未満	112	29	79	4	25.9	70.5	3.6
	10年以上20年未満	233	56	176	1	24.0	75.5	0.4
	20年以上	558	126	425	7	22.6	76.2	1.3
	無回答	14	2	10	2	14.3	71.4	14.3
F9 居住区	川崎区	154	37	114	3	24.0	74.0	1.9
	幸区	137	32	101	4	23.4	73.7	2.9
	中原区	204	56	147	1	27.5	72.1	0.5
	高津区	182	49	129	4	26.9	70.9	2.2
	宮前区	177	47	129	1	26.6	72.9	0.6
	多摩区	161	40	121	0	24.8	75.2	0.0
	麻生区	164	38	122	4	23.2	74.4	2.4
	無回答	13	3	9	1	23.1	69.2	7.7

問24ー1 あなたは、町内会や市民活動など、地域での活動に参加していますか。

	合計	回答数			割合(%)		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
	全体	1192	280	900	12	23.5	75.5
F1 性別	男性	543	102	435	6	18.8	80.1
	女性	615	168	441	6	27.3	71.7
	その他	2	1	1	0	50.0	50.0
	回答しない	17	5	12	0	29.4	70.6
	無回答	15	4	11	0	26.7	73.3
F2 年齢	18～19歳	15	3	11	1	20.0	73.3
	20～24歳	38	2	35	1	5.3	92.1
	25～29歳	64	2	62	0	3.1	96.9
	30～34歳	85	8	76	1	9.4	89.4
	35～39歳	98	17	79	2	17.3	80.6
	40～44歳	88	15	73	0	17.0	83.0
	45～49歳	109	28	80	1	25.7	73.4
	50～54歳	144	36	107	1	25.0	74.3
	55～59歳	122	29	92	1	23.8	75.4
	60～64歳	123	36	86	1	29.3	69.9
	65～69歳	111	32	78	1	28.8	70.3
	70～74歳	90	32	57	1	35.6	63.3
	75歳以上	91	36	54	1	39.6	59.3
	無回答	14	4	10	0	28.6	71.4
F3 職業	自営業主	80	24	54	2	30.0	67.5
	家族従業(家事手伝い)	7	5	1	1	71.4	14.3
	勤め(全日)	582	101	475	6	17.4	81.6
	勤め(パートタイム)	179	56	123	0	31.3	68.7
	内職	2	0	2	0	0.0	100.0
	主婦・主夫(家事専業)	114	42	72	0	36.8	63.2
	学生	34	5	27	2	14.7	79.4
	無職(収入が年金のみの方を含む)	153	38	114	1	24.8	74.5
	その他	27	3	24	0	11.1	88.9
	無回答	14	6	8	0	42.9	57.1
F4 居住形態	持ち家(一戸建)	406	165	241	0	40.6	59.4
	持ち家(マンション・集合住宅等)	373	72	295	6	19.3	79.1
	借家(一戸建)	16	8	8	0	50.0	50.0
	借家(マンション・集合住宅等・公営住宅)	258	21	233	4	8.1	90.3
	借家(民間アパート・間借・下宿)	91	3	86	2	3.3	94.5
	社宅・寮・公務員住宅	24	3	21	0	12.5	87.5
	その他	11	4	7	0	36.4	63.6
	無回答	13	4	9	0	30.8	69.2
F5 同居家族	1人	218	29	188	1	13.3	86.2
	2人	384	89	289	6	23.2	75.3
	3人	276	66	209	1	23.9	75.7
	4人	229	65	161	3	28.4	70.3
	5人	47	18	28	1	38.3	59.6
	6人	12	5	7	0	41.7	58.3
	7人	7	3	4	0	42.9	57.1
	無回答	19	5	14	0	26.3	73.7
F6 中学生以下の子どもの同居の有無	いる	238	58	177	3	24.4	74.4
	いない	930	216	705	9	23.2	75.8
	無回答	24	6	18	0	25.0	75.0
F7 65歳以上の高齢者の同居の有無	いる	357	118	234	5	33.1	65.5
	いない	812	155	650	7	19.1	80.0
	無回答	23	7	16	0	30.4	69.6
F8 居住年数	生まれてからずっと住んでいる	117	29	88	0	24.8	75.2
	1年未満	32	6	26	0	18.8	81.3
	1年以上3年未満	62	4	58	0	6.5	93.5
	3年以上5年未満	64	8	54	2	12.5	84.4
	5年以上10年未満	112	12	98	2	10.7	87.5
	10年以上20年未満	233	43	187	3	18.5	80.3
	20年以上	558	174	379	5	31.2	67.9
	無回答	14	4	10	0	28.6	71.4
F9 居住区	川崎区	154	35	117	2	22.7	76.0
	幸区	137	30	105	2	21.9	76.6
	中原区	204	40	162	2	19.6	79.4
	高津区	182	38	140	4	20.9	76.9
	宮前区	177	35	142	0	19.8	80.2
	多摩区	161	43	117	1	26.7	72.7
	麻生区	164	54	109	1	32.9	66.5
	無回答	13	5	8	0	38.5	61.5

令和 7 年度
川崎市総合計画に関する市民アンケート調査
報告書

令和 8 年 8 月

発 行 川崎市総務企画局都市政策部企画調整課

調 査 受 託 者 株式会社グリーンエコ 東京事務所



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市